

山口県 橋梁点検要領（案）

付録一3

点検調書入力補助システム操作マニュアル （委託 B 点検用 Excel 版）

平成27年3月版

目 次

1.	システム概要	1
1.1.	利用環境	1
1.2.	システム利用の流れ	2
1.3.	点検データ入力補助システムのシート構成	3
2.	マクロセキュリティの設定	4
2.1.	Excel2007 のマクロセキュリティ設定	4
2.2.	Excel2010 のマクロセキュリティ設定	6
3.	印刷用テンプレート EXCEL の格納	8
4.	点検データ入力補助システムの起動	9
5.	橋梁点検調書の新規作成	10
5.1.	新規作成入力フォームの起動	10
5.2.	新規作成入力フォームの入力	11
5.2.1.	橋梁リストの修正	12
5.2.2.	橋梁リストの追加	13
5.2.3.	各データ項目の入力	14
5.2.4.	橋梁番号の入力	15
5.2.5.	橋梁番号リストによる入力	15
5.2.6.	橋梁番号の直接入力	20
5.2.7.	径間数の入力	21
5.2.8.	主桁形式の選択	21
5.2.9.	床版形式の選択	22
5.2.10.	点検者区分の入力	23
5.2.11.	点検者の入力	23
5.2.12.	点検日の入力	24
5.2.13.	点検方法の入力	24
5.3.	各データ項目の制限について	25
5.4.	点検調書その 1 の橋梁情報の自動入力	26
5.5.	自動入力ができない場合	27
5.6.	新規作成入力フォームの終了	28
6.	点検調書（その 1、その 2）の入力	29
6.1.	箇所名の入力	29
6.2.	橋梁番号の入力	29
6.2.1.	橋梁番号の入力（橋梁番号リストによる入力）	30
6.2.2.	橋梁番号の入力（セルを直接入力）	31
6.2.3.	橋梁番号の変更後のファイル名の自動変更	32

6. 3. 径間数の入力.....	33
6. 3. 1. 径間数の編集における注意点.....	33
6. 4. 橋梁名の入力.....	35
6. 5. 主桁形式の入力.....	35
6. 6. 床版形式の入力.....	36
6. 7. 主桁形式、床版形式の選択による影響.....	37
6. 8. 点検者区分の入力.....	45
6. 9. 点検者の入力.....	45
6. 10. 点検方法の入力.....	45
6. 11. 点検年月日の入力.....	45
6. 12. 入力制限	46
6. 13. 損傷区分の入力.....	47
6. 13. 1. 損傷区分の入力	47
6. 14. 部材単位の健全性の診断入力.....	49
6. 15. 写真の入力.....	50
6. 15. 1. 写真の追加	50
6. 15. 2. 写真の削除	53
6. 15. 3. 写真の全削除	55
6. 15. 4. 写真番号の修正	56
6. 16. 所見の入力.....	58
6. 17. 径間番号の切替.....	59
6. 18. 道路橋毎の健全性の診断入力.....	61
7. 点検調書（その 3）の入力.....	62
7. 1. 点検調書（その 3）の図面・写真の表示（橋梁単位のシート）	62
7. 2. 点検調書（その 3）の図面・写真の表示（径間単位のシート）	63
7. 2. 1. 図面の追加（側面図、平面図）	65
7. 2. 2. 図面の削除（側面図、平面図）	66
7. 3. 点検調書その 3（断面図）の図面の追加と削除	67
7. 3. 1. 図面の追加（断面図）	67
7. 3. 2. 図面の削除（断面図）	69
7. 4. 点検調書その 3（橋梁単位）の部材写真の追加と削除	70
7. 4. 1. 部材写真の追加（橋梁単位）	70
7. 4. 2. 部材写真の削除（橋梁単位）	72
7. 5. 点検調書その 3（径間単位）の写真の追加と削除	73
7. 5. 1. 部材写真の追加（径間単位）	73
7. 5. 2. 部材写真の削除（径間単位）	75
7. 6. 点検調書その 3 のシート構成.....	76
7. 6. 1. 点検調書その 3（側面図_平面図）	76
7. 6. 2. 点検調書その 3（側面図_平面図）	77
7. 6. 3. 点検調書その 3（全景、側面）	77
7. 6. 4. 点検調書その 3（主桁、横桁、床版）	78
7. 6. 5. 点検調書その 3（舗装、伸縮装置）	78

7.6.6.	点検調書その3（地覆・防護柵、排水装置）	79
7.6.7.	点検調書その3（橋台、橋脚）	79
7.6.8.	点検調書その3（落防、支承部）	80
7.6.9.	点検調書その3（橋名板）	80
7.6.10.	点検調書その3（橋歴板_塗装履歴_添架物）	81
7.6.11.	点検調書その3（その他）	81
8.	点検調書（その4）の入力	82
8.1.	点検調書（その4）の表示	82
8.2.	損傷写真箇所図の登録	82
8.3.	損傷写真箇所図の削除	83
9.	点検調書 EXCEL ファイルの保存	84
9.1.	点検調書 Excel ファイルの新規保存	84
9.2.	点検調書 Excel ファイルの上書き保存	86
9.3.	「名前を付けて保存」の禁止	87
10.	点検データ入力補助システムの終了	88
11.	点検調書 EXCEL ファイルの編集	89
11.1.	点検調書 Excel ファイルを開く	89
11.2.	点検調書 Excel ファイルの編集	90
12.	点検調書 EXCEL ファイルの印刷	92
12.1.	印刷用テンプレートの格納	92
12.1.	印刷処理の開始	93
12.2.	印刷用ファイルを開く（印刷用 Excel ファイル）	94
12.3.	印刷用ファイルを開く（印刷用 PDF ファイル）	95
13.	画像データの保存先	96
13.1.	システム動作時の画像データの仮の保存場所	96
13.2.	点検調書 Excel ファイル動作時の画像データ保存場所	97

1. システム概要

1.1. 利用環境

点検データ入力補助システム（委託 B 点検用 Excel 版）（以下、「本システム」と呼ぶ）は山口県における委託 B 点検調書を作成するシステムです。利用するためには、Microsoft Excel2007、2010、2013 が必要になります。

ハードウェア要件

項目	要件
メモリ	1GB 以上の RAM
ハード ディスク	2GB 以上の空きディスク領域
ディスプレイ	1024×576 以上の解像度のモニター

ソフトウェア要件

項目	要件
対応 OS	Windows Vista、Windows7（32Bit） 注） <u>64bit 版では動作致しません。</u>
実行環境	Microsoft Excel 2007、2010、2013（32Bit） 注） <u>Excel 2003 では動作致しません。</u> 注） <u>64bit 版では動作致しません。</u>

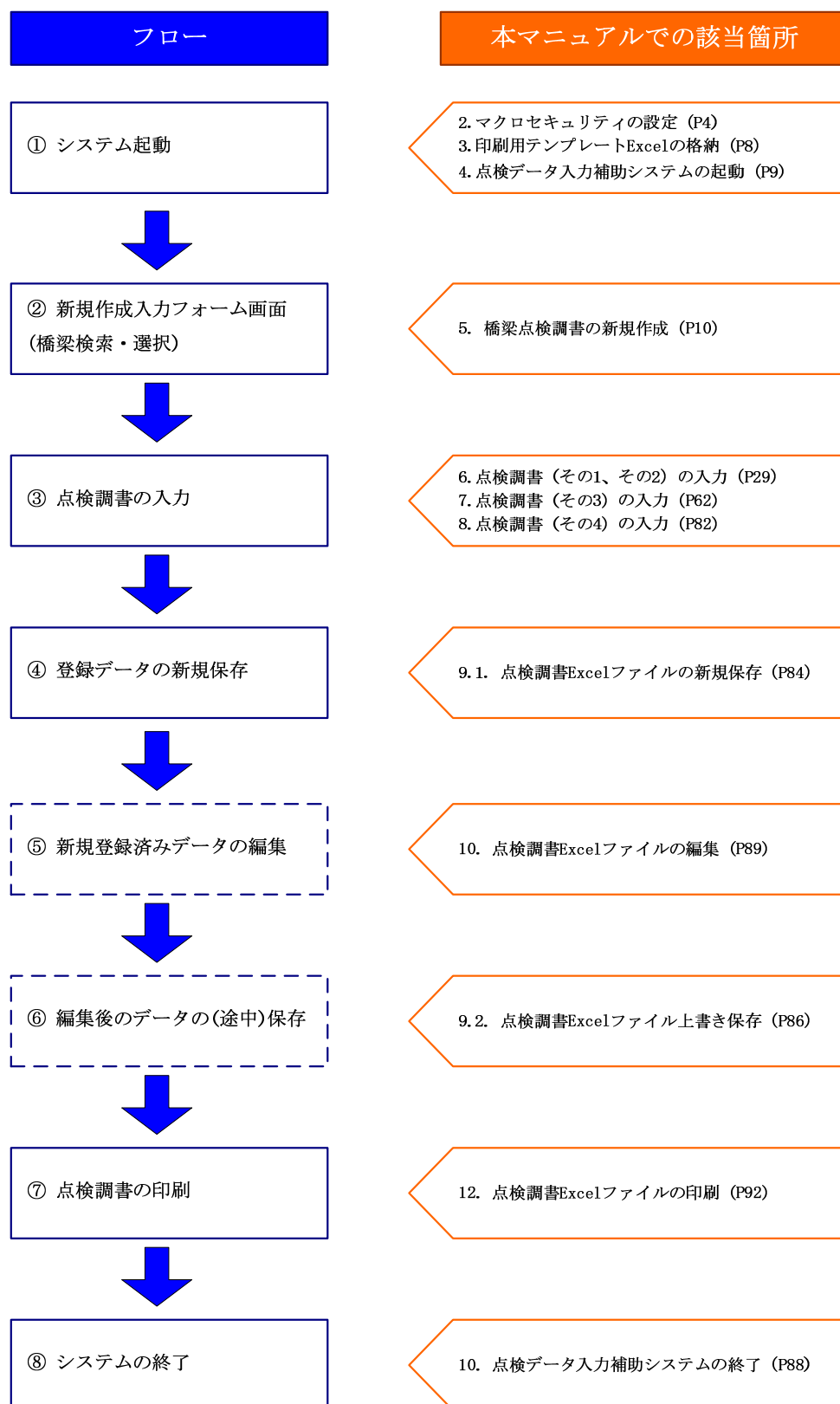
本システムで使用する写真ファイルについて

項目	要件
ファイル形式	JPEG 形式（.jpg）
ファイルサイズの圧縮	500KB 以下※ ¹ ※ ¹ 圧縮しきれない場合は 500KB より大きいファイルサイズで保存されます。
推奨写真サイズ	1600×1200 サイズ以下
登録可能写真サイズ	4600×3450 サイズ以下※ ² ※ ² 上記より大きいサイズの図面、写真を登録する場合は登録に時間を要したり、エラーが発生します。

※ 写真ファイルサイズが 500KB 以上の場合、写真追加登録時に時間がかかってしまう場合があります。

1.2. システム利用の流れ

システム起動からデータ登録、保存までの一連の流れは以下のとおりです。



1.3. 点検データ入力補助システムのシート構成

シート名	機能と役割
<u>点検調書その 1、その 2</u>	橋梁の基本情報と損傷、橋梁毎と部材の健全性、損傷写真を入力するシートです。（⇒P.29 参照）
<u>点検調書その 4</u> ※ ₁	「点検調書その 1、その 2」にて、入力を行った損傷写真を閲覧と損傷写真箇所図の入力を行うシートです。（⇒P.82 参照）
<u>点検調書その 3(側面図_平面図)</u>	側面図と平面図を入力するシートです。 ※橋梁単位で写真入力を行います。（⇒P.65 参照）
<u>点検調書その 3(断面図)</u>	断面図を入力するシートです。 ※径間単位で写真入力を行います。（⇒P.67 参照）
<u>点検調書その 3(全景_側面)</u>	橋梁の全景写真と側面写真を入力するシートです。 ※橋梁単位で写真入力を行います。（⇒P.70 参照）
<u>点検調書その 3(主桁横桁_床版)</u>	主桁、横桁と床版の写真を入力するシートです。 ※径間単位で写真入力を行います。（⇒P.73 参照）
<u>点検調書その 3(舗装_伸縮装置)</u>	舗装と伸縮装置の写真を入力するシートです。 ※径間単位で写真入力を行います。（⇒P.73 参照）
<u>点検調書その 3(地覆_排水装置)</u>	地覆と排水装置の写真を入力するシートです。 ※径間単位で写真入力を行います。（⇒P.73 参照）
<u>点検調書その 3(橋台_橋脚)</u>	橋台と橋脚の写真を入力するシートです。 ※径間単位で写真入力を行います。（⇒P.73 参照）
<u>点検調書その 3(落防_支承部)</u>	落橋防止システムと支承部の写真を入力するシートです。 ※径間単位で写真入力を行います。（⇒P.73 参照）
<u>点検調書その 3(橋名板)</u>	橋名板の写真を入力するシートです。 ※橋梁単位で写真入力を行います。（⇒P.70 参照）
<u>点検調書その 3(橋歴板_塗装履歴_添架物)</u>	橋歴板、塗装履歴、添架物の写真を入力するシートです。 ※橋梁単位で写真入力を行います。（⇒P.70 参照）
<u>点検調書その 3(その他)</u>	上記に当てはまらなかったその他の写真を入力するシートです。 ※径間単位で写真入力を行います。（⇒P.73 参照）

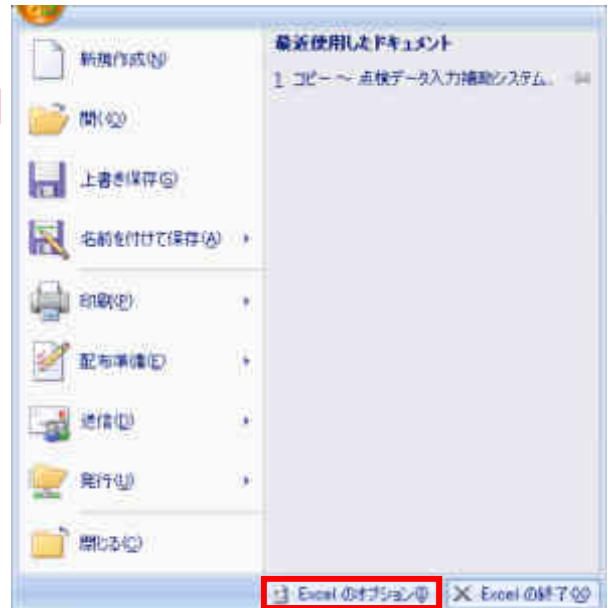
※₁ シート「点検調書その 1、その 2」の後ろに「点検調書その 4」があるのは、
「点検調書その 1、その 2」にて橋梁の損傷データ入力と損傷写真の閲覧をしやすい
するためです。

2. マクロセキュリティの設定

本システムはマクロを使用する為、Excel の各バージョンにてマクロセキュリティの設定を変更してください。

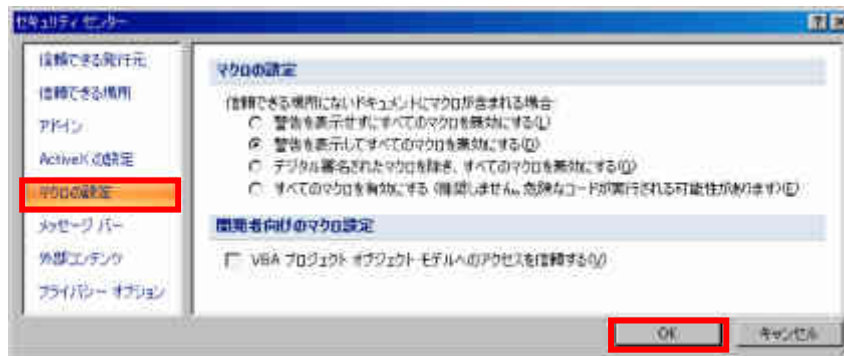
2.1. Excel2007 のマクロセキュリティ設定

- ① 「スタート」 → 「すべてのプログラム」 → 「Microsoft Office」 → 「Microsoft Excel」 にて Excel を起動します。
- ② Excel の「ファイル」メニューの「Excel のオプション」を選択してください。

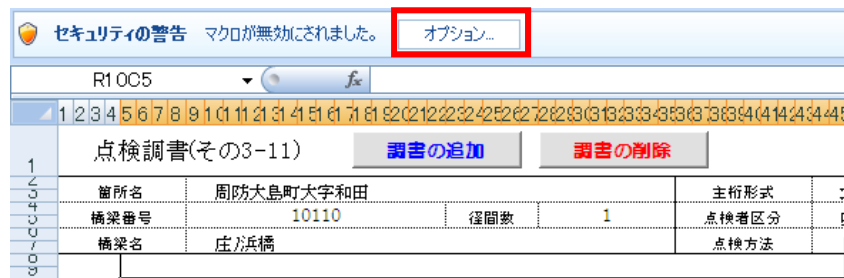


- ③ Excel の「セキュリティセンター」を選択し、「セキュリティセンターの設定(T)」をクリックし、「マクロの設定」にて「警告を表示してすべてのマクロを無効にする(D)」にチェックを入れて、「OK」をクリックして設定を変更して、Excel を終了させて下さい。

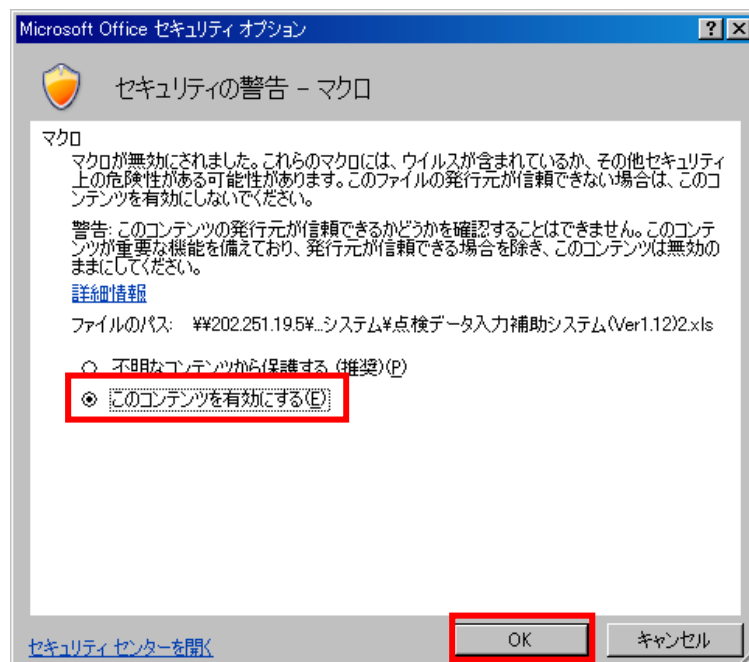




- ④ ③にて「セキュリティレベル」を『警告を表示してすべてのマクロを無効にする(D)』に設定した場合、システムを起動時に下図のセキュリティ警告が表示されますので、**オプション** をクリックして下さい。



- ⑤ このコンテンツを有効にする(E) にチェックを入れて、**OK** ボタンをクリックして下さい。



2.2. Excel2010 のマクロセキュリティ設定

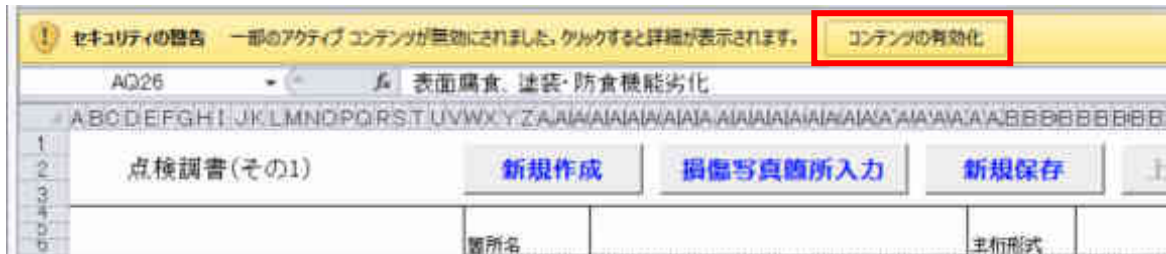
- ① 「スタート」→「すべてのプログラム」→「Microsoft Office」→「Microsoft Excel」にて Excel を起動します。
- ② Excel の「ファイル」メニューの「オプション」を選択してください。



- ③ Excel の「セキュリティセンター」を選択し、「セキュリティセンターの設定(T)」をクリックし、「マクロの設定」にて「警告を表示してすべてのマクロを無効にする(D)」にチェックを入れて、「OK」をクリックして設定を変更して、Excel を終了させて下さい。

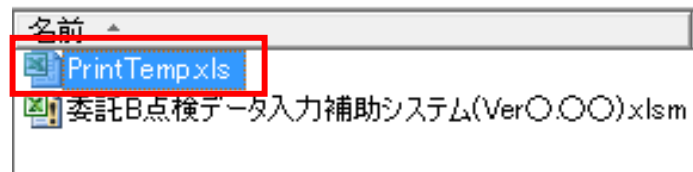


- ④ ③にて「セキュリティレベル」を『警告を表示してすべてのマクロを無効にする(D)』に設定した場合、システムを起動時に下図のセキュリティ警告が表示されますので、**コンテンツの有効化** をクリックして下さい。



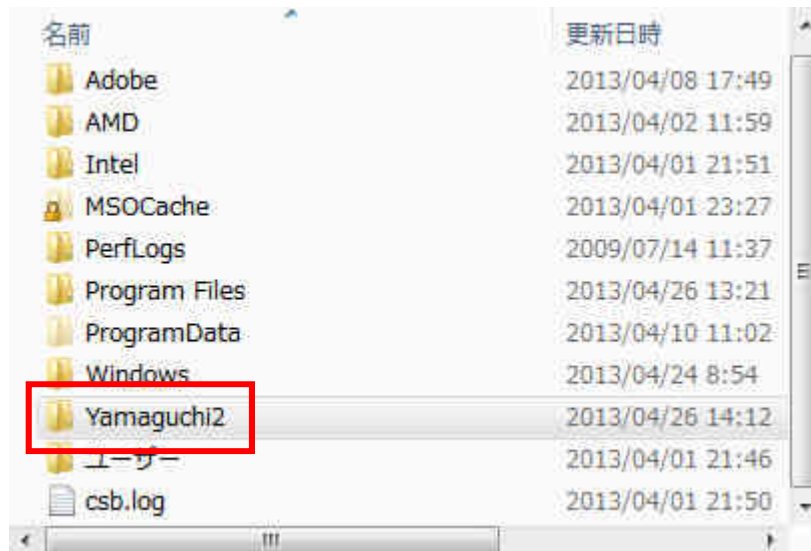
3. 印刷用テンプレート Excel の格納

本システムを最初の起動時に印刷用テンプレートファイルのインストールを行います。インストールを行うには、システムと同じフォルダ内に同封された「**PrintTemp.xls**」という印刷用のテンプレートファイルを入れてください。

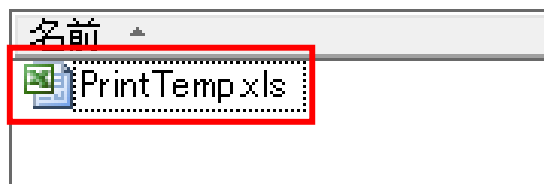


システム起動時に「**PrintTemp.xls**」が自動的にシステムの作業用フォルダである「C:¥Yamaguchi2」内（自動生成）にインストールされます。

C:¥フォルダ内



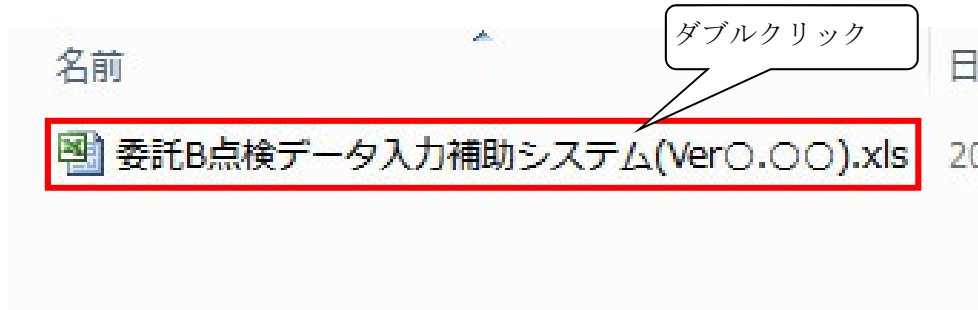
C:¥Yamaguchi2 フォルダ内



※「**PrintTemp.xls**」が無い場合は、印刷機能を使用することが出来ません。

4. 点検データ入力補助システムの起動

- ① エクスプローラ等で Excel ファイル、【委託 B 点検入力補助システム (Ver〇.〇〇) .xls】を**ダブルクリック**で開きます。



- ② システム起動時に画像データ（損傷写真や図面や橋梁の写真等）の一時保管用として、現在システムを動かしているコンピュータの C ドライブに『Yamaguchi2』という名前のフォルダが自動生成されます。このフォルダはシステム上で扱う写真は全てこのフォルダに一時的に格納されます。9.点検調書 Excel ファイルの保存 (P.84) 時、点検調書と一緒に保存される画像データはこのフォルダよりコピーされます。

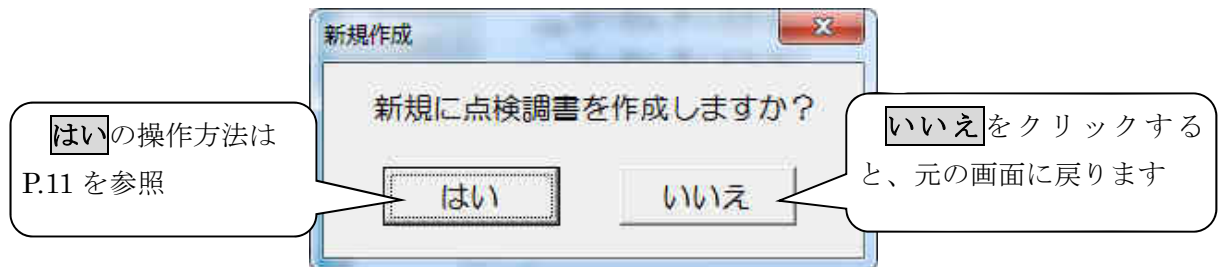


※ 点検調書その 4 の写真の表示や点検調書の保存が正常にできなくなってしまうので、このフォルダは絶対に削除しないで下さい。

5. 橋梁点検調書の新規作成

5.1. 新規作成入力フォームの起動

- ① 【委託 B 点検入力補助システム(Ver〇.〇〇).xls】の Excel ファイルを開くと、下記のメッセージウィンドウが表示されます。



- ② 「はい」ボタンをクリックすると、橋梁点検調書新規作成用のフォームが表示されます。
「いいえ」ボタンをクリックすると、元の「点検調書（その 1）」の画面に戻ります。

「はい」をクリック

「いいえ」をクリック

- ③ 編集中の Excel より新規作成を行う場合は、「点検調書（その 1）」の上部にある、**新規作成** ボタンをクリックして下さい。①の「新規に点検調書を作成しますか？」というメッセージウィンドウが表示されます。



5.2. 新規作成入力フォームの入力

橋梁の基本情報を入力して下さい。

橋梁情報

橋梁番号 ①

径間数 ③ 1

主桁形式 ④

床版形式 ⑤

RC床版橋

コンクリート桁(RC床版橋以外)

鋼桁

鋼およびコンクリート桁

コンクリート床版

橋梁リストの修正 ②

点検情報

点検者区分 ⑥

点検者 ⑦

県職員

委託業者

山口 太郎

点検日 ⑧

点検方法 ⑨

2013 年 5 月 24 日

目視点検

新規作成 ⑩

閉じる ⑪

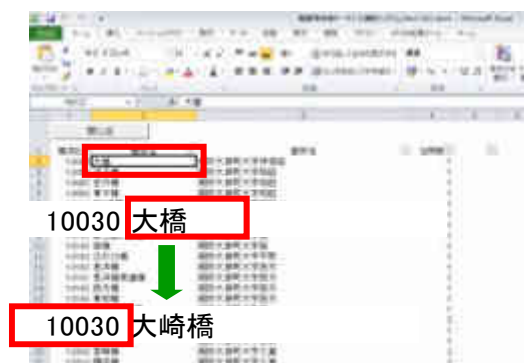
① 橋梁番号の入力を行います。	5.2.4 橋梁番号の入力 (P.15) 5.2.5 橋梁番号リストによる入力 (P.15) 5.2.6 橋梁番号の直接入力 (P.20)
② 橋梁番号リストの修正を行います。	5.2.1 橋梁リストの修正 (P.12)
③ 径間数の入力を行います。	5.2.7 径間数の入力 (P.21)
④ 主桁形式の選択を行います。	5.2.8 主桁形式の選択 (P.21)
⑤ 床版形式の選択を行います。	5.2.9 床版形式の選択 (P.22)
⑥ 点検者区分の選択を行います。	5.2.10 点検者区分の入力 (P.23)
⑦ 点検者の入力を行います。	5.2.11 点検者の入力 (P.23)
⑧ 点検日の入力を行います。	5.2.12 点検日の入力 (P.24)
⑨ 点検方法の入力を行います。	5.2.13 点検方法の入力 (P.24)
⑩ 点検調書(その 1)の自動入力を行います。	5.4 点検調書その 1 の橋梁情報の自動入力 (P.26)
⑪ 新規作成入力フォームを終了します。	5.6 新規作成入力フォームの終了 (P.28)

5.2.1. 橋梁リストの修正

橋梁番号入力後の自動入力用の橋梁リストの編集を行います。

- ① 新規作成入力フォームの **橋梁リストの修正** ボタンをクリックします。

- ② Excel のシート画面が表示されるので、修正を行う場合は直接シートに入力を行い、閉じる場合は **閉じる** ボタンをクリックして下さい。



- ③ 修正が行われ、橋梁番号リストの橋梁名が修正後の橋梁名に変更されます。

5.2.2. 橋梁リストの追加

橋梁番号リストの追加を行うことも出来ます。

- ① 橋梁番号リストの最下に橋梁番号、橋梁名、箇所名、径間数を入力し、閉じる ボタンをクリックして下さい。

1	2	3	4	5	6	7
3032	147550	大石橋	新市大字明木			1
3033	147580	黒ヶ谷2号橋	新市大字佐々並			1
3034	147590	黒ヶ谷1号橋	新市大字佐々並			1
3035	147600	平木橋	新市大字佐々並			1
3036	147610	宇津井川大橋	新市大字佐々並			1
3037	147620	宇津井川一号橋	新市大字佐々並			1
3038	147630	吉ヶ原1号橋	新市大字佐々並			1
3039	150000	吉ヶ原2号橋				
3040						

- ② 橋梁番号リストにて追加した「**150000 吉ヶ原2号橋**」が橋梁番号リストに追加されます。

橋梁番号リスト

147530	藁の沼橋
147540	中村橋
147550	大石橋
147580	黒ヶ谷2号橋
147590	黒ヶ谷1号橋
147600	平木橋
147610	宇津井川大橋
147620	宇津井川一号橋
147630	吉ヶ原1号橋
150000	吉ヶ原2号橋

橋梁番号

橋梁名

箇所名

径間数 ☒ のみ ☐ 以上 ☐ 以下

☒ AND検索 ☐ OR検索

5.2.3. 各データ項目の入力

- ③ このフォームにて橋梁の「橋梁番号」、「径間数」、「主桁形式」、「点検者区分」、「点検者」、「点検日」、「点検方法」を入力します。

橋梁の基本情報を入力して下さい

橋梁情報

橋梁番号: [] 径間数: 1 主桁形式: RC床版橋
 橋梁リストの修正: [] コンクリート桁(RC床版橋以外): []
 鋼桁: [] 鋼およびコンクリート桁: []
 床版形式: コンクリート床版
 鋼床版(合成床版): []
 鋼床版およびコンクリート床版: []

点検情報

点検者区分: 委託業者 点検者: []
 点検日: 2013 年 2 月 8 日 点検方法: 目視点検

新規作成 閉じる

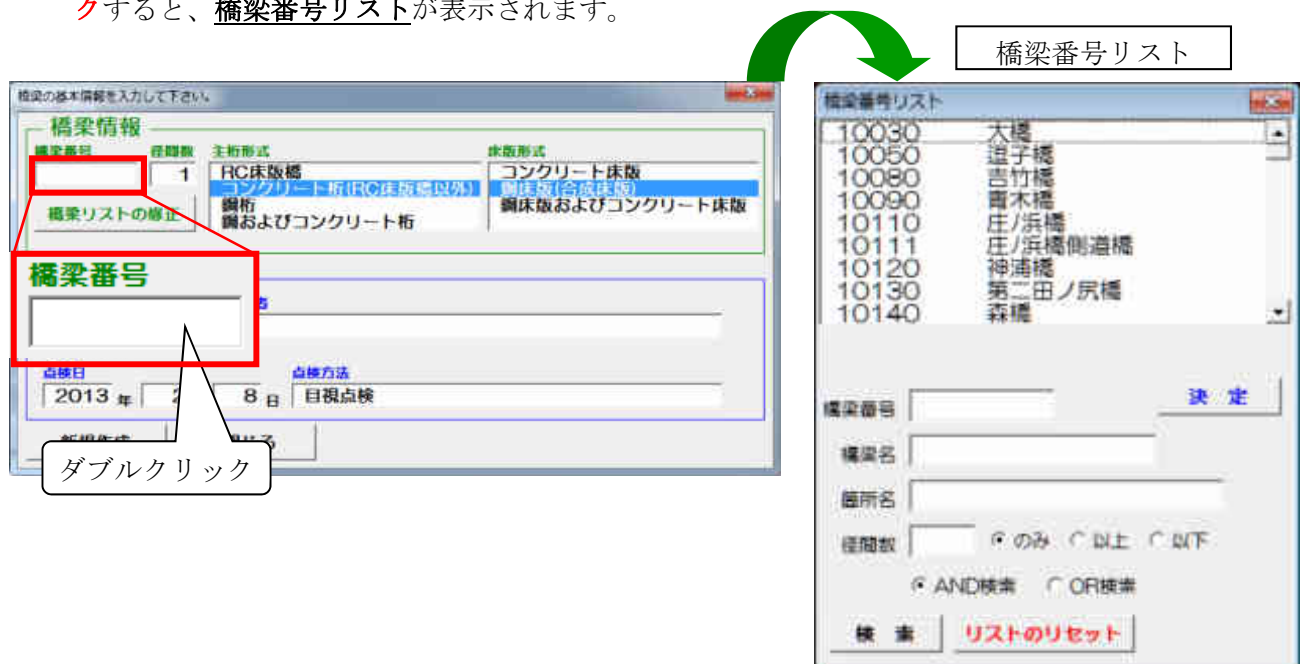
前回入力時のデータが自動入力
デフォルトは空白

前回入力時のデータが自動入力
デフォルトは「目視点検」

項目	機能	備考
橋梁番号	橋梁番号（橋梁 ID）を入力	10000～999999 で入力
橋梁リストの修正	本システムに登録されている橋梁一覧リストの編集画面を表示	
径間数	径間数を入力	1～50 で入力
主桁形式	「RC 床版橋」、「コンクリート桁(RC 床版橋以外)」、「鋼桁」、「鋼およびコンクリート桁」から選択	
床版形式	「コンクリート床版」、「鋼床版(合成床版)」、「鋼床版およびコンクリート床版」から選択	
点検者区分	点検者区分を「県職員」、「委託業者」から選択	
点検者	点検者を入力	
点検日(年)	点検年月日の年を入力	1900～2100 年まで
点検日(月)	点検年月日の月を入力	1～12 月まで
点検日(日)	点検年月日の日入力	1～31 日まで (月毎に末日の制限が異なります)
点検方法	点検方法を入力	
新規作成	点検調書を新規作成	
閉じる	初期入力フォームを閉じ、点検調書編集画面を表示	

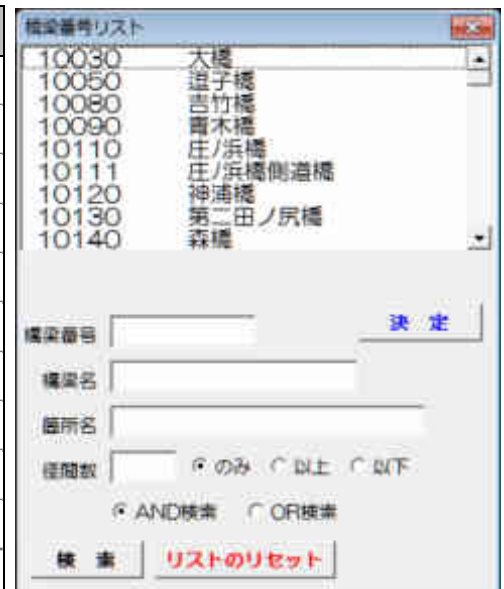
5.2.4. 橋梁番号の入力

- ① 橋梁番号の入力はテキストボックスに直接入力、またはテキストボックスをダブルクリックすると、橋梁番号リストが表示されます。



5.2.5. 橋梁番号リストによる入力

項目	機能
橋梁リスト	橋梁番号（橋梁 ID）を入力
検索用テキストボックス	システムに橋梁一覧リストの編集画面を表示
橋梁番号	検索する橋梁番号を入力
橋梁名	検索する橋梁名を入力
箇所名	検索する箇所名を入力
径間数	検索する径間数を入力
のみ	指定した径間数のみを検索指定
以上	指定した径間数以上を検索指定
以下	指定した径間数以下を検索指定
検索	検索の開始
リセット	検索結果をリセットし、全橋梁リストを表示



5.2.5.(a) 橋梁番号検索

左図のように「100」を指定した場合、橋梁番号に「100」が入力されている橋梁をリストアップします。

橋梁番号リスト

10030	大橋
10050	逗子橋
10080	吉竹橋
10090	青木橋
10110	庄ノ浜橋
10111	庄ノ浜橋側道橋
10120	神浦橋
10130	第二田ノ尻橋
10140	森橋

橋梁番号: 100

橋梁名:

箇所名:

径間数: ☐ のみ ☐ 以上 ☐ 以下

☒ AND検索 ☐ OR検索

検索 リストのリセット

検索結果

橋梁番号リスト

10030	大橋
10050	逗子橋
10080	吉竹橋
10090	青木橋
11100	新川橋
20100	二鹿谷橋
21000	宇佐大橋
21100	討無橋
22100	魚切橋
24100	砂山小橋

「100」が入力されている橋梁をリストアップ

5.2.5.(b) 橋梁名検索

左図のように橋梁名にて「崎」を指定した場合、橋梁名に「崎」が入力されている橋梁をリストアップします。

橋梁番号リスト

10030	大橋
10050	逗子橋
10080	吉竹橋
10090	青木橋
10110	庄ノ浜橋
10111	庄ノ浜橋側道橋
10120	神浦橋
10130	第二田ノ尻橋
10140	森橋

橋梁番号:

橋梁名: 崎

箇所名:

径間数: ☐ のみ ☐ 以上 ☐ 以下

☒ AND検索 ☐ OR検索

検索 リストのリセット

検索結果

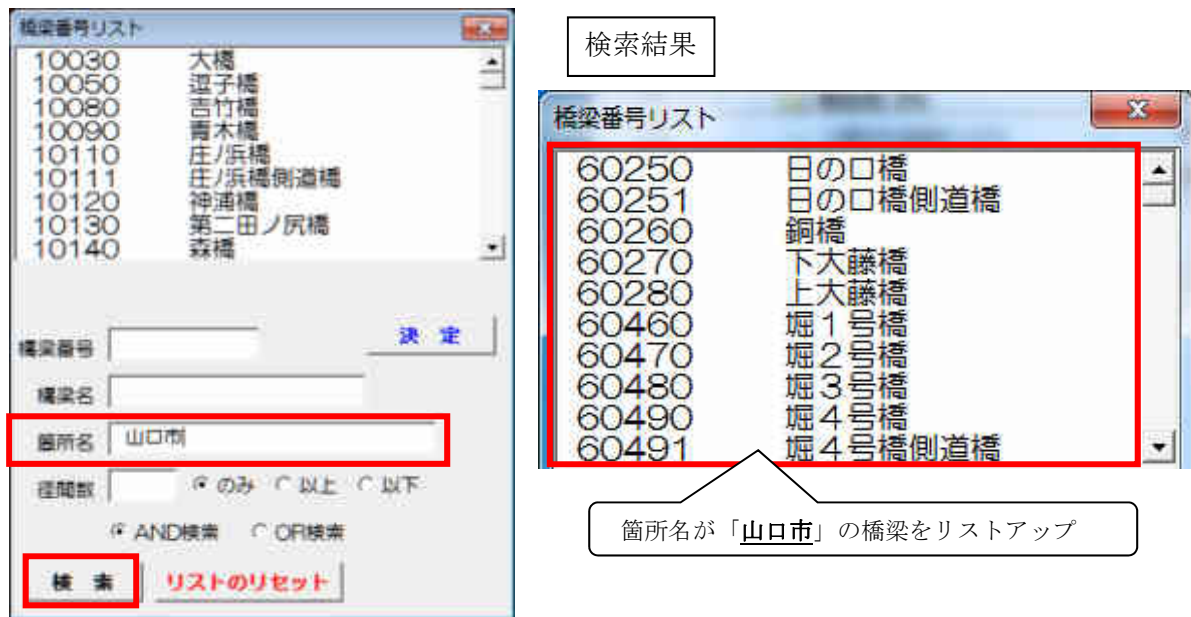
橋梁番号リスト

10210	大崎橋
10300	宮崎橋
27510	藤崎橋
27520	下藤崎橋
30410	松崎橋
30880	見崎橋
41380	立崎橋
61260	岩崎橋
61261	岩崎橋側道橋 (右上り)
61262	岩崎橋側道橋 (左下り)

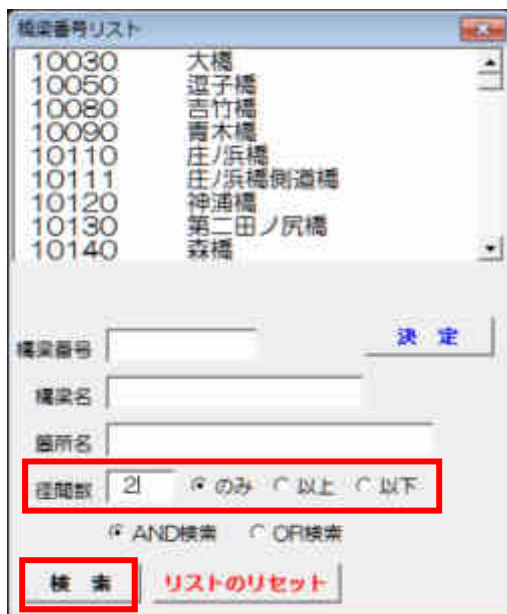
橋梁名に「崎」が入っている橋梁をリストアップ

5.2.5.(c) 箇所名検索

下図のように「山口市」を指定した場合、橋梁の箇所名に「山口市」が入力されている橋梁をリストアップします。



5.2.5.(d) 径間数検索



◆ 指定径間数のみの検索




左図のように径間数で「2」を指定し、「のみ」にチェックを入れると 2 径間の橋梁をリストアップします。

◆ 指定径間数以上の検索

左図のように径間数で「2」を指定し、「以上」にチェックを入れると 2 径間以上の橋梁をリストアップします。

◆ 指定径間数以下の検索

左図のように径間数で「2」を指定し、「以下」にチェックを入れると 2 径間以下の橋梁をリストアップします。

「2」径間のみの検索結果	「2」径間以上の検索結果	「2」径間以下の検索結果
		

5.2.5.(e) AND 検索

橋梁番号リスト

10030	大橋
10050	逗子橋
10080	吉竹橋
10090	青木橋
10110	庄ノ浜橋
10111	庄ノ浜橋側道橋
10120	神浦橋
10130	第二田ノ尻橋
10140	森橋

橋梁番号: 10
橋梁名: 山
箇所名: 山口市

経間数: ☐ のみ ☐ 以上 ☐ 以下

☒ AND検索 ☐ OR検索

検索 リストのリセット

左図のように複数条件を指定し、「**AND 検索**」を指定した場合、橋梁番号に「**10**」、橋梁名に「**山**」、箇所名に「**山口市**」が入力されている橋梁をリストアップします。

検索結果

橋梁番号リスト

71610	山田橋
72610	揚山橋
80010	栃山橋

橋梁番号: 「10」
橋梁名: 「山」
箇所名: 「山口市」
の 3 つの検索条件全てに該当する橋梁をリストアップ

5.2.5.(f) OR 検索

橋梁番号リスト

10030	大橋
10050	逗子橋
10080	吉竹橋
10090	青木橋
10110	庄ノ浜橋
10111	庄ノ浜橋側道橋
10120	神浦橋
10130	第二田ノ尻橋
10140	森橋
10150	江の口橋

橋梁番号: 5
橋梁名: 山
箇所名: 山口市

経間数: ☐ のみ ☐ 以上 ☐ 以下

☐ AND検索 ☒ OR検索

検索 リストのリセット

左図のように複数条件を指定し、「**OR 検索**」を指定した場合、

- ・橋梁番号に「**5**」が入力されている橋梁
- ・橋梁名に「**山**」が入っている橋梁
- ・箇所名に「**山口市**」が入っている橋梁

全ての橋梁をリストアップします。

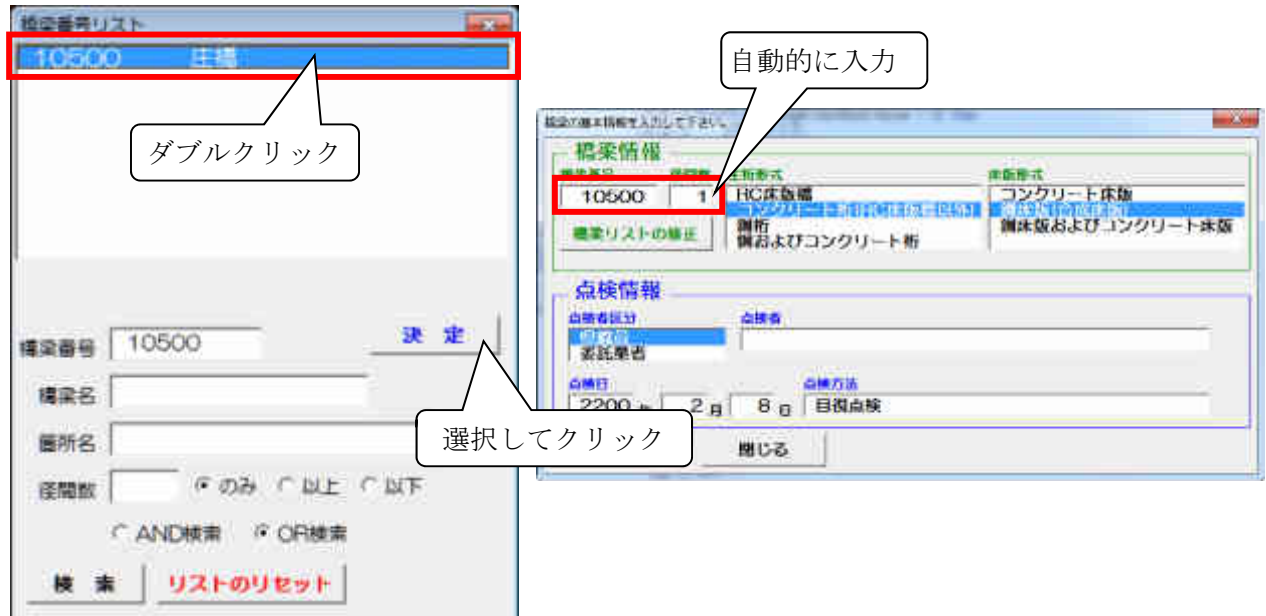
橋梁番号リスト

10050	逗子橋
10150	江の口橋
10240	新山根橋
10350	追原橋
10450	法浄寺橋
10500	庄橋
10520	江頭橋
10530	第二家房橋
10540	第一家房橋
10550	出井橋

橋梁番号: 「5」
橋梁名: 「山」
箇所名: 「山口市」
のいずれかがデータに入っている橋梁をリストアップ

5.2.5.(g) 橋梁の選択

- ① 該当する橋梁が見つかった場合は、リストを直接ダブルクリックすると、フォームの橋梁番号に自動的に入力されます。この時、橋梁番号に対応した径間数が自動的に入力されます。



5.2.6. 橋梁番号の直接入力

橋梁番号を直接入力することも可能です。テキストボックスをクリックし、直接入力して下さい。

橋梁の基本情報を入力して下さい。

橋梁情報

橋梁番号: 10300 (赤枠で囲まれている)

径間数: 1

主桁形式: RC床版橋
コンクリート桁(RC床版橋以外)
鋼桁
鋼およびコンクリート桁

床版形式: コンクリート床版
鋼床版(合成床版)
鋼床版およびコンクリート床版

橋梁リストの修正

点検情報

点検者区分: 県職員
委託業者

点検者:

点検日: 2200 年 2 月 8 日

点検方法: 目視点検

新規作成 閉じる

- ① 橋梁番号の入力は以下の文字のみ可能となります。

入力可能文字一覧

0～9	半角数字で 10000～999999 で入力
-----	------------------------

例：

12345	OK
100000	OK
A12345	NG (先頭に数字以外の文字が入力されている)
1200	NG (4 文字しか入力されていない)
1234567	NG (7 文字以上入力されている)
012345	NG (先頭に『0』が入力されている)

5.2.7. 径間数の入力

- ① 径間数をテキストボックスに直接入力して下さい。

※ 1～50 の間で入力してください。

橋梁の基本情報を入力して下さい。

橋梁情報

橋梁番号: 10300 | 径間数: 1 | 主桁形式: RC床版橋

床版形式: コンクリート床版

橋梁リストの修正

鋼桁
鋼およびコンクリート桁

点検情報

点検者区分: | 点検者: |

委託業者: |

点検日: 2200 年 2 月 8 日 | 点検方法: 目視点検

新規作成 | 閉じる

5.2.8. 主桁形式の選択

- ② 主桁形式を『RC 床版橋』、『コンクリート桁(RC 床版橋以外)』、『鋼桁』、『鋼およびコンクリート桁』より**クリック**にて選択してください。

橋梁の基本情報を入力して下さい。

橋梁情報

橋梁番号: 10300 | 径間数: 1 | 主桁形式: RC床版橋

床版形式: コンクリート床版

橋梁リストの修正

鋼桁
鋼およびコンクリート桁

点検情報

点検者区分: | 点検者: |

委託業者: |

点検日: 2200 年 2 月 8 日 | 点検方法: 目視点検

新規作成 | 閉じる

※ 「主桁形式」にて『RC 床版橋』を選択すると、次項の「床版形式」の選択肢は『コンクリート床版』のみとなります。

主桁形式

RC床版橋
コンクリート桁(RC床版橋以外)
鋼桁
鋼およびコンクリート桁

床版形式

コンクリート床版

点検調書における主桁形式の区分

主桁形式	種類
RC 床版橋	RC 床版橋のみの場合
コンクリート桁(RC 床版橋以外)	RC 床版橋以外のコンクリート桁端および PC 床版橋の場合
鋼桁	鋼桁橋の場合
鋼およびコンクリート桁	複数径間等で、鋼桁橋とコンクリート桁橋が混在する場合

5.2.9. 床版形式の選択

- ① 床版形式を『コンクリート床版』、『鋼床版(合成床版)』、『鋼床版およびコンクリート床版』より**左クリック**にて選択してください。

橋梁の基本情報を入力して下さい。

橋梁情報

橋梁番号: 10300 径間数: 1 主桁形式: RC床版橋
 コンクリート桁(RC床版橋以外) 鋼桁 鋼およびコンクリート桁

床版形式: **コンクリート床版**
 鋼床版(合成床版) 鋼床版およびコンクリート床版

点検情報

点検者区分: 点検者: 点検日: 2200年 2月 8日 点検方法: 目視点検

新規作成 閉じる

クリックにて選択

※ 「主桁形式」にて『**RC床版橋**』を選択すると、次項の「床版形式」の選択肢は『**コンクリート床版**』のみとなります。

主桁形式: RC床版橋
 コンクリート桁(RC床版橋以外) 鋼桁 鋼およびコンクリート桁

床版形式: **コンクリート床版**

点検調書における床版形式の区分

床版形式	種類
コンクリート床版	<u>RC床版橋</u> 、 <u>コンクリート桁橋</u> 、 <u>鋼橋でコンクリート床版</u> の場合
鋼床版（合成床版）	<u>鋼桁橋で鋼床版</u> の場合、あるいは <u>合成床版</u> の場合
鋼床版およびコンクリート床版	複数径間等で、 <u>鋼桁橋</u> と <u>コンクリート桁橋</u> が <u>混在</u> し、 <u>鋼床版</u> と <u>コンクリート床版</u> が <u>混在</u> する場合

5.2.10. 点検者区分の入力

- ① 点検者区分を『県職員』、『委託業者』よりクリックにて選択して下さい。

橋梁の基本情報を入力して下さい。

橋梁情報		点検情報	
橋梁番号 10500	径間数 1	主桁形式 RC床版橋 コンクリート桁(RC床版橋以外) 鋼桁 鋼およびコンクリート桁	床版形式 コンクリート床版 鋼床版(合成床版) 鋼床版およびコンクリート床版
橋梁リストの修正			
点検者区分 県職員 委託業者			
点検者 クリックにて選択			
点検日 2013 年 4 月 29 日		点検方法 目視点検	
新規作成		閉じる	

5.2.11. 点検者の入力

- ① 点検者をテキストボックスに直接入力して下さい。

橋梁の基本情報を入力して下さい。

橋梁情報		点検情報	
橋梁番号 10500	径間数 1	主桁形式 RC床版橋 コンクリート桁(RC床版橋以外) 鋼桁 鋼およびコンクリート桁	床版形式 コンクリート床版 鋼床版(合成床版) 鋼床版およびコンクリート床版
橋梁リストの修正			
点検者区分 県職員 委託業者		点検者 直接入力	
点検日 2013 年 4 月 29 日		点検方法 目視点検	
新規作成		閉じる	

5.2.12. 点検日の入力

② 点検日の『年月日』をテキストボックスに西暦で直接入力して下さい。

※ 年は1900～2100、月は1～12、日は1～31の間で入力して下さい。

橋梁の基本情報を入力して下さい。

橋梁情報		主桁形式	床版形式
橋梁番号	径間数	RC床版橋	コンクリート床版
10300	1	コンクリート桁(RC床版橋以外)	鋼床版(合成床版)
橋梁リストの修正		鋼桁	鋼床版およびコンクリート床版
		鋼およびコンクリート桁	

点検情報		点検方法
点検者区分	点検者	
点検員	山口 太郎	
委託業者		
点検日	点検方法	
2013 年 2 月 1 日	目視点検	

新規作成 閉じる

西暦で直接入力

5.2.13. 点検方法の入力

③ 点検方法をテキストボックスに直接入力して下さい。

橋梁の基本情報を入力して下さい。

橋梁情報		主桁形式	床版形式
橋梁番号	径間数	RC床版橋	コンクリート床版
10300	1	コンクリート桁(RC床版橋以外)	鋼床版(合成床版)
橋梁リストの修正		鋼桁	鋼床版およびコンクリート床版
		鋼およびコンクリート桁	

点検情報		点検方法
点検者区分	点検者	
点検員	山口 太郎	
委託業者		
点検日	点検方法	
2013 年 2 月 1 日	目視点検	

新規作成 閉じる

直接入力

5.3. 各データ項目の制限について

初期入力フォームの各データ項目の制限内容は下表のようになります。

データ項目	入力モード	制限	制限の内容
橋梁番号	半角英数のみ	○	10000～999999
径間数	半角英数のみ	○	1～50
主桁形式	リストより選択	○	<u>RC 床版橋</u> <u>コンクリート桁(RC 床版橋以外)</u> <u>鋼桁</u> <u>鋼およびコンクリート桁</u> 以上の 4 項目より選択
床版形式	リストにより選択	○	<u>コンクリート床版</u> <u>鋼床版(合成床版)</u> <u>鋼床版およびコンクリート床版</u> 以上の 3 項目より選択 主桁形式にて『 <u>RC 床版橋</u> 』を選択した場合は『 <u>コンクリート床版</u> 』のみとなる
点検者区分	リストより選択	○	<u>県職員</u> <u>委託業者</u> 以上の 2 項目より選択
点検者	半角英数 / 全角かな	—	—
点検日	半角英数のみ	○	『年』は 1900～2100 『月』は 1～12 『日』は 1～31 (月末日は年や月により変動します)
点検方法	半角英数 / 全角かな	—	—

-
- 橋梁の基本情報を入力して下さい。
- ### 橋梁情報
- | 橋梁番号 | 区間番号 | 主桁形式 | 床版形式 |
|-------|------|--|---|
| 10090 | 1 | RC床版橋
コンクリート新設(既設橋梁以外)
鋼桁
鋼およびコンクリート桁 | コンクリート床版
鋼床版(合成床版)
鋼床版およびコンクリート床版 |
- 橋梁リストの修正
- ### 点検情報
- | 点検者区分 | 点検者 |
|-------------|-------|
| 泉職員
委託業者 | 山口 次郎 |
- | 点検日 | 点検方法 |
|-----------------|------|
| 2014 年 3 月 11 日 | 様子 |
- 新規作成 閉じる



点検調査の作成

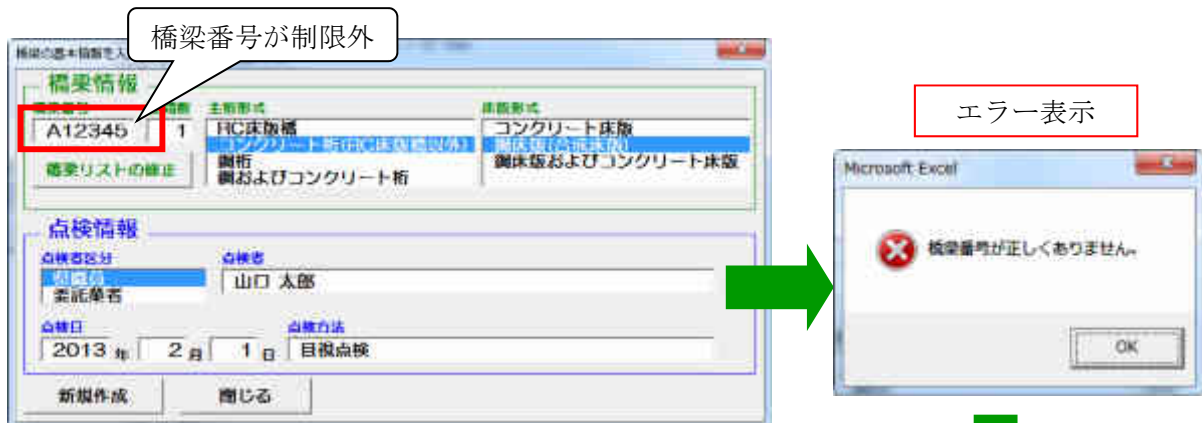
新規に橋梁の点検調査を作成します。

はい(Y) いいえ(N)

26

5.5. 自動入力ができない場合

- ① 点検調書（その1）の自動入力の際に『橋梁番号』、『径間数』、『点検日』が未入力または、
5.3 各データ項目の制限についての制限外のデータが入力されている場合は、エラーメッセージが表示され自動入力を行うことはできません。
 エラーで指摘された項目にて修正を行い、『**新規作成**』をクリックして下さい。



データ項目の入力チェック表

データ項目	入力チェック
橋梁番号	○
径間数	○
主桁形式	○
床版形式	○
点検者区分	—
点検者	—
点検日（年月日）	○
点検方法	—

修正を行う

橋梁番号

10500

5.6. 新規作成入力フォームの終了

- ① **閉じる** ボタンをクリックすると、終了確認画面が表示されますので**はい(Y)**をクリックすると、入力フォームが閉じられ、点検調書の項目は未入力のまま、もしくは前回の入力していた情報のまま Excel のシート「点検調書その 1, その 2」が表示されます。

いいえ(N) をクリックすると、入力フォームに戻ります。

※ システム自体は終了しません。

はい(Y) の場合はデータ未入力で Excel 画面

データは未入力のまま

いいえ(N) の場合はフォーム画面に戻ります。

6. 点検調書（その 1、その 2）の入力

点検調書（その 1、その 2）の橋梁の基本情報の入力を行います。

6.1. 箇所名の入力

- ① 箇所名の入力はセルへの直接入力により行います。

箇所名			
橋梁番号		径間数	1
橋梁名			

6.2. 橋梁番号の入力

- ① 橋梁番号の入力はセルへの直接入力、または橋梁番号リストの選択により行います。

箇所名			
橋梁番号		径間数	1
橋梁名			

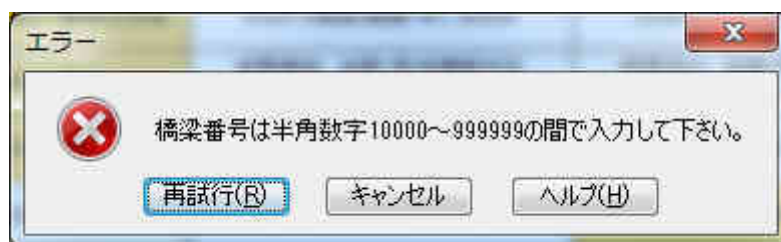
箇所名			
橋梁番号	<u>abcdef</u>	径間数	1
橋梁名			

箇所名			
橋梁番号	<u>20320A</u>	径間数	1
橋梁名			

※ 入力範囲と異なるデータが入力された場合は下記のエラーが表示されます。

再試行(R) ボタンをクリックし、修正入力を行って下さい。

キャンセル ボタンで変更前に戻ります。



6.2.1. 橋梁番号の入力（橋梁番号リストによる入力）

- ② 橋梁番号のセルをダブルクリックして下さい。

箇所名			
橋梁番号		径間数	1
橋梁名			

ダブルクリック

- ③ 橋梁番号リストが表示されますので、5.2.4 橋梁番号の入力（P.15）を参考に入力を行って下さい。

橋梁番号リスト

10030	大橋
10050	道子橋
10080	吉竹橋
10090	青木橋
10110	庄ノ浜橋
10111	庄ノ浜橋側道橋
10120	神清橋
10130	第一田ノ尻橋
10140	森橋
10150	江の口橋

ダブルクリック

選択してクリック

決定

橋梁番号

橋梁名

箇所名

径間数

AND検索 OR検索

検索 リストのリセット

- ④ 橋梁番号リストより入力した場合、箇所名、橋梁名、径間数が自動入力されます。

箇所名	周防大島町大字和田		
橋梁番号	10090	径間数	1
橋梁名	青木橋		

6.2.2. 橋梁番号の入力（セルを直接入力）

- ⑤ 橋梁番号のセルを直接入力して下さい。

箇所名			
橋梁番号		径間数	
橋梁名			

直接入力

- ⑥ 橋梁番号リストに該当する橋梁の場合は「箇所名」、「径間数」、「橋梁名」が自動入力されます。

箇所名	周防大島町大字和田		
橋梁番号	10090	径間数	1
橋梁名	青木橋		

自動入力

- ⑦ 橋梁番号リストに該当しない橋梁の場合は、「橋梁名」を入力するフォームが表示されます。

箇所名	周防大島町大字和田		
橋梁番号	54320	径間数	1
橋梁名	青木橋		

変更

12345

橋梁番号入力後
自動的に表示されます。

橋梁名を入力して下さい。

山口第一橋

決定

Microsoft Excel

橋梁名は「山口第一橋」
よろしいでしょうか？

はい(Y) いいえ(N)

戻る

箇所名			
橋梁番号	12345	径間数	1
橋梁名	山口第一橋		

6.2.3. 橋梁番号の変更後のファイル名の自動変更

橋梁番号変更後、登録されている損傷写真、図面、その他写真の画像ファイル名も変更されます。

- ① システムから橋梁番号を変更した場合は、登録した『C:¥Yamaguchi2』フォルダ内の写真のファイル名のみ変更されます。

橋梁番号変更前のファイル

10570_中浜橋_PIC001.jpg
 10570_中浜橋_PIC002.jpg
 10570_中浜橋_PIC003.jpg
 10570_中浜橋_PIC004.jpg
 10570_中浜橋_主桁横桁1.jpg
 10570_中浜橋_全景1.jpg

橋梁番号の変更

橋梁番号	10570
------	-------



橋梁番号	10580
------	-------

名前

10580_平田橋_PIC001.jpg
 10580_平田橋_PIC002.jpg
 10580_平田橋_PIC003.jpg
 10580_平田橋_PIC004.jpg
 10580_平田橋_主桁横桁1.jpg
 10580_平田橋_全景1.jpg

ファイル名が全て

10570_中浜橋→10580_平田橋
 に変更されます。

※ **新規保存**で作成された、点検調書 Excel ファイルでは橋梁番号の変更を行うことはできません。

6.3. 径間数の入力

径間数の編集はセルへの直接入力により行います。

箇所名	周防大島町大字和田		
橋梁番号	10050	径間数	1
橋梁名	逗子橋		

※ 1～50 の数値を直接入力して下さい。

6.3.1. 径間数の編集における注意点

- 径間数を増やした場合（2→5 に変更）

箇所名	周防大島町大字和田		
橋梁番号	10090	径間数	2
橋梁名	青木橋		

→

径間数	5
-----	---



- 点検調書その 1、その 2
 - ① 径間切替ボックス
 - ② 損傷データ、部材単位の健全性の診断、所見データ、登録写真
 増加分の径間（3,4,5 径間）は**データ未編集、登録写真なし**の状態となります。
 元々ある径間データ（1,2 径間）は保持されます。
- 点検調書その 3
 - ① 径間切替ボックス
 - ② 登録写真
 増加分の径間（3,4,5 径間）は**データ未編集、登録写真なし**の状態となります。
 元々ある径間データ（1,2 径間）は保持されます。
- 点検調書その 4
 - ① 径間切替ボックス
 - ② 登録写真
 増加分の径間（3,4,5 径間）は**データ未編集、登録写真なし**の状態となります。
 元々ある径間データ（1,2 径間）は保持されます。
 - ③ 損傷写真箇所図
 増加分の径間（3,4,5 径間）は**データ未編集、登録写真なし**の状態となります。
 元々ある径間データ（1,2 径間）は保持されます。

- 径間数を減らした場合（5→2 に変更）

箇所名	周防大島町大字和田	
橋梁番号	10090	径間数 5
橋梁名	青木橋	

→

径間数	2
-----	---

◀ 1 2 3 4 5 ▶ → ▶ 1 2 ◻ ◻ ◻ ▶

- 点検調書その 1、その 2

① 径間切替ボックス

② 損傷データ、部材単位の健全性の診断、所見データ、登録写真

減少分の径間（3,4,5 径間）はデータ未編集、登録写真なしの状態となります。

元々ある径間データ（1,2 径間）は保持されます。

- 点検調書その 3

① 径間切替ボックス

② 登録写真

減少分の径間（3,4,5 径間）はデータ未編集、登録写真なしの状態となります。

元々ある径間データ（1,2 径間）は保持されます。

- 点検調書その 4

① 径間切替ボックス

② 登録写真

減少分の径間（3,4,5 径間）はデータ未編集、登録写真なしの状態となります。

元々ある径間データ（1,2 径間）は保持されます。

③ 損傷写真箇所図

減少分の径間（3,4,5 径間）はデータ未編集、登録写真なしの状態となります。

元々ある径間データ（1,2 径間）は保持されます。

6.4. 橋梁名の入力

箇所名	周防大島町大字和田		
橋梁番号	10050	径間数	1
橋梁名	逗子橋		

※ 橋梁名を変更しても、写真ファイル名や現在作業中の点検調書 Excel ファイルのファイル名は変更されません。

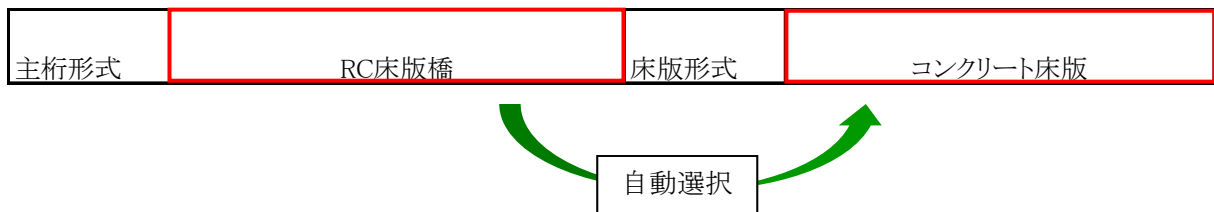
6.5. 主桁形式の入力

- ① 主桁形式の入力はプルダウンから、『RC 床版橋』、『コンクリート桁(RC 床版橋以外)』、『鋼桁』、『鋼およびコンクリート桁』より選択して下さい。

主桁形式	RC床版橋 コンクリート桁(RC床版橋以外) 鋼桁 鋼およびコンクリート桁	版形式	
点検者区分			
点検方法		点検年月日	

※ 主桁形式を変更すると、点検調書その 1 の「損傷区分」、「写真番号」、「部材単位の健全性の診断」、「所見」の入力内容が全てリセット（全削除）されます。変更の場合は注意して下さい。

※ 選択が『RC 床版橋』の場合、自動的に『コンクリート床版』の選択になります。



点検調書における主桁形式の区分

主桁形式	種類
RC 床版橋	<u>RC 床版橋のみ</u> の場合
コンクリート桁(RC 床版橋以外)	<u>RC 床版橋以外のコンクリート桁端</u> および <u>PC 床版橋</u> の場合
鋼桁	<u>鋼桁橋</u> の場合
鋼およびコンクリート桁	複数径間等で、 <u>鋼桁橋とコンクリート桁橋が混在する</u> 場合

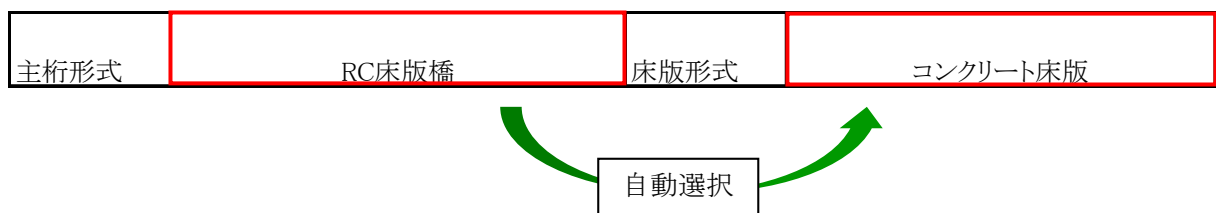
6.6. 床版形式の入力

- ① 主桁形式の入力はプルダウンから、『コンクリート床版』、『鋼床版(合成床版)』、『鋼床版およびコンクリート床版』より選択して下さい。

主桁形式	コンクリート桁(RC床版橋以外)		床版形式	コンクリート床版 鋼床版(合成床版) 鋼床版およびコンクリート床版
点検者区分		点検者		
点検方法			点検年月日	

※ 床版形式を変更すると、点検調書その 1 の「損傷区分」、「写真番号」、「部材単位の健全性の診断」、「所見」の入力内容が全てリセット（全削除）されます。変更の場合は注意して行って下さい。

※ 前項の主桁形式の選択が『RC 床版橋』の場合、自動的に『コンクリート床版』の選択になります。（コンクリート床版しか選べません）



点検調書における床版形式の区分

床版形式	種類
コンクリート床版	<u>RC 床版橋</u> 、 <u>コンクリート桁橋</u> 、 <u>鋼橋でコンクリート床版</u> の場合
鋼床版（合成床版）	<u>鋼桁橋で鋼床版</u> の場合、あるいは <u>合成床版</u> の場合
鋼床版およびコンクリート床版	複数径間等で、 <u>鋼桁橋とコンクリート桁橋が混在</u> し、 <u>鋼床版とコンクリート床版が混在</u> する場合

6.7. 主桁形式、床版形式の選択による影響

「主桁形式」、「床版形式」の選択の組み合わせにより「損傷区分」、「写真登録」、「部材単位の健全性の診断」の入力範囲が変更されます。下図の赤枠部分が入力可能範囲となります。

① 主桁形式：『空白』

床版形式：『空白』を選択

主桁形式		床版形式	
------	--	------	--

部位・部材区分		損傷の種類	損傷区分					写真番号	部材単位の健全性の診断	所見
			f	n	a	b	c			
上部構造	主桁	腐食、塗装劣化、防食機能の劣化	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	表面腐食、塗装・防食機能劣化(規模 中)	板厚減少、塗装・防食機能劣化(規模 大)	—	N	—
		亀裂、破断、変形	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	塗装われ、亀裂、破断、変形(規模 中)	亀裂、破断、変形(規模 大)	—		
		ボルトの腐食、ゆるみ、脱落	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	ボルトの腐食(規模 中)、ゆるみ	ボルトの腐食(規模 大)、脱落	—		
		腐食、塗装劣化、防食機能の劣化	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	表面腐食、塗装・防食機能劣化(規模 中)	板厚減少、塗装・防食機能劣化(規模 大)	—		
		亀裂、破断、変形	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	塗装われ、亀裂、破断、変形(規模 中)	亀裂、破断、変形(規模 大)	—		
		ボルトの腐食、ゆるみ、脱落	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	ボルトの腐食(規模 中)、ゆるみ	ボルトの腐食(規模 大)、脱落	—		
	橋桁・鋼床版	腐食、塗装劣化、防食機能の劣化	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	表面腐食、塗装・防食機能劣化(規模 中)	板厚減少、塗装・防食機能劣化(規模 大)	—	N	—
		亀裂、破断、変形	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	塗装われ、亀裂、破断、変形(規模 中)	亀裂、破断、変形(規模 大)	—		
		ボルトの腐食、ゆるみ、脱落	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	ボルトの腐食(規模 中)、ゆるみ	ボルトの腐食(規模 大)、脱落	—		
		ひびわれ	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	規模 中	規模 大	—		
		うき、剥離、欠損、鉄筋露出	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	うき、剥離、欠損(規模 中)	うき、剥離、欠損(規模 大)、鉄筋露出	—		
		遊離石灰、漏水(錆汁)	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	遊離石灰、漏水(規模 中)	遊離石灰、漏水(規模 大)、錆汁	—		
コンクリート	主桁・橋桁	異常な音、振動、たわみ	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	—	あり	—	N	—
		補強・補修材(鋼板接着部等)の損傷	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	規模 中	規模 大	—		
		ひびわれ	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	一方向ひびわれ	二方向ひびわれ	—		
		うき、剥離、欠損、鉄筋露出	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	うき、剥離、欠損(規模 中)	うき、剥離、欠損(規模 大)、鉄筋露出	—		
		遊離石灰、漏水(錆汁)	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	遊離石灰、漏水(規模 中)	遊離石灰、漏水(規模 大)、錆汁	—		
	鋼床版・鋼桁	抜け落ち	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	—	あり	—	N	—
		補強・補修材(鋼板接着部等)の損傷	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	規模 中	規模 大	—		
		ひびわれ	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	一方向ひびわれ	二方向ひびわれ	—		
		うき、剥離、欠損、鉄筋露出	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	うき、剥離、欠損(規模 中)	うき、剥離、欠損(規模 大)、鉄筋露出	—		
		遊離石灰、漏水(錆汁)	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	遊離石灰、漏水(規模 中)	遊離石灰、漏水(規模 大)、錆汁	—		

※ 空白の場合は点検調書（その 1）での損傷や健全性についての入力是不可となります。

② 主桁形式：『RC 床版橋』

床版形式：『コンクリート床版』を選択

主桁形式	RC床版橋	床版形式	コンクリート床版
------	-------	------	----------

部位・部材区分		損傷の種類		損傷区分			写真番号	部材単位の健全性の診断	所見
		f	n	a	b	c			
上部構造	主桁	腐食、塗装劣化、防食機能の劣化	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	表面腐食、塗装・防食機能劣化(規模 中)	板厚減少、塗装・防食機能劣化(規模 大)	—	N
		亀裂、破断、変形	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	塗装むれ、亀裂、破断、変形(規模 中)	亀裂、破断、変形(規模 大)	—	
		ボルトの腐食、ゆるみ、脱落	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	ボルトの腐食(規模 中)、ゆるみ	ボルトの腐食(規模 大)、脱落	—	
		腐食、塗装劣化、防食機能の劣化	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	表面腐食、塗装・防食機能劣化(規模 中)	板厚減少、塗装・防食機能劣化(規模 大)	—	
		亀裂、破断、変形	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	塗装むれ、亀裂、破断、変形(規模 中)	亀裂、破断、変形(規模 大)	—	
		ボルトの腐食、ゆるみ、脱落	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	ボルトの腐食(規模 中)、ゆるみ	ボルトの腐食(規模 大)、脱落	—	
	橋脚・橋床版	ひびわれ	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	規模 中	規模 大	—	N
		うき、剥離、欠損、鉄筋露出	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	うき、剥離、欠損(規模 中)	うき、剥離、欠損(規模 大)、鉄筋露出	—	
		遊離石灰、漏水(錆汁)	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	遊離石灰、漏水(規模 中)	遊離石灰、漏水(規模 大)、錆汁	—	
		異常な音、振動、たわみ	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	—	あり	—	
		補強・補修材(鋼板接着部等)の損傷	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	規模 中	規模 大	—	
		床版のひびわれ	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	一方向ひびわれ	二方向ひびわれ	—	
下部構造	基礎	うき、剥離、欠損、鉄筋露出	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	うき、剥離、欠損(規模 中)	うき、剥離、欠損(規模 大)、鉄筋露出	—	N
		遊離石灰、漏水(錆汁)	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	遊離石灰、漏水(規模 中)	遊離石灰、漏水(規模 大)、錆汁	—	
		抜け落ち	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	—	あり	—	
		補強・補修材(鋼板接着部等)の損傷	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	規模 中	規模 大	—	

③ 主桁形式：『コンクリート桁(RC 床版橋以外)』

床版形式：『コンクリート床版』を選択

主桁形式	コンクリート桁(RC床版橋以外)	床版形式	コンクリート床版
------	------------------	------	----------

部位・部材区分	損傷の種類	損傷区分					写真番号	部材単位の健全性の診断	所見
		f	n	a	b	c			
上部構造	主桁	腐食、塗装劣化、防食機能の劣化	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	表面腐食、塗装・防食機能劣化(規模 中)	板厚減少、塗装・防食機能劣化(規模 大)	—	N
		亀裂、破断、変形	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	塗装われ、亀裂、破断、変形(規模 中)	亀裂、破断、変形(規模 大)	—	
		ボルトの腐食、ゆるみ、脱落	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	ボルトの腐食(規模 中)、ゆるみ	ボルトの腐食(規模 大)、脱落	—	
		腐食、塗装劣化、防食機能の劣化	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	表面腐食、塗装・防食機能劣化(規模 中)	板厚減少、塗装・防食機能劣化(規模 大)	—	
		亀裂、破断、変形	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	塗装われ、亀裂、破断、変形(規模 中)	亀裂、破断、変形(規模 大)	—	
		ボルトの腐食、ゆるみ、脱落	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	ボルトの腐食(規模 中)、ゆるみ	ボルトの腐食(規模 大)、脱落	—	
	主桁・横桁	ひびわれ	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	規模 中	規模 大	—	
		うき、剥離、欠損、鉄筋露出	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	うき、剥離、欠損(規模 中)	うき、剥離、欠損(規模 大)、鉄筋露出	—	
		遊離石灰、漏水(錆汁)	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	遊離石灰、漏水(規模 中)	遊離石灰、漏水(規模 大)、錆汁	—	
		異常な音、振動、たわみ	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	—	あり	—	
		補強・補修材(鋼板接着部等)の損傷	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	規模 中	規模 大	—	
		床版のひびわれ	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	一方向ひびわれ	二方向ひびわれ	—	
		うき、剥離、欠損、鉄筋露出	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	うき、剥離、欠損(規模 中)	うき、剥離、欠損(規模 大)、鉄筋露出	—	
		遊離石灰、漏水(錆汁)	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	遊離石灰、漏水(規模 中)	遊離石灰、漏水(規模 大)、錆汁	—	
		抜け落ち	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	—	あり	—	
		補強・補修材(鋼板接着部等)の損傷	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	規模 中	規模 大	—	

④ 主桁形式：『コンクリート桁(RC 床版橋以外)』

床版形式：『鋼床版(合成床版)』を選択

主桁形式	コンクリート桁(RC床版橋以外)	床版形式	鋼床版(合成床版)
------	------------------	------	-----------

部位・部材区分	損傷の種類	損傷区分					写真番号	部材単位の健全性の診断	所見
		f	n	a	b	c			
上部構造	主桁	腐食、塗装劣化、防食機能の劣化	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	表面腐食、塗装・防食機能劣化(規模 中)	板厚減少、塗装・防食機能劣化(規模 大)	—	N
		亀裂、破断、変形	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	塗装われ、亀裂、破断、変形(規模 中)	亀裂、破断、変形(規模 大)	—	
		ボルトの腐食、ゆるみ、脱落	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	ボルトの腐食(規模 中)、ゆるみ	ボルトの腐食(規模 大)、脱落	—	
		腐食、塗装劣化、防食機能の劣化	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	表面腐食、塗装・防食機能劣化(規模 中)	板厚減少、塗装・防食機能劣化(規模 大)	—	
		亀裂、破断、変形	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	塗装われ、亀裂、破断、変形(規模 中)	亀裂、破断、変形(規模 大)	—	
		ボルトの腐食、ゆるみ、脱落	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	ボルトの腐食(規模 中)、ゆるみ	ボルトの腐食(規模 大)、脱落	—	
	主桁・横桁	ひびわれ	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	規模 中	規模 大	—	
		うき、剥離、欠損、鉄筋露出	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	うき、剥離、欠損(規模 中)	うき、剥離、欠損(規模 大)、鉄筋露出	—	
		遊離石灰、漏水(錆汁)	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	遊離石灰、漏水(規模 中)	遊離石灰、漏水(規模 大)、錆汁	—	
		異常な音、振動、たわみ	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	—	あり	—	
		補強・補修材(鋼板接着部等)の損傷	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	規模 中	規模 大	—	
		床版のひびわれ	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	一方向ひびわれ	二方向ひびわれ	—	
		うき、剥離、欠損、鉄筋露出	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	うき、剥離、欠損(規模 中)	うき、剥離、欠損(規模 大)、鉄筋露出	—	
		遊離石灰、漏水(錆汁)	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	遊離石灰、漏水(規模 中)	遊離石灰、漏水(規模 大)、錆汁	—	
		抜け落ち	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	—	あり	—	
		補強・補修材(鋼板接着部等)の損傷	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	規模 中	規模 大	—	

⑤ 主桁形式：『コンクリート桁(RC 床版橋以外)』

床版形式：『鋼床版およびコンクリート床版』を選択

主桁形式	コンクリート桁(RC床版橋以外)	床版形式	鋼床版およびコンクリート床版
------	------------------	------	----------------

部位・部材区分		損傷の種類		損傷区分				写真番号	部材単位の健全性の診断	所見
		f	n	a	b	c				
上部構造	主桁	腐食、塗装劣化、防食機能の劣化	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	表面腐食、塗装・防食機能劣化(規模 中)	板厚減少、塗装・防食機能劣化(規模 大)	—		
		亀裂、破断、変形	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	塗装われ、亀裂、破断、変形(規模 中)	亀裂、破断、変形(規模 大)	—		
		ボルトの腐食、ゆるみ、脱落	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	ボルトの腐食(規模 中)、ゆるみ	ボルトの腐食(規模 大)、脱落	—		
		腐食、塗装劣化、防食機能の劣化	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	表面腐食、塗装・防食機能劣化(規模 中)	板厚減少、塗装・防食機能劣化(規模 大)			
		亀裂、破断、変形	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	塗装われ、亀裂、破断、変形(規模 中)	亀裂、破断、変形(規模 大)			
		ボルトの腐食、ゆるみ、脱落	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	ボルトの腐食(規模 中)、ゆるみ	ボルトの腐食(規模 大)、脱落			
	横桁・鋼床版	ひびわれ	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	規模 中	規模 大			
		うき、剥離、欠損、鉄筋露出	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	うき、剥離、欠損(規模 中)	うき、剥離、欠損(規模 大)、鉄筋露出			
		遊離石灰、漏水(錆汁)	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	遊離石灰、漏水(規模 中)	遊離石灰、漏水(規模 大)、錆汁			
		異常な音、振動、たわみ	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	—	あり			
		補強・補修材(鋼板接着部等)の損傷	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	規模 中	規模 大			
		床版のひびわれ	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	一方向ひびわれ	二方向ひびわれ			
	主桁・横桁・コンクリート	うき、剥離、欠損、鉄筋露出	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	うき、剥離、欠損(規模 中)	うき、剥離、欠損(規模 大)、鉄筋露出			
		遊離石灰、漏水(錆汁)	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	遊離石灰、漏水(規模 中)	遊離石灰、漏水(規模 大)、錆汁			
		抜け落ち	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	—	あり			
		補強・補修材(鋼板接着部等)の損傷	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	規模 中	規模 大			
		ひびわれ	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	規模 中	規模 大			
		うき、剥離、欠損、鉄筋露出	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	うき、剥離、欠損(規模 中)	うき、剥離、欠損(規模 大)、鉄筋露出			

⑥ 主桁形式：『鋼桁』

床版形式：『コンクリート床版』を選択

主桁形式		鋼桁		床版形式		コンクリート床版		
部位・部材区分		損傷の種類		損傷区分		写真番号	部材単位の健全性の診断	所見
		f	n	a	b	c		
鋼	主桁	腐食、塗装劣化、防食機能の劣化	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	表面腐食、塗装・防食機能劣化 (規模 中)	板厚減少、塗装・防食機能劣化 (規模 大)	
		亀裂、破断、変形	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	塗装われ、亀裂、破断、変形 (規模 中)	亀裂、破断、変形 (規模 大)	
		ボルトの腐食、ゆるみ、脱落	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	ボルトの腐食(規模 中)、ゆるみ	ボルトの腐食(規模 大)、脱落	
	横桁・鋼床版	腐食、塗装劣化、防食機能の劣化	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	表面腐食、塗装・防食機能劣化 (規模 中)	板厚減少、塗装・防食機能劣化 (規模 大)	
		亀裂、破断、変形	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	塗装われ、亀裂、破断、変形 (規模 中)	亀裂、破断、変形 (規模 大)	
		ボルトの腐食、ゆるみ、脱落	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	ボルトの腐食(規模 中)、ゆるみ	ボルトの腐食(規模 大)、脱落	
上部構造 コンクリート	主桁・横桁	ひびわれ	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	規模 中	規模 大	N
		うき、剥離、欠損、鉄筋露出	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	うき、剥離、欠損(規模 中)	うき、剥離、欠損(規模 大)、鉄筋露出	
		遊離石灰、漏水(錆汁)	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	遊離石灰、漏水(規模 中)	遊離石灰、漏水(規模 大)、錆汁	
		異常な音、振動、たわみ	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	—	あり	
		補強・補修材(鋼板接着部等)の損傷	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	規模 中	規模 大	
	鋼床版・鋼床版の	床版のひびわれ	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	一方向ひびわれ	二方向ひびわれ	
		うき、剥離、欠損、鉄筋露出	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	うき、剥離、欠損(規模 中)	うき、剥離、欠損(規模 大)、鉄筋露出	
		遊離石灰、漏水(錆汁)	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	遊離石灰、漏水(規模 中)	遊離石灰、漏水(規模 大)、錆汁	
		抜け落ち	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	—	あり	
		補強・補修材(鋼板接着部等)の損傷	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	規模 中	規模 大	

⑦ 主桁形式：『鋼桁』

床版形式：『鋼床版(合成床版)』を選択

主桁形式			鋼桁		床版形式		鋼床版(合成床版)			
部位・部材区分		損傷の種類	損傷区分					写真番号	部材単位の健全性の診断	所見
			f	n	a	b	c			
上部構造	鋼	主桁	腐食、塗装劣化、防食機能の劣化	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	表面腐食、塗装・防食機能劣化(規模 中)	板厚減少、塗装・防食機能劣化(規模 大)		
			亀裂、破断、変形	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	塗装われ、亀裂、破断、変形(規模 中)	亀裂、破断、変形(規模 大)		
			ボルトの腐食、ゆるみ、脱落	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	ボルトの腐食(規模 中)、ゆるみ	ボルトの腐食(規模 大)、脱落		
		横桁・鋼床版	腐食、塗装劣化、防食機能の劣化	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	表面腐食、塗装・防食機能劣化(規模 中)	板厚減少、塗装・防食機能劣化(規模 大)		
			亀裂、破断、変形	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	塗装われ、亀裂、破断、変形(規模 中)	亀裂、破断、変形(規模 大)		
			ボルトの腐食、ゆるみ、脱落	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	ボルトの腐食(規模 中)、ゆるみ	ボルトの腐食(規模 大)、脱落		
	コンクリート	主桁・横桁	ひびわれ	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	規模 中	規模 大	—	N
			うき、剥離、欠損、鉄筋露出	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	うき、剥離、欠損(規模 中)	うき、剥離、欠損(規模 大)、鉄筋露出	—	
			遊離石灰、漏水(錆汁)	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	遊離石灰、漏水(規模 中)	遊離石灰、漏水(規模 大)、錆汁	—	
			異常な音、振動、たわみ	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	—	あり	—	
コンクリート	鋼床版・鋼床版の	補強・補修材(鋼板接着部等)の損傷	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	規模 中	規模 大	—	N	
		床版のひびわれ	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	一方向ひびわれ	二方向ひびわれ	—		
		うき、剥離、欠損、鉄筋露出	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	うき、剥離、欠損(規模 中)	うき、剥離、欠損(規模 大)、鉄筋露出	—		
		遊離石灰、漏水(錆汁)	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	遊離石灰、漏水(規模 中)	遊離石灰、漏水(規模 大)、錆汁	—		
		抜け落ち	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	—	あり	—		
		剥離・塗剥離(鋼板に貼る部材)の損傷	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	規模 中	規模 大	—		

⑧ 主桁形式：『鋼桁』

床版形式：『鋼床版およびコンクリート床版』を選択

主桁形式	鋼桁	床版形式	鋼床版およびコンクリート床版
------	----	------	----------------

点検項目		箇所名	周防大島町大字和田		主桁形式		鋼桁		床版形式	鋼床版およびコンクリート床版			
		橋梁番号	10111		径間数	1	点検者区分		点検者				
		橋梁名	庄ノ浜橋側道橋		点検方法		点検年月日		2015年 6月 7日				
部位・部材区分		損傷の種類		損傷区分						写真番号	部材単位の健全性の診断	所見	
		f	n	a	b		c						
上部構造	主桁	腐食、塗装劣化、防食機能の劣化	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	表面腐食、塗装・防食機能劣化(規模 中)		板厚減少、塗装・防食機能劣化(規模 大)			N		
		亀裂、破断、変形	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	塗装むれ、亀裂、破断、変形(規模 中)		亀裂、破断、変形(規模 大)					
		ボルトの腐食、ゆるみ、脱落	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	ボルトの腐食(規模 中)、ゆるみ		ボルトの腐食(規模 大)、脱落					
	橋桁・鋼床版	腐食、塗装劣化、防食機能の劣化	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	表面腐食、塗装・防食機能劣化(規模 中)		板厚減少、塗装・防食機能劣化(規模 大)					
		亀裂、破断、変形	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	塗装むれ、亀裂、破断、変形(規模 中)		亀裂、破断、変形(規模 大)					
		ボルトの腐食、ゆるみ、脱落	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	ボルトの腐食(規模 中)、ゆるみ		ボルトの腐食(規模 大)、脱落					
	コンクリート床版・鋼床版・鋼桁	主桁・橋桁	ひびわれ	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	規模 中		規模 大				—
			うき、剥離、欠損、鉄筋露出	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	うき、剥離、欠損(規模 中)		うき、剥離、欠損(規模 大)、鉄筋露出				—
			遊離石灰、漏水(錆汁)	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	遊離石灰、漏水(規模 中)		遊離石灰、漏水(規模 大)、錆汁				—
			異常な音、振動、たわみ	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	—		あり				—
			補修・補修材(鋼板接着部等)の損傷	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	規模 中		規模 大				—
			床版のひびわれ	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	一方向ひびわれ		二方向ひびわれ				
うき、剥離、欠損、鉄筋露出			目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	うき、剥離、欠損(規模 中)		うき、剥離、欠損(規模 大)、鉄筋露出					
遊離石灰、漏水(錆汁)			目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	遊離石灰、漏水(規模 中)		遊離石灰、漏水(規模 大)、錆汁					
抜け落ち			目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	—		あり					
補強・補修材(鋼板接着部等)の損傷	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	規模 中		規模 大							

⑨ 主桁形式：『鋼およびコンクリート桁』

床版形式：『コンクリート床版』、『鋼床版およびコンクリート床版』を選択

主桁形式	鋼およびコンクリート桁	床版形式	コンクリート床版
------	-------------	------	----------

主桁形式	鋼およびコンクリート桁	床版形式	鋼床版およびコンクリート床版
------	-------------	------	----------------

部位・部材区分		損傷の種類		損傷区分			写真番号	部材単位の健全性の診断	所見
		f	g	a	b	c			
上部構造	鋼	主桁	腐食、塗装劣化、防食機能の劣化	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	表面腐食、塗装・防食機能劣化(規模 中)	板厚減少、塗装・防食機能劣化(規模 大)	
			亀裂、破断、変形	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	塗装われ、亀裂、破断、変形(規模 中)	亀裂、破断、変形(規模 大)	
			ボルトの腐食、ゆるみ、脱落	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	ボルトの腐食(規模 中)、ゆるみ	ボルトの腐食(規模 大)、脱落	
		橋脚・鋼床版	腐食、塗装劣化、防食機能の劣化	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	表面腐食、塗装・防食機能劣化(規模 中)	板厚減少、塗装・防食機能劣化(規模 大)	
			亀裂、破断、変形	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	塗装われ、亀裂、破断、変形(規模 中)	亀裂、破断、変形(規模 大)	
			ボルトの腐食、ゆるみ、脱落	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	ボルトの腐食(規模 中)、ゆるみ	ボルトの腐食(規模 大)、脱落	
	コンクリート	主桁・橋脚	ひびわれ	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	規模 中	規模 大	
			うき、剥離、欠損、鉄筋露出	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	うき、剥離、欠損(規模 中)	うき、剥離、欠損(規模 大)、鉄筋露出	
			遊離石灰、漏水(錆汁)	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	遊離石灰、漏水(規模 中)	遊離石灰、漏水(規模 大)、錆汁	
			異常な音、振動、たわみ	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	—	あり	
			補強・補修材(鋼板接合部等)の損傷	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	規模 中	規模 大	
		C部材・鋼床版	床版のひびわれ	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	一方向ひびわれ	二方向ひびわれ	
			うき、剥離、欠損、鉄筋露出	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	うき、剥離、欠損(規模 中)	うき、剥離、欠損(規模 大)、鉄筋露出	
			遊離石灰、漏水(錆汁)	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	遊離石灰、漏水(規模 中)	遊離石灰、漏水(規模 大)、錆汁	
			剥け落ち	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	—	あり	
			補強・補修材(鋼板接合部等)の損傷	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	規模 中	規模 大	

⑩ 主桁形式：『鋼およびコンクリート桁』

床版形式：『鋼床版(合成床版)』を選択

主桁形式	鋼およびコンクリート桁	床版形式	鋼床版(合成床版)
------	-------------	------	-----------

部位・部材区分		損傷の種類	損傷区分					写真番号	部材単位の健全性の診断	所見
			f	g	h	i	j			
上部構造	鋼	主桁	腐食、塗装劣化、防食機能の劣化	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	表面腐食、塗装・防食機能劣化(規模 中)	板厚減少、塗装・防食機能劣化(規模 大)		
			亀裂、破断、変形	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	塗装むれ、亀裂、破断、変形(規模 中)	亀裂、破断、変形(規模 大)		
			ボルトの腐食、ゆるみ、脱落	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	ボルトの腐食(規模 中)、ゆるみ	ボルトの腐食(規模 大)、脱落		
		横桁・鋼床版	腐食、塗装劣化、防食機能の劣化	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	表面腐食、塗装・防食機能劣化(規模 中)	板厚減少、塗装・防食機能劣化(規模 大)		
			亀裂、破断、変形	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	塗装むれ、亀裂、破断、変形(規模 中)	亀裂、破断、変形(規模 大)		
			ボルトの腐食、ゆるみ、脱落	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	ボルトの腐食(規模 中)、ゆるみ	ボルトの腐食(規模 大)、脱落		
	コンクリート	主桁	ひびわれ	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	規模 中	規模 大		
			うき、剥離、欠損、鉄筋露出	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	うき、剥離、欠損(規模 中)	うき、剥離、欠損(規模 大)、鉄筋露出		
			遊離石灰、漏水(錆汁)	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	遊離石灰、漏水(規模 中)	遊離石灰、漏水(規模 大)、錆汁		
			異常な音、振動、たわみ	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	—	あり		
		C40床版・鋼床版	補強・補修材(鋼板接合部等)の損傷	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	規模 中	規模 大		
			床版のひびわれ	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	一方向ひびわれ	二方向ひびわれ	—	
			うき、剥離、欠損、鉄筋露出	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	うき、剥離、欠損(規模 中)	うき、剥離、欠損(規模 大)、鉄筋露出	—	
			遊離石灰、漏水(錆汁)	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	遊離石灰、漏水(規模 中)	遊離石灰、漏水(規模 大)、錆汁	—	
		鋼床版・鋼床版	抜け落ち	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	—	あり	—	
			補強・補修材(鋼板接合部等)の損傷	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	規模 中	規模 大	—	

6.8. 点検者区分の入力

点検者区分の入力は、プルダウンより『県職員』、もしくは『委託業者』を選択します。

主桁形式	鋼およびコンクリート桁	床版形式	鋼床版およびコンクリート床版
点検者区分	<div> <div>県職員</div> <div>委託業者</div> </div>	点検者	
点検方法		点検年月日	

6.9. 点検者の入力

点検者名の入力はセルへ直接入力により行います。

主桁形式	鋼およびコンクリート桁	床版形式	鋼床版およびコンクリート床版
点検者区分	県職員	点検者	
点検方法		点検年月日	

6.10. 点検方法の入力

点検方法の入力はセルへ直接入力により行います。

主桁形式	鋼およびコンクリート桁	床版形式	鋼床版およびコンクリート床版
点検者区分	県職員	点検者	山口太郎
点検方法		点検年月日	

6.11. 点検年月日の入力

点検年月日の入力はセルへ直接入力により行います。1900 年 1 月 1 日～2099 年 12 月 31 日の範囲で『2013/2/2』という書式で入力して下さい。それ以外の日付が入力した場合はエラーが表示されます。

点検年月日	2013/2/32
-------	-----------



32 日など日付でデータを入力すると…

再試行(R) をクリックすると入力のし直しとなり、**キャンセル** をクリックすると、前回のデータに戻ります。

6.12. 入力制限

各入力項目には下表の入力制限が設定されています。

入力項目	入力モード	制限	制限の内容
箇所名	半角英数 / 全角かな	×	制限無し
橋梁番号	半角英数	○	10000 ～ 999999 (点検調書編集時は変更できません)
径間数	半角英数	○	1 ～ 50
橋梁名	半角英数 / 全角かな	×	制限無し
主桁形式	半角英数 / 全角かな プルダウン選択	○	<u>RC 床版橋</u> <u>コンクリート桁(RC 床版橋以外)</u> <u>鋼桁</u> <u>鋼およびコンクリート桁</u> の 4 項目より選択。
床版形式	半角英数 / 全角かな プルダウン選択	○	<u>コンクリート床版</u> <u>鋼床版(合成床版)</u> <u>鋼床版およびコンクリート床版</u> の 3 項目より選択。 主桁形式が『 <u>RC 床版橋</u> 』の場合は、自動的に『 <u>コンクリート床版</u> 』選択
点検者区分	半角英数 / 全角かな プルダウン選択	○	<u>県職員</u> <u>委託業者</u> の 2 項目より選択。
点検者	半角英数 / 全角かな	×	制限無し
点検方法	半角英数 / 全角かな	×	制限無し
点検年月日	半角英数字	○	1900 年 1 月 1 日～2099 年 12 月 31 日 (『2012/12/12』という表記で入力)

6.13. 損傷区分の入力

損傷区分の入力は『主桁形式』、『床版形式』の選択項目により入力可能の範囲が変わります。詳しくは、**6.7 主桁形式、床版形式の選択による影響**（P.37）を参考にして下さい。

点検項目		箇所名	周防大島町大字和田		主桁形式	鋼桁		床版形式	コンクリート床版	
		橋梁番号	10090	径間数	1	点検者区分	委託業者	点検者	(株)○○○○コンサルタント	
		橋梁名	青木橋		点検方法	梯子		点検年月日	2014年 3月11日	
部位・部材区分		損傷の種類		損傷区分				写真番号	部材単位の健全性の診断	所見
鋼	主桁	腐食、塗装劣化、防食機能の劣化	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	表面腐食、塗装・防食機能劣化(規模 中)	板厚減少、塗装・防食機能劣化(規模 大)			
		亀裂、破断、変形	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	塗装むれ、亀裂、破断、変形(規模 中)	亀裂、破断、変形(規模 大)			
		ボルトの腐食、ゆるみ、脱落	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	ボルトの腐食(規模 中)、ゆるみ	ボルトの腐食(規模 大)、脱落			
	横桁・鋼床版	腐食、塗装劣化、防食機能の劣化	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	表面腐食、塗装・防食機能劣化(規模 中)	板厚減少、塗装・防食機能劣化(規模 大)			
		亀裂、破断、変形	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	塗装むれ、亀裂、破断、変形(規模 中)	亀裂、破断、変形(規模 大)			
		ボルトの腐食、ゆるみ、脱落	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	ボルトの腐食(規模 中)、ゆるみ	ボルトの腐食(規模 大)、脱落			
上部構造	コンクリート	主桁・横桁	ひびわれ	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	規模 中	規模 大	—	N
		うき、剥離、欠損、鉄筋露出	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	うき、剥離、欠損(規模 中)	うき、剥離、欠損(規模 大)、鉄筋露出	—		
		遊離石灰、漏水(錆汁)	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	遊離石灰、漏水(規模 中)	遊離石灰、漏水(規模 大)、錆汁	—		
		異常な音、振動、たわみ	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	—	あり	—		
		補強・補修材(鋼板接着部等)の損傷	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	規模 中	規模 大	—		
	C系床版・鋼床版	床版のひびわれ	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	一方向ひびわれ	二方向ひびわれ			
		うき、剥離、欠損、鉄筋露出	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	うき、剥離、欠損(規模 中)	うき、剥離、欠損(規模 中)、鉄筋露出			
		遊離石灰、漏水(錆汁)	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	遊離石灰、漏水(規模 中)	遊離石灰、漏水(規模 大)、錆汁			
		抜け落ち	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	—	あり			
		補強・補修材(鋼板接着部等)の損傷	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	規模 中	規模 大			

6.13.1. 損傷区分の入力

- ① 上部工各部材の**損傷区分**の入力を行います。（上図は主桁形式が **RC 床版橋**、床版形式が **コンクリート床版**）損傷区分の入力切替は**左クリック**にて行います。

損傷区分の入力切替ができない場合

- 1) **橋梁番号**、**主桁形式**、**床版形式**のいずれかが未入力
- 2) **主桁形式**と**床版形式**の組み合わせにより、損傷区分が「**部材なし**」の場合

主桁・横桁	ひびわれ	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	規模 中	規模 大	—	N
	うき、剥離、欠損、鉄筋露出	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	うき、剥離、欠損（規模 中）	うき、剥離、欠損（規模 大）、鉄筋露出	—	
	遊離石灰、漏水（錆汁）	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	遊離石灰、漏水（規模 中）	遊離石灰、漏水（規模 大）、錆汁	—	
	異常な音、振動、たわみ	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	—	あり	—	
	補強・補修材（鋼板接着部等）の損傷	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	規模 中	規模 大	—	
		目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	規模 中	規模 大	—	

左クリックしても切り替わりません。

② 左クリックにて損傷区分「a」、「b」、「c」、「f」、「n」を切替えることができます。

部位・部材区分			損傷の種類		損傷区分			写真番号	部材単位の健全性の診断
			f	n	a	b	c		
上部構造	主桁	腐食、塗装劣化、防食機能の劣化	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	表面腐食、塗装・防食機能劣化（規模 中）	板厚減少、塗装・防食機能劣化（規模 大）	—	N
		亀裂、破断、変形	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	塗装われ、亀裂、破断、変形（規模 中）	亀裂、破断、変形（規模 大）	—	
		ボルトの腐食、ゆるみ、脱落	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	ボルトの腐食（規模 中）、ゆるみ	ボルトの腐食（規模 大）、脱落	—	
	横桁・脚床版	腐食、塗装劣化、防食機能の劣化	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	表面腐食、塗装・防食機能劣化（規模 中）			
		亀裂、破断、変形	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	塗装われ、亀裂、破断、変形（規模 中）			
		ボルトの腐食、ゆるみ、脱落	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	ボルトの腐食（規模 中）、ゆるみ			
	主桁・横桁	ひびわれ	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	規模 中	規模 大		
		うき、剥離、欠損、鉄筋露出	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	うき、剥離、欠損（規模 中）	うき、剥離、欠損（規模 大）、鉄筋露出		
		遊離石灰、漏水（錆汁）	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	遊離石灰、漏水（規模 中）	遊離石灰、漏水（規模 大）、錆汁		
		異常な音、振動、たわみ	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷		あり		
補強・補修材（鋼板接着部等）の損傷		目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	中	規模 大			
床版のひびわれ		目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	一方へひびわれ	二方向ひびわれ	—		
うき、剥離、欠損、鉄筋露出		損傷なし・軽微な損傷		規模 中			規模 大		
鋼床版・鋼筋の	遊離石灰、漏水（錆汁）	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷					
	抜け落ち	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	—	あり	—		
	補強・補修材（鋼板接着部等）の損傷	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	規模 中	規模 大	—		

左クリックすると切り替わります。

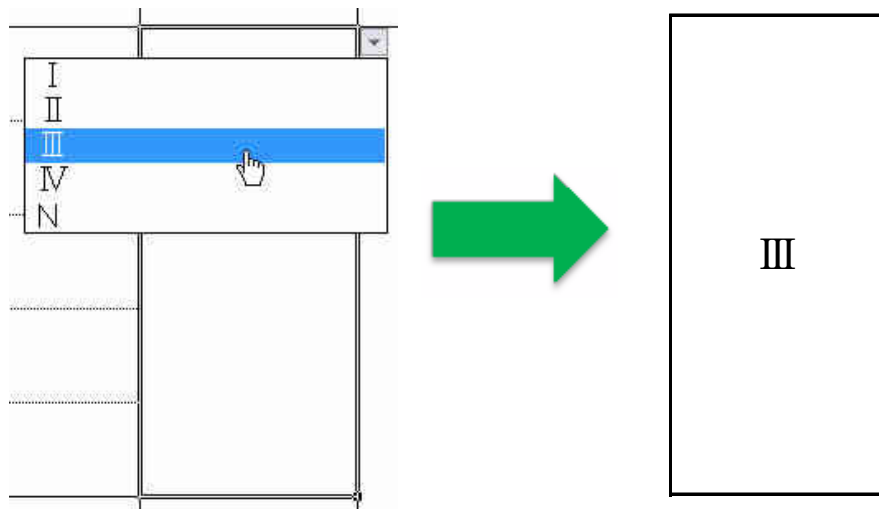


部位・部材区分		損傷の種類	損傷区分				写真番号	部材単位の健全性の診断	
			f	n	a	b			c
鋼	主桁	腐食、塗装劣化、防食機能の劣化	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	表面腐食、塗装・防食機能劣化（規模 中）	板厚減少、塗装・防食機能劣化（規模 大）	—	N
		亀裂、破断、変形	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	塗装われ、亀裂、破断、変形（規模 中）	亀裂、破断、変形（規模 大）	—	
		ボルトの腐食、ゆるみ、脱落	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	ボルトの腐食（規模 中）、ゆるみ	ボルトの腐食（規模 大）、脱落	—	
	横桁・鋼床版	腐食、塗装劣化、防食機能の劣化	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	表面腐食、塗装・防食機能劣化（規模 中）	板厚減少、塗装・防食機能劣化（規模 大）	—	
		亀裂、破断、変形	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	塗装われ、亀裂、破断、変形（規模 中）	亀裂、破断、変形（規模 大）	—	
		ボルトの腐食、ゆるみ、脱落	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	ボルトの腐食（規模 中）、ゆるみ	ボルトの腐食（規模 大）、脱落	—	
上部構造	主桁・横桁	ひびわれ	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	規模 中	規模 大	—	III
		うき、剥離、欠損、鉄筋露出	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	うき、剥離、欠損（規模 中）	うき、剥離、欠損（規模 大）、鉄筋露出	—	
		遊離石灰、漏水（錆汁）	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	遊離石灰、漏水（規模 中）	遊離石灰、漏水（規模 大）、錆汁	—	
	コンクリート	異常な音、振動、たわみ	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	—	あり	—	N
		補強・補修材（鋼板接着部等）の損傷	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	規模 中	規模 大	—	
		床版のひびわれ	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	一方向ひびわれ	二方向ひびわれ	—	
		うき、剥離、欠損、鉄筋露出	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	うき、剥離、欠損（規模 中）	うき、剥離、欠損（規模 中）、鉄筋露出	—	
		遊離石灰、漏水（錆汁）	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	遊離石灰、漏水（規模 中）	遊離石灰、漏水（規模 大）、錆汁	—	
		抜け落ち	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	—	あり	—	
		補強・補修材（鋼板接着部等）の損傷	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	規模 中	規模 大	—	

6.14. 部材単位の健全性の診断入力

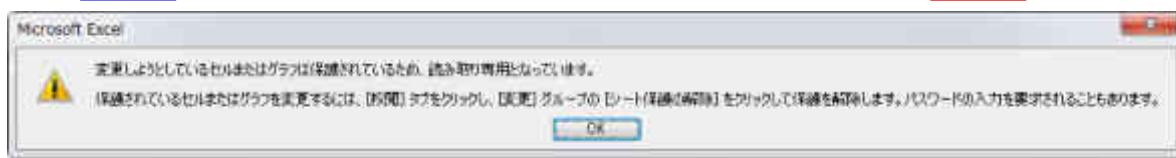
① 部材単位の健全性の診断はプルダウンで「Ⅰ」、「Ⅱ」、「Ⅲ」、「Ⅳ」、「Ⅴ」より選択します。

部位・部材区分			損傷の種類	損傷区分					写真番号	部材単位の健全性の診断	
				f	n	a	b	c			
上部構造	鋼	主桁	腐食、塗装劣化、防食機能の劣化	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	表面腐食、塗装・防食機能劣化（規模 大）	板厚減少・塗装・防食機能劣化（規模 大）	—	N	
			亀裂、破断、変形	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	塗装われ、亀裂、破断、変形（規模 中）	亀裂、破断、変形（規模 大）	—		
			ボルトの腐食、ゆるみ、脱落	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	ボルトの腐食（規模 中）、ゆるみ	ボルトの腐食（規模 大）、脱落	—		
		横桁 鋼床版	腐食、塗装劣化、防食機能の劣化	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	表面腐食、塗装・防食機能劣化（規模 中）	板厚減少・塗装・防食機能劣化（規模 大）	—		
			亀裂、破断、変形	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	塗装われ、亀裂、破断、変形（規模 中）	亀裂、破断、変形（規模 大）	—		
			ボルトの腐食、ゆるみ、脱落	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	ボルトの腐食（規模 中）、ゆるみ	ボルトの腐食（規模 大）、脱落	—		
	コンクリート	主桁・横桁	ひびわれ	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	規模 中	規模 大	—	N	
			うき、剥離、欠損、鉄筋露出	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	うき、剥離、欠損（規模 中）	うき、剥離、欠損（規模 大）、鉄筋露出	—		
			遊離石灰、漏水（錆汁）	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	遊離石灰、漏水（規模 中）	遊離石灰、漏水（規模 大）、錆汁	—		
			異常な音、振動、たわみ	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	—	あり	—		
			補強・補修材（鋼板接着部等）の損傷	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	規模 中	規模 大	—		
		C=床版・開閉め	床版のひびわれ	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	一方向ひびわれ	二方向ひびわれ	—		N
			うき、剥離、欠損、鉄筋露出	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	うき、剥離、欠損（規模 中）	うき、剥離、欠損（規模 中）、鉄筋露出	—		
			遊離石灰、漏水（錆汁）	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	遊離石灰、漏水（規模 中）	遊離石灰、漏水（規模 大）、錆汁	—		
			抜け落ち	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	—	あり	—		
			補強・補修材（鋼板接着部等）の損傷	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	規模 中	規模 大	—		



② 部位全てが『部材なし』になっている箇所は、プルダウンによる選択や入力是不可能。

		損傷の種類	損傷区分			写真番号	部材単位の健全性の診断	所見
f	n		a	b	c			
目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	表面腐食、塗装・防食機能劣化（規模 中）	表面腐食、塗装・防食機能劣化（規模 大）	板厚減少、塗装・防食機能劣化（規模 大）	—	N	—
目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	塗装われ、亀裂、破断、変形（規模 中）	塗装われ、亀裂、破断、変形（規模 大）	亀裂、破断、変形（規模 大）	—		
目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	ボルトの腐食（規模 中）、ゆるみ	ボルトの腐食（規模 中）、ゆるみ	ボルトの腐食（規模 大）、脱落	—		
目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	表面腐食、塗装・防食機能劣化（規模 中）	表面腐食、塗装・防食機能劣化（規模 中）	板厚減少、塗装・防食機能劣化（規模 大）	—		
目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	塗装われ、亀裂、破断、変形（規模 中）	塗装われ、亀裂、破断、変形（規模 中）	亀裂、破断、変形（規模 大）	—		
目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	ボルトの腐食（規模 中）、ゆるみ	ボルトの腐食（規模 中）、ゆるみ	ボルトの腐食（規模 大）、脱落	—		

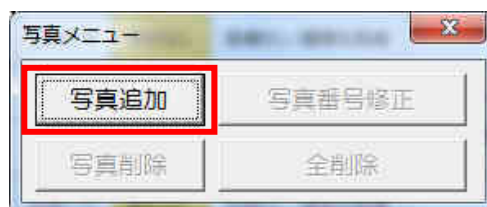


6.15. 写真の入力

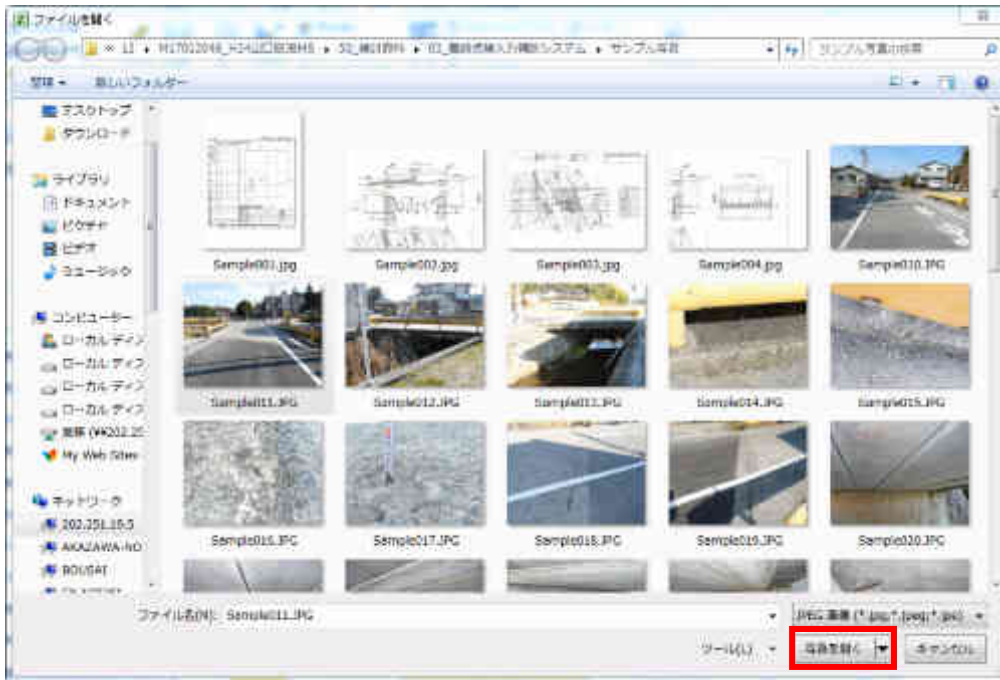
6.15.1. 写真の追加

損傷の種類	損傷区分					写真番号
	f	n	a	b	c	
腐食、塗装劣化、防食機能の劣化	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	表面腐食、塗装・防食機能劣化 (規模 中)	板厚減少、塗装・防食機能劣化 (規模 大)	
亀裂、破断、変形	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	塗装われ	亀裂、破断、変形	
ボルトの腐食、ゆるみ、脱落	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	ボルトの腐食(規模 中)、ゆるみ	ボルトの腐食(規模 大)、脱落	
腐食、塗装劣化、防食機能の劣化	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	表面腐食、塗装・防食機能劣化 (規模 中)	板厚減少、塗装・防食機能劣化 (規模 大)	
亀裂、破断、変形	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	塗装われ	亀裂、破断、変形	
ボルトの腐食、ゆるみ、脱落	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	ボルトの腐食(規模 中)、ゆるみ		
ひびわれ	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	規模 中 幅mm(0.2 ≤ RC < 0.3, 0.1 ≤ PC < 0.2)	幅mm(RC ≤ 0.3, PC ≤ 0.2)	ダブルクリック
うき、剥離、欠損、鉄筋露出	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	うき、剥離、欠損(規模 中)	うき、剥離、欠損(規模 大)、鉄筋露出	—
遊離石灰、漏水(錆汁)	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	遊離石灰、漏水(規模 中)	遊離石灰、漏水(規模 中)、錆汁	—
異常な音、振動、たわみ	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	—	あり	—
補強・補修材(鋼板接着部等)の損傷	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷			—

- ① 写真の追加は追加対象の損傷セルを**ダブルクリック**します。
- ※ 損傷区分が「**部材なし**」の場合は、写真の追加ができません。
- ※ 橋梁番号が入力されていない場合は、写真の追加ができません。
- ② 写真メニューが表示されるので、**写真追加**をクリックして下さい。



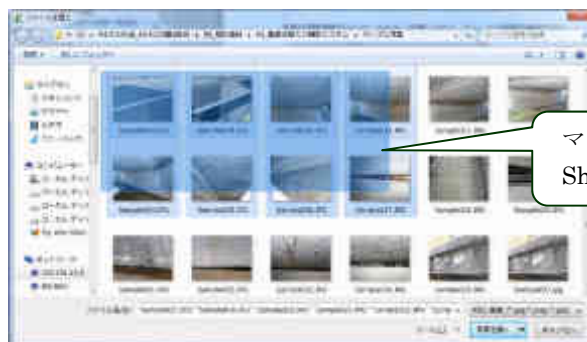
- ③ ファイル指定のダイアログが開くので、追加する写真ファイルを指定し、**写真を開く**をクリックして、写真を追加します。（複数選択可）



※ 追加できる写真については **1. システム概要**（P.1）のを参考にして下さい。

※ ダイアログのフォルダは前回に写真追加をした時のフォルダが表示されます。

- ④ 写真を複数選択するには、**Ctrl** キーを押しながらクリックにて個別で複数選択、または、マウスのドラッグ、**Shift** キーを押しながらクリックにてまとめて選択することができます。



- ⑤ 選択したファイル数分、番号が写真番号の欄に追加されます。番号は 1 から順番に空きがある番号から自動的に付与されます。

板厚減少、塗装・防食機能劣化 (規模 大)	1,2,3
--------------------------	-------

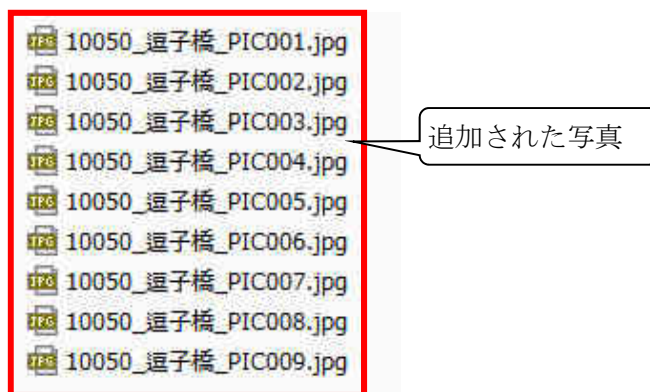
- ⑥ 下図の赤枠セルに写真を 3 枚、追加した場合は、現在使用中の写真番号である『1、2、3、4、6、9』以外の空き番号の昇順で番号付けを行います。

表面腐食、塗装・防食機能劣化 (規模 中)	板厚減少、塗装・防食機能劣化 (規模 大)	1,2,3
塗装われ	亀裂、破断、変形	
ボルトの腐食(規模 中)、ゆるみ	ボルトの腐食(規模 大)、脱落	4,6,9

- ⑦ 上図の場合で 3 枚追加する場合は、『5、7、8』が追加されます。

表面腐食、塗装・防食機能劣化 (規模 中)	板厚減少、塗装・防食機能劣化 (規模 大)	1,2,3
塗装われ	亀裂、破断、変形	5,7,8
ボルトの腐食(規模 中)、ゆるみ	ボルトの腐食(規模 大)、脱落	4,6,9

- ⑧ 写真を追加すると、写真一時格納用フォルダ（C:¥¥amaguchi2）に保存されます。

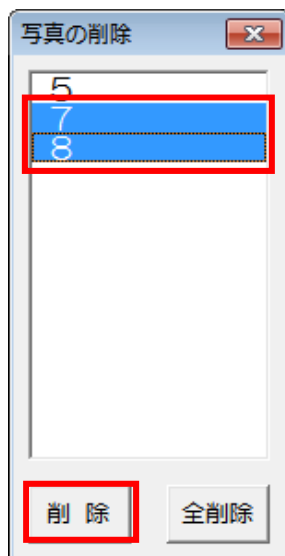
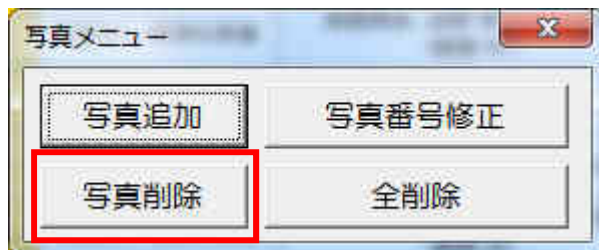


ファイル名	ファイルサイズ	ファイル形式
橋梁番号+橋梁名+PIC+写真番号(3桁表記) 例：71080_惣栄橋_PIC001.jpg	<u>500KB 以下</u> ※ 縦横のサイズが大きい画像ファイルは 500KB 以上になる場合があります。	.jpg (JPEG 画像)

6.15.2. 写真の削除

部位・部材区分			損傷の種類	損傷区分					写真番号
				f	n	a	b	c	
上部構造	鋼	主桁	腐食、塗装劣化、防食機能の劣化	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	表面腐食、塗装・防食機能劣化 (規模 中)	板厚減少、塗装・防食機能劣化 (規模 大)	
			亀裂、破断、変形	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	塗装われ	亀裂、破断、変形	
			ボルトの腐食、ゆるみ、脱落	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	ボルトの腐食(規模 中)、ゆるみ	ボルトの腐食(規模 大)、脱落	
		横桁・鋼床版	腐食、塗装劣化、防食機能の劣化	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	表面腐食、塗装・防食機能劣化 (規模 中)	板厚減少、塗装・防食機能劣化 (規模 大)	1,2,3
			亀裂、破断、変形	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	塗装われ	亀裂、破断、変形	5,7,8
			ボルトの腐食、ゆるみ、脱落	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	ボルトの腐食(規模 中)、ゆるみ	ボルトの腐食(規模 大)、脱落	6,9
	コンクリート	主桁・横桁	ひびわれ	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	規模 中 幅mm(0.2≦RC<0.3、0.1≦PC<0.2)	ダブルクリック	
			うき、剥離、欠損、鉄筋露出	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	うき、剥離、欠損(規模 中)	うき、剥離、欠損(規模 大)、鉄筋露出	—
			遊離石灰、漏水(錆汁)	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	遊離石灰、漏水(規模 中)	遊離石灰、漏水(規模 中)、錆汁	—
			異常な音、振動、たわみ	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	—	あり	—
			補強・補修材(鋼板接着部等)の損傷	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	規模 中	規模 大	—
		鋼床版・間詰め	床板のひびわれ	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	一方向ひびわれ (0.1mm≦幅<0.2mm)	二方向ひびわれ (幅≧0.2mm)	
			うき、剥離、欠損、鉄筋露出	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	うき、剥離、欠損(規模 中)	うき、剥離、欠損(規模 大)、鉄筋露出	
			遊離石灰、漏水(錆汁)	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	遊離石灰、漏水(規模 中)	遊離石灰、漏水(規模 大)、錆汁	
			抜け落ち	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	—	あり	
			補強・補修材(鋼板接着部等)の損傷	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	規模 中	規模 大	

- 写真の削除は削除対象の損傷セルを **ダブルクリック** します。
※ 写真番号が記入されていないセルは写真削除できません。
- 写真メニューが表示されるので、**写真削除** をクリックして下さい。

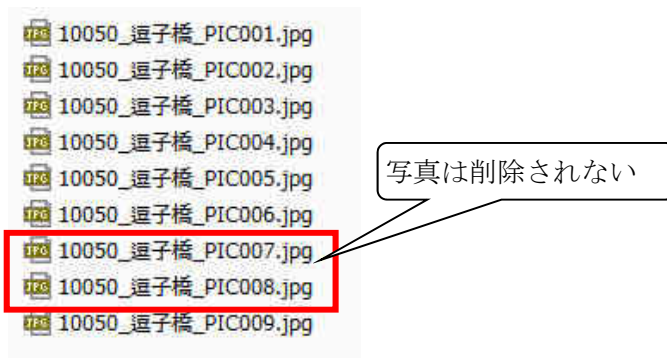


写真削除用のウィンドウが表示されるので、削除する番号をクリックにて選択し、**削除** ボタンをクリックして下さい。
(番号は複数選択することができます)

全削除 をクリックすると、全番号の写真削除を行います。
左図のように『7、8』を指定し、削除をクリックすると、7と8の写真番号が削除されます。

削除後	
亀裂、破断、変形	5

- ③ 写真番号を削除されても、**写真ファイルは削除されません**。ファイルを削除するにはエクスプローラにて削除を行って下さい。



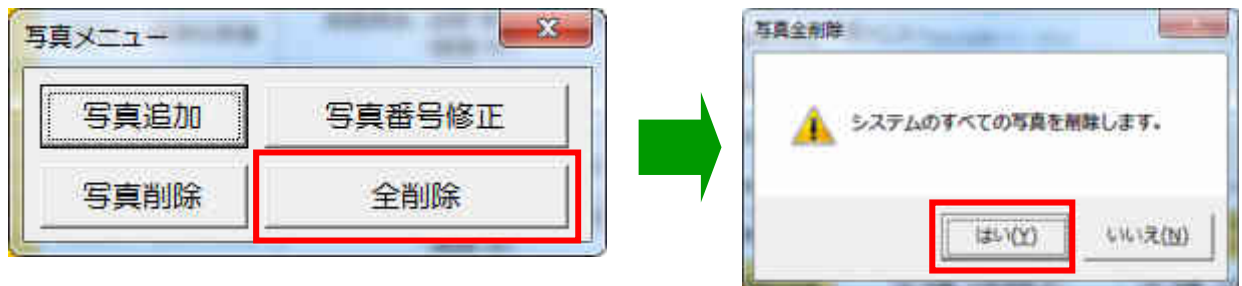
6.15.3. 写真の全削除

部位・部材区分				損傷の種類	損傷区分					写真番号
					f	n	a	b	c	
上部構造	鋼	主桁	腐食、塗装劣化、防食機能の劣化	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	表面腐食、塗装・防食機能劣化(規模 中)	板厚減少、塗装・防食機能劣化(規模 大)		
			亀裂、破断、変形	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	塗装われ	亀裂、破断、変形		
			ボルトの腐食、ゆるみ、脱落	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	ボルトの腐食(規模 中)、ゆるみ	ボルトの腐食(規模 大)、脱落		
		横桁・鋼床版	腐食、塗装劣化、防食機能の劣化	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	表面腐食、塗装・防食機能劣化(規模 中)	板厚減少、塗装・防食機能劣化(規模 大)	1,2,3	
			亀裂、破断、変形	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	塗装われ	亀裂、破断、変形	5	
			ボルトの腐食、ゆるみ、脱落	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	ボルトの腐食(規模 中)、ゆるみ	ボルトの腐食(規模 大)、脱落	4,6,9	
	コンクリート	主桁・横桁	ひびわれ	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	規模 中 幅mm(0.2≦RC<0.3, 0.1≦PC<0.2)	規模 大 幅mm(RC≧0.3, PC≧0.2)	ダブルクリック	
			うき、剥離、欠損、鉄筋露出	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	うき、剥離、欠損(規模 中)	うき、剥離、欠損(規模 大)、鉄筋露出	—	
			遊離石灰、漏水(錆汁)	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	遊離石灰、漏水(規模 中)	遊離石灰、漏水(規模 中)、錆汁	—	
			異常な音、振動、たわみ	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	—	あり	—	
			補強・補修材(鋼板接着部等)の損傷	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	規模 中	規模 大	—	
			床板のひびわれ	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	一方向ひびわれ (0.1mm≦幅<0.2mm)	二方向ひびわれ (幅≧0.2mm)	—	
		鋼床版 開閉め	うき、剥離、欠損、鉄筋露出	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	うき、剥離、欠損(規模 中)	うき、剥離、欠損(規模 大)、鉄筋露出	—	
			遊離石灰、漏水(錆汁)	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	遊離石灰、漏水(規模 中)	遊離石灰、漏水(規模 大)、錆汁	—	
			抜け落ち	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	—	あり	—	
			補強・補修材(鋼板接着部等)の損傷	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	規模 中	規模 大	—	

① システム全ての写真の削除は削除対象の損傷セルをダブルクリックします。

※ 写真番号が無いセルは写真の削除ができません。

② 写真メニューが表示されるので、**全削除**をクリックして下さい。



③ 削除を確認するメッセージウィンドウが表示されるので、**はい**をクリックするとシステム内の全ての写真が削除されます。**いいえ**をクリックすると写真メニューに戻ります。

④ この時、写真の全削除を行っても、**写真ファイルは削除されません**。ファイルを削除するにはエクスプローラ等にて削除して下さい。



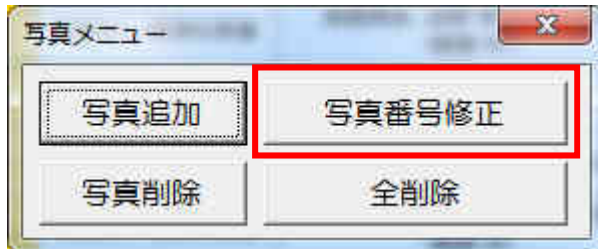
6.15.4. 写真番号の修正

部位・部材区分			損傷の種類	損傷区分					写真番号
				f	n	a	b	c	
上部構造	鋼	主桁	腐食、塗装劣化、防食機能の劣化	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	表面腐食、塗装・防食機能劣化（規模 中）	板厚減少、塗装・防食機能劣化（規模 大）	
			亀裂、破断、変形	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	塗装われ	亀裂、破断、変形	
			ボルトの腐食、ゆるみ、脱落	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	ボルトの腐食（規模 中）、ゆるみ	ボルトの腐食（規模 大）、脱落	
		横桁・鋼床版	腐食、塗装劣化、防食機能の劣化	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	表面腐食、塗装・防食機能劣化（規模 中）	板厚減少、塗装・防食機能劣化（規模 大）	1,2,3
			亀裂、破断、変形	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	塗装われ	亀裂、破断、変形	5
			ボルトの腐食、ゆるみ、脱落	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	ボルトの腐食（規模 中）、ゆるみ	ボルトの腐食（規模 大）、脱落	4,6,9
	コンクリート	主桁・横桁	ひびわれ	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	規模 中 幅mm(0.2≦RC<0.3, 0.1≦PC<0.2)	規模 大 幅mm(PC≧0.3, PC≧0.2)	—
			うき、剥離、欠損、鉄筋露出	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	うき、剥離、欠損（規模 中）	うき、剥離、欠損（規模 大）、鉄筋露出	—
			遊離石灰、漏水（錆汁）	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	遊離石灰、漏水（規模 中）	遊離石灰、漏水（規模 中）、錆汁	—
			異常な音、振動、たわみ	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	—	あり	—
			補強・補修材（鋼板接着部等）の損傷	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	規模 中	規模 大	—
			床板のひびわれ	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	一方向ひびわれ (0.1mm≦幅<0.2mm)	二方向ひびわれ (幅≧0.2mm)	—
		鋼床版 間詰め	うき、剥離、欠損、鉄筋露出	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	うき、剥離、欠損（規模 中）	うき、剥離、欠損（規模 大）、鉄筋露出	—
			遊離石灰、漏水（錆汁）	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	遊離石灰、漏水（規模 中）	遊離石灰、漏水（規模 大）、錆汁	—
			抜け落ち	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	—	あり	—
			補強・補修材（鋼板接着部等）の損傷	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	規模 中	規模 大	—

① システム全ての写真の削除は削除対象の損傷セルをダブルクリックします。

※ 写真番号が無いセルは写真番号の修正ができません。

② 写真メニューが表示されるので、写真番号の修正をクリックして下さい。



- ③ 写真番号修正用のフォームが表示され、写真番号の変更を行います。

旧番号を左側のリストより選択し新番号を右のリストより選択し、**番号修正**をクリックすると、写真番号が変更されます。

※ 複数番号の変更はできません。



点検調書の写真番号欄も変更される

ボルトの腐食(規模 大)、脱落

4,8,9

- ④ 変更後は旧写真番号のリストが変更され、番号を修正した『6』が新写真番号で使用可能になります。

- ⑤ 写真番号の変更が行われた時、**写真ファイルのファイル名も変更**されます。

変更前

変更後（4 ⇒ 7 に変更）

ボルトの腐食(規模 大)、脱落	4,8,9
-----------------	-------

ボルトの腐食(規模 大)、脱落	7,8,9
-----------------	-------



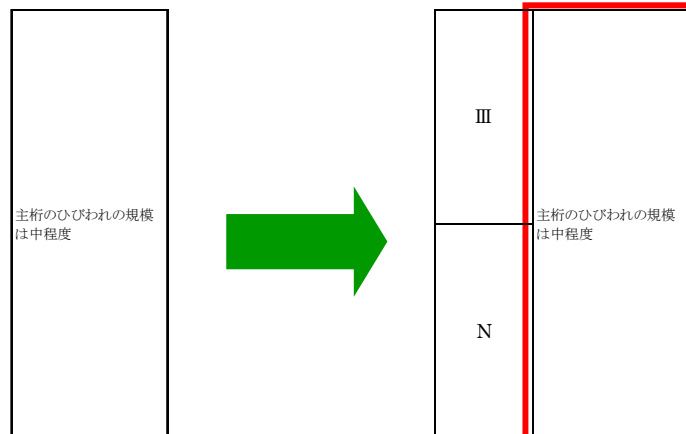
10050_逗子橋_PIC004.jpg→10050_逗子橋_PIC007.jpg
に変更される



6.16. 所見の入力

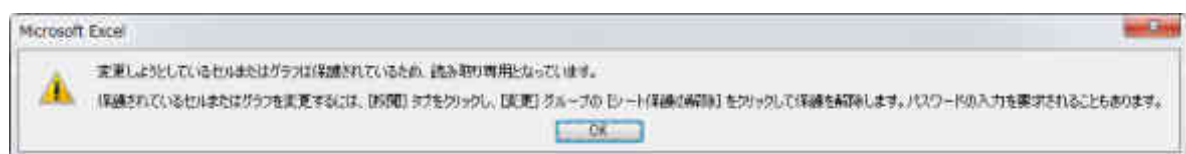
部位・部材区分		損傷の種類	損傷区分					写真番号	部材単位の健全性の診断	所見
			f	n	a	b	c			
鋼	主桁	腐食、塗装劣化、防食機能の劣化	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	表面腐食、塗装・防食機能劣化（規模 中）	板厚減少、塗装・防食機能劣化（規模 大）	—	N	—
		亀裂、破断、変形	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	塗装われ、亀裂、破断、変形（規模 中）	亀裂、破断、変形（規模 大）	—		
		ボルトの腐食、ゆるみ、脱落	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	ボルトの腐食（規模 中）、ゆるみ	ボルトの腐食（規模 大）、脱落	—		
	横桁・鋼床版	腐食、塗装劣化、防食機能の劣化	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	表面腐食、塗装・防食機能劣化（規模 中）	板厚減少、塗装・防食機能劣化（規模 大）	—		
		亀裂、破断、変形	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	塗装われ、亀裂、破断、変形（規模 中）	亀裂、破断、変形（規模 大）	—		
		ボルトの腐食、ゆるみ、脱落	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	ボルトの腐食（規模 中）、ゆるみ	ボルトの腐食（規模 大）、脱落	—		
	上部構造 コンクリート	主桁・横桁	ひびわれ	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	規模 中	規模 大	III	
			うき、剥離、欠損、鉄筋露出	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	うき、剥離、欠損（規模 中）	うき、剥離、欠損（規模 大）、鉄筋露出		
			遊離石灰、漏水（錆汁）	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	遊離石灰、漏水（規模 中）	遊離石灰、漏水（規模 大）、錆汁		
			異常な音、振動、たわみ	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	—	あり		
補強・補修材（鋼板接着部等）の損傷			目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	規模 中	規模 大			
C部床版・間詰め			床版のひびわれ	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	一方向ひびわれ	二方向ひびわれ		
		うき、剥離、欠損、鉄筋露出	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	うき、剥離、欠損（規模 中）	うき、剥離、欠損（規模 大）、鉄筋露出	—		
		遊離石灰、漏水（錆汁）	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	遊離石灰、漏水（規模 中）	遊離石灰、漏水（規模 大）、錆汁	—		
		抜け落ち	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	—	あり	—		
補強・補修材（鋼板接着部等）の損傷		目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	規模 中	規模 大	—			

① 所見の入力はセルの直接入力を行って下さい。



② 部位全てが『部材なし』になっている箇所は、プルダウンによる選択や入力是不可能です。

f	n	損傷区分			写真番号	部材単位の健全性の診断	所見
		a	b	c			
目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	表面腐食、塗装・防食機能劣化（規模 中）	板厚減少、塗装・防食機能劣化（規模 大）	—	N	—
目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	塗装われ、亀裂、破断、変形（規模 中）	亀裂、破断、変形（規模 大）	—		
目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	ボルトの腐食（規模 中）、ゆるみ	ボルトの腐食（規模 大）、脱落	—		
目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	表面腐食、塗装・防食機能劣化（規模 中）	板厚減少、塗装・防食機能劣化（規模 大）	—		
目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	塗装われ、亀裂、破断、変形（規模 中）	亀裂、破断、変形（規模 大）	—		
目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	ボルトの腐食（規模 中）、ゆるみ	ボルトの腐食（規模 大）、脱落	—		



6.17. 径間番号の切替

- ① 径間番号の切替は「点検調書（その 1）」の上部のボックスの番号をクリックして切り替えを行ってください。

②

※番号が表示されていないボックスは、クリックしても径間番号の切替は行われません。



径間番号 1 の損傷データ

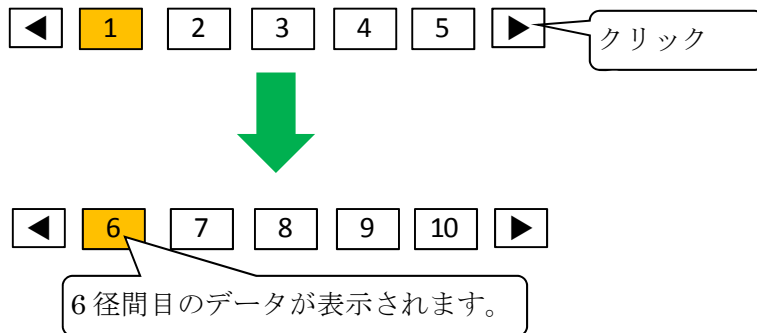
f	n	a	b	c
目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	表面腐食、塗装・防食機能劣化 (規模 中)	板厚減少、塗装・防食機能劣化 (規模 大)
目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	塗装われ、亀裂、破断、変形 (規模 中)	亀裂、破断、変形 (規模 大)
目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	ボルトの腐食(規模 中)、ゆるみ	ボルトの腐食(規模 大)、脱落
目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	表面腐食、塗装・防食機能劣化 (規模 中)	板厚減少、塗装・防食機能劣化 (規模 大)
目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	塗装われ、亀裂、破断、変形 (規模 中)	亀裂、破断、変形 (規模 大)
目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	ボルトの腐食(規模 中)、ゆるみ	ボルトの腐食(規模 大)、脱落
目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	規模 中	規模 大
目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	うき、剥離、欠損(規模 中)	うき、剥離、欠損(規模 大)、鉄筋露出
目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	遊離石灰、漏水(規模 中)	遊離石灰、漏水(規模 中)、錆汁
目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	—	あり
目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	規模 中	規模 大
目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	一方向ひびわれ	二方向ひびわれ
目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	うき、剥離、欠損(規模 中)	うき、剥離、欠損(規模 中)、鉄筋露出
目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	遊離石灰、漏水(規模 中)	遊離石灰、漏水(規模 中)、錆汁
目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	—	あり
目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	規模 中	規模 大


径間番号 2 の損傷データ



f	n	a	b	c
目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	表面腐食、塗装・防食機能劣化 (規模 中)	板厚減少、塗装・防食機能劣化 (規模 大)
目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	塗装われ、亀裂、破断、変形 (規模 中)	亀裂、破断、変形 (規模 大)
目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	ボルトの腐食(規模 中)、ゆるみ	ボルトの腐食(規模 大)、脱落
目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	表面腐食、塗装・防食機能劣化 (規模 中)	板厚減少、塗装・防食機能劣化 (規模 大)
目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	塗装われ、亀裂、破断、変形 (規模 中)	亀裂、破断、変形 (規模 大)
目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	ボルトの腐食(規模 中)、ゆるみ	ボルトの腐食(規模 大)、脱落
目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	規模 中	規模 大
目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	うき、剥離、欠損(規模 中)	うき、剥離、欠損(規模 大)、鉄筋露出
目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	遊離石灰、漏水(規模 中)	遊離石灰、漏水(規模 中)、錆汁
目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	—	あり
目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	規模 中	規模 大
目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	一方向ひびわれ	二方向ひびわれ
目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	うき、剥離、欠損(規模 中)	うき、剥離、欠損(規模 中)、鉄筋露出
目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	遊離石灰、漏水(規模 中)	遊離石灰、漏水(規模 中)、錆汁
目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	—	あり
目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	規模 中	規模 大

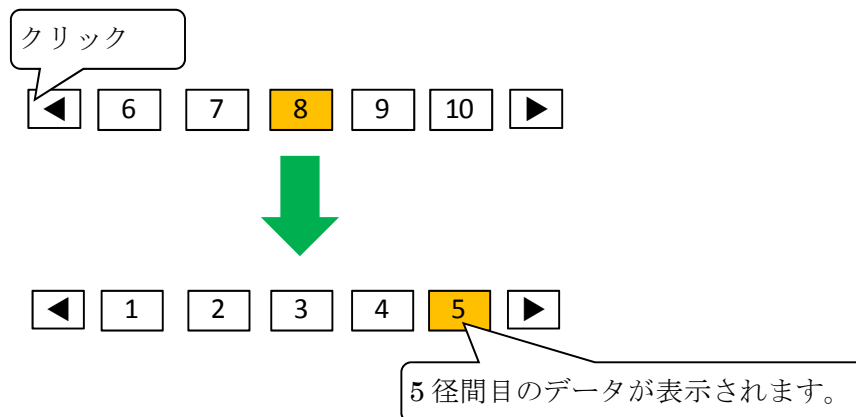
損傷データ径間番号 2 のデータが表示されます。
未編集の場合は、初期値が表示されます。


- ③ 5 径間以上の場合は  をクリックすると、5 径間以降の径間番号が表示されます。編集を行う径間番号をクリックして、切り替えて下さい。 をクリックした時は、切り替えた、5 径間の番号の一番小さい径間番号を表示します。
(次が 6～10 径間の場合は、6 径間目が表示される)



- ※ 現在表示中の径間番号で一番大きい径間番号より多い径間番号がない場合は  をクリックしても、番号は切替りません。

- ④ 5 径間前の番号を表示するには  をクリックすると、5 径間以前の径間番号が表示されます。編集を行う径間番号をクリックして、切り替えて下さい。 をクリックした時は、切り替えを行った一番大きい径間番号を表示します。
(戻るのが 1～5 径間の場合は、5 径間目が表示される)



- ※ 現在表示中のボックスの一番左の番号が「1」の場合は  をクリックしても番号は切替りません。

6.18. 道路橋毎の健全性の診断入力

- ① 道路橋毎の健全性の診断入力は点検調書その1の画面右上にてプルダウンで「Ⅰ」、「Ⅱ」、「Ⅲ」、「Ⅳ」より選択します。

点検調書（その1）

新規作成 新規保存 上書き保存 印刷

道路橋毎の健全性の診断 Ⅱ

道路橋毎の健全性の診断

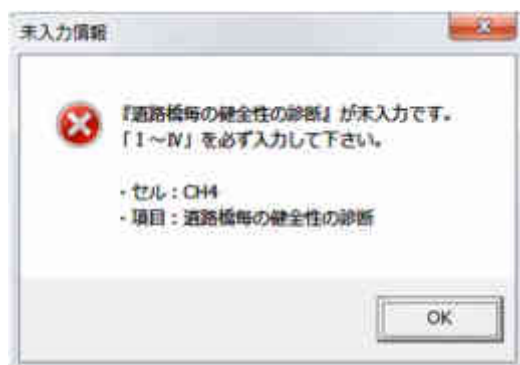
床版形式

道路橋毎の健全性の診断 Ⅱ

- ② 未入力で「新規保存」や「上書き保存」を行った場合は、以下のメッセージが表示されますので、必ず入力して下さい。

新規作成 新規保存 上書き保存 印刷

道路橋毎の健全性の診断



7. 点検調書（その3）の入力

点検調書（その3）各シートの上部の橋梁の情報はこのシートでは修正することはできません。
修正を行う場合は「点検調書（その1）」の下図赤囲み部分を修正して下さい。

点検調書（その1） 新規作成 新規保存 上書き保存 印刷 ◀ 1 2 3 4 5 ▶ 道路点検 Ver.2.00

道路橋梁の健全性の診断									
点検項目	橋名	岩田町立橋		主橋形式	鋼桁		床版形式	コンクリート床版	
	橋梁番号	25350	橋長	7	点検区分	全面調査	点検者	[株] QDCコンサルティング	
	橋梁名	大深橋	点検方法	様子	点検年月日	2019年3月11日			

7.1. 点検調書（その3）の図面・写真の表示（橋梁単位のシート）

- ① 「点検調書その3」では径間単位と橋梁単位で写真登録を管理しており、橋梁単位のシートの表示は径間切替がないので登録時のまま表示となります。

点検調書（その3） 写真（全景、側面）

道路橋梁の健全性の診断									
写真（全景、側面）	橋名	岩田町立橋		主橋形式	コンクリート橋（RC床版鋼桁橋）		床版形式	コンクリート床版	
	橋梁番号	25350	橋長	7	点検区分	全面調査	点検者	山口 亮輝	
	橋梁名	大深橋	点検方法	様子	点検年月日	2019年3月11日			

全景（基点→終点）

写真を貼る 写真なし



全景（終点→基点）

写真を貼る 写真なし



側面（基点を左）

写真を貼る 写真なし



側面（終点を左）

写真を貼る 写真なし



7.2. 点検調書（その3）の図面・写真の表示（径間単位のシート）

- ① 径間単位で登録写真を管理しているシートでシート切り替えた時は、下図のように径間番号が選択されていない状態で写真が表示されない状態となります。この状態では、写真の表示、登録、削除を行うことができません。

シート切り替え時の状態

点検調書(その3) ◀ 1 2 ▶ ※ 径間番号を選択して下さい。 写真(主桁・横桁、床版)

箇所名	岩国市錦町中ノ瀬		主桁形式	コンクリート桁(RC床版橋以外)		床版形式	コンクリート床版	
橋梁番号	20390	径間数	2	点検者区分	委託業者	点検者名	山口 次郎	
橋梁名	榑原橋		点検方法	様子		点検年月日	2014年3月11日	





写真 (主桁・横桁、床版)	主桁・横桁1			主桁・横桁2		
	写真を貼る	目視不可	部材なし	写真を貼る	目視不可	部材なし
	部材なし			部材なし		
	床版1			床版2		
	写真を貼る	目視不可	部材なし	写真を貼る	目視不可	部材なし
	部材なし			部材なし		

- ② 写真を表示するには、表示させたい径間番号ボックスの番号をクリックして下さい。

◀ 1 2 ▶

クリック

- ③ クリックした径間番号の部材写真が表示されます。
 （この調書で登録を行っていない部材は表示されません）

点検調書(その3)				写真(主桁・横桁、床版)			
架設年	架設年度(西暦)	架設月	架設日	架設形式	架設形式(詳細)	架設形式	架設形式(詳細)
架設年度	2020年	10月	10日	架設形式	架設形式(詳細)	架設形式	架設形式(詳細)
架設年度	2020年	10月	10日	架設形式	架設形式(詳細)	架設形式	架設形式(詳細)
主桁・横桁1				主桁・横桁2			
<div>写真を撮る</div> <div>径間番号</div> <div>部材なし</div> 				<div>写真を撮る</div> <div>径間番号</div> <div>部材なし</div> 			
床版1				床版2			
<div>写真を撮る</div> <div>径間番号</div> <div>部材なし</div> 				<div>写真を撮る</div> <div>径間番号</div> <div>部材なし</div> 			

7.2.1. 図面の追加（側面図、平面図）

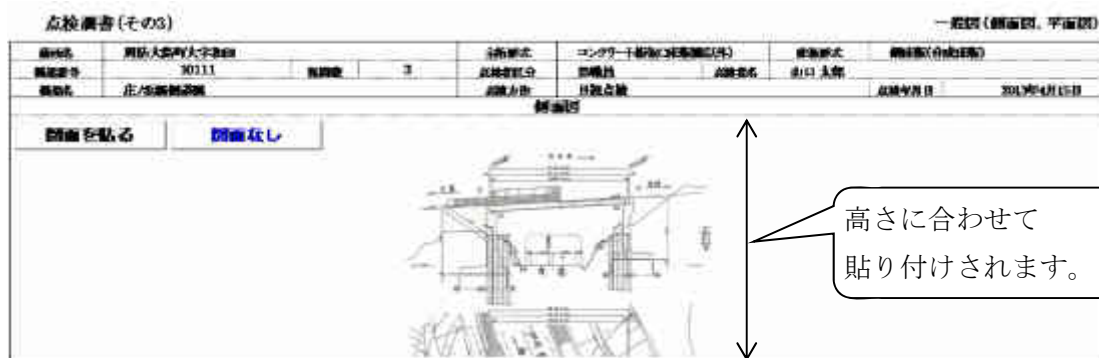
- ① 図面を追加するには「図面を貼る」ボタンをクリックして下さい。



- ② ファイル指定のダイアログが表示されますので、追加する図面の画像ファイルを指定し、「開く」ボタンをクリックして下さい。（画像ファイルの複数選択はできません）



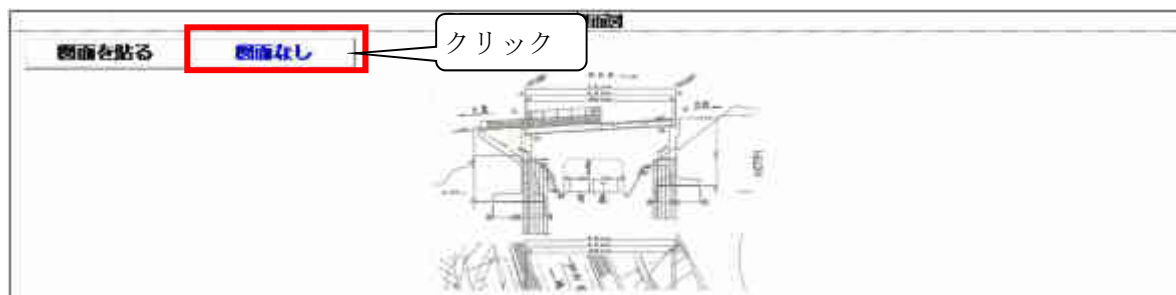
- ③ 枠に選択した図面が貼り付けられます。図面は枠の高さに合わせて貼り付けが行われます。



- ④ 側面図と平面図は大きさを変更することが可能です。貼り付けた図面の画像をクリックで選択し、高さや横幅を自由に変更して下さい。

7.2.2. 図面の削除（側面図、平面図）

- ① 図面、写真を削除するには **図面なし** ボタンを **クリック** して下さい。



- ② 図面が削除され、枠に図面なしが入力されます。



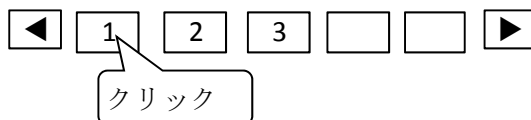
※ 図面を追加、削除する場合は必ず 7.2.1～7.2.2 の手順を行い登録して下さい。

7.3. 点検調書その3（断面図）の図面の追加と削除

点検調書その3（断面図）の図面の貼り付けを行います。

7.3.1. 図面の追加（断面図）

- ① 断面図を追加する径間番号を径間番号ボックスから、径間番号を選択します。



- ② 選択した径間番号の登録状態が表示されます。この時、図面の追加・削除ボタンが使用可能となります。

点検調書(その3) ◀ 1 2 3 ▶ 一般図(断面図)

箇所名	周防太島町大字和田			主桁形式	コンクリート桁(RC床版橋以外)		床版形式	鋼床版(合成床版)	
橋梁番号	10111			径間数	3		点検者区分	県職員	
橋梁名	庄/浜橋側道橋			点検方法	目視点検		点検者名	山口 太郎	
							点検年月日	2013年4月15日	

一般図(断面図)

断面図1

断面図2

図面を貼る

図面なし

図面を貼る

図面なし

図面なし

断面図3

断面図4

図面を貼る

図面なし

図面を貼る

図面なし

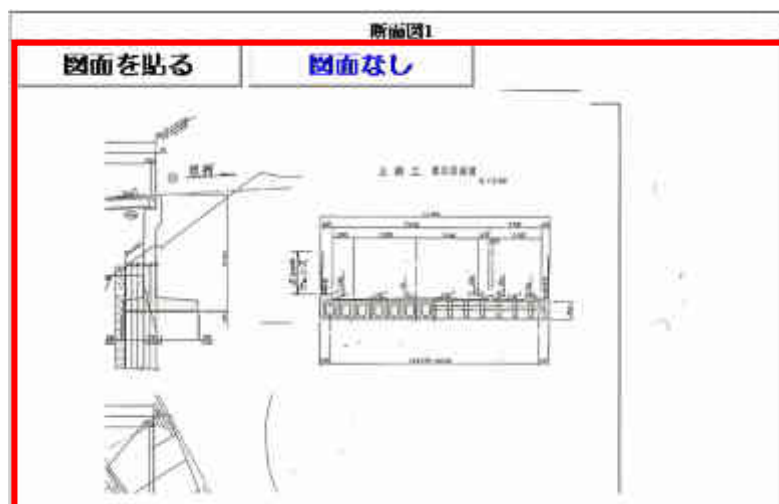
図面なし

③ 図面を追加するには 図面を貼る ボタンを クリック して下さい。

- ④ ファイル指定のダイアログが表示されますので、追加する図面の画像ファイルを指定し、**開く**ボタンをクリックして下さい。（画像ファイルの複数選択はできません）

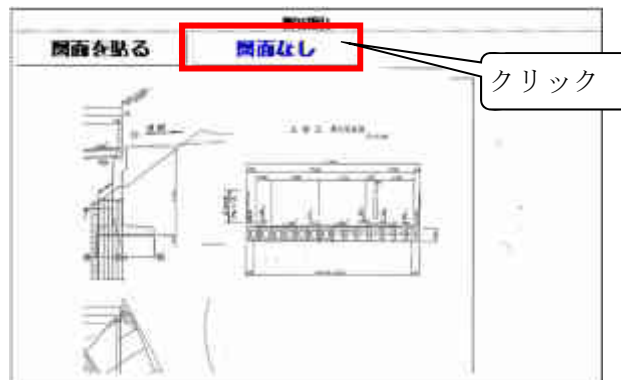


- ⑤ 図面ファイル指定後、ダイアログにて指定した図面が貼り付けられます。

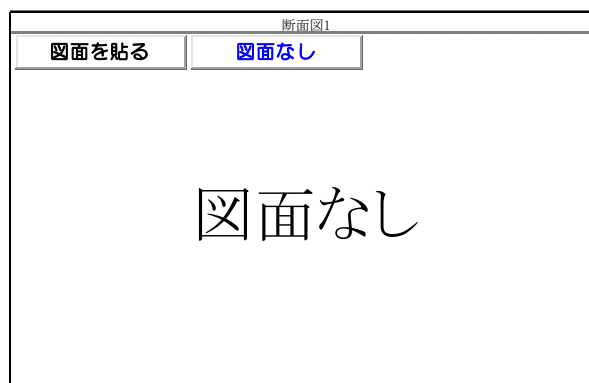


7.3.2. 図面の削除（断面図）

- ① 図面、写真を削除するには **図面なし** ボタンを **クリック** して下さい。



- ② 断面図が削除され、枠に図面なしと入力されます。



※ 図面を追加、削除する場合は必ず 7.3.1～7.3.27.2.1 の手順を行い登録して下さい。

7.4. 点検調書その3（橋梁単位）の部材写真の追加と削除

点検調書その3（橋梁単位）の部材写真の追加と削除を行います。

7.4.1. 部材写真の追加（橋梁単位）

- ① 追加を行う対象シートを表示し、追加を行う枠の**写真を貼る**ボタンをクリックして下さい。



- ② ファイル指定のダイアログが表示されますので、写真の画像ファイルを指定し、**開く**ボタンをクリックして下さい。（画像ファイルの複数選択はできません）



耳病(全變) 側面

7.4.2. 部材写真の削除（橋梁単位）

- ④ 部材写真を削除するには**写真なし**ボタンを**クリック**して下さい。

点検調書(その3) 写真(全量、側面)

路線名	新潟市(市町)区	区画番号	2	主部材名	コンクリート橋(桁梁橋梁以外)	橋梁形式	コンクリート橋
橋梁番号	20390	橋梁種別	橋梁	主部材区分	橋梁(桁梁)	橋梁形式	山形・水戸
橋梁名	新橋	点検年度	2014	点検月日	2014年3月11日		

全量(起点→終点)

写真を貼る **写真なし**



全量(終点→起点)

写真を貼る **写真なし**



側面(起点→終点)

写真を貼る **写真なし**



側面(終点→起点)

写真を貼る **写真なし**



クリック

- ⑤ 部材写真が削除され、枠に写真なしと入力されます。

点検調書(その3) 写真(全量、側面)

路線名	新潟市(市町)区	区画番号	2	主部材名	コンクリート橋(桁梁橋梁以外)	橋梁形式	コンクリート橋
橋梁番号	20390	橋梁種別	橋梁	主部材区分	橋梁(桁梁)	橋梁形式	山形・水戸
橋梁名	新橋	点検年度	2014	点検月日	2014年3月11日		

全量(起点→終点)

写真を貼る **写真なし**



全量(終点→起点)

写真を貼る **写真なし**



側面(起点→終点)

写真を貼る **写真なし**

写真なし

側面(終点→起点)

写真を貼る **写真なし**



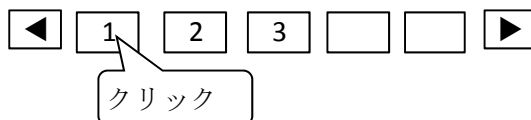
「橋名板」
「橋歴版、塗装履歴、添架物」
は【目視不可】、【部材なし】とありますが
写真の削除の機能は同じです。
削除後の枠に入力されるのが
【目視不可】、【部材なし】となります

7.5. 点検調書その3（径間単位）の写真の追加と削除

点検調書その3（径間単位）の部材写真の追加・削除を行います。

7.5.1. 部材写真の追加（径間単位）

- ① 部材写真を追加する径間番号を径間番号ボックスから、径間番号を選択します。



- ② 選択した径間番号の登録状態が表示されます。この時、図面の追加・削除ボタンが使用可能となりますので、**写真を貼る**ボタンをクリックして下さい。

点検調書(その3) ◀ 1 2 ▶ 写真(舗装、伸縮装置)

箇所名	岩国市錦町中ノ瀬	主桁形式	コンクリート桁(RC床版橋以外)	床版形式	コンクリート床版
橋梁番号	20390	径間数	2	委託業者	山口 次郎
橋梁名	穂原橋	点検方法	橋子	点検年月日	2014年3月11日

舗装1
舗装2

写真を貼る
目視不可
部材なし

部材なし

写真を貼る
目視不可
部材なし

部材なし

伸縮装置1

写真を貼る
目視不可
部材なし

部材なし

伸縮装置2

写真を貼る
目視不可
部材なし

部材なし

写真（舗装、伸縮装置）

クリック

73



7.5.2. 部材写真の削除（径間単位）

- ⑤ 部材写真を削除するには部材が存在しない場合は「部材なし」ボタン、対象部材が目視ができない場合は「目視不可」ボタンをクリックして下さい。

点検調書(その3) ◀ 1 2 ▶

写真(舗装、伸縮装置)

箇所名	岩国市錦町中ノ瀬	主桁形式	コンクリート桁(RC床版橋以外)	床版形式	コンクリート床版
橋梁番号	20390	径間数	2	点検者区分	委託業者
橋梁名	錦川橋	点検者名	山口 次郎	点検年月日	2014年3月11日

写真(舗装、伸縮装置)

写真を貼る 目視不可 部材なし

写真を貼る 目視不可 部材なし

写真を貼る 目視不可 部材なし

写真を貼る 目視不可 部材なし

状況に応じて、クリック

- ⑥ 部材写真が削除され、枠に「部材なし」又は「目視不可」と入力されます。
(下図は「目視不可」をクリックした場合です。)

点検調書(その3) ◀ 1 2 ▶

写真(舗装、伸縮装置)

箇所名	岩国市錦町中ノ瀬	主桁形式	コンクリート桁(RC床版橋以外)	床版形式	コンクリート床版
橋梁番号	20390	径間数	2	点検者区分	委託業者
橋梁名	錦川橋	点検者名	山口 次郎	点検年月日	2014年3月11日

写真(舗装、伸縮装置)

写真を貼る 目視不可 部材なし

写真を貼る 目視不可 部材なし

写真を貼る 目視不可 部材なし

写真を貼る 目視不可 部材なし

目視不可

部材なし

部材なし

部材なし

7.6. 点検調書その3のシート構成

点検調書その3のシート構成は以下の表のようになります。

シート名	種類
点検調書その3（側面図_平面図）	橋梁単位
点検調書その3（断面図）	径間単位
点検調書その3（全景_側面）	橋梁単位
点検調書その3（主桁横桁_床版）	径間単位
点検調書その3（地覆_排水装置）	径間単位
点検調書その3（橋台_橋脚）	径間単位
点検調書その3（落防_支承部）	径間単位
点検調書その3（橋名板）	橋梁単位
点検調書その3（橋歴版_塗装履歴_添架物）	橋梁単位
点検調書その3（その他）	径間単位

7.6.1. 点検調書その3（側面図_平面図）

点検調書(その3)				一般図(側面図、平面図)			
箇所名	岩国市堀町中ノ橋	主桁形式	コンクリート桁(RC床版橋以外)	床版形式	コンクリート床版		
橋梁番号	20390	径間数	2	点検者区分	委託業者	点検者名	山口 太郎
橋梁名	神原橋	点検方法	梯子	点検年月日	2014年3月11日		
側面図							
図面を貼る		図面なし		<div style="position: relative; height: 100px;"> ① ② <div style="position: absolute; top: 50%; left: 50%; transform: translate(-50%, -50%); font-size: 2em;">図面なし</div> </div>			
平面図							
図面を貼る		図面なし		<div style="position: relative; height: 100px;"> <div style="position: absolute; top: 50%; left: 50%; transform: translate(-50%, -50%); font-size: 2em;">図面なし</div> </div>			

橋梁単位

① 図面を貼る	側面図、平面図の入力を行います。
② 図面なし	側面図、平面図を削除します。

7.6.2. 点検調書その3（側面図_平面図）

点検調書(その3) ◀ 1 2 ▶ ※ 径間番号を選択して下さい。 一般図(断面図)

箇所名	岩国市錦町中ノ瀬	主桁形式	コンクリート桁(RC床版橋以外)	床版形式	コンクリート床版
橋梁番号	20390	径間数	2	点検者区分	委託業者
種別名	種原橋	点検方法	梯子	点検者名	山口 次郎
				点検年月日	2014年3月11日

一般図 (断面図)	断面図1		断面図2	
	図面を貼る	図面なし	図面を貼る	図面なし
	①	②		
	図面なし		図面なし	
	断面図3		断面図4	
	図面を貼る	図面なし	図面を貼る	図面なし
	図面なし		図面なし	

径間単位

① 図面を貼る	断面図の入力を行います。
② 図面なし	断面図を削除します。

7.6.3. 点検調書その3（全景、側面）

点検調書(その3) 写真(全景、側面)

箇所名	岩国市錦町中ノ瀬	主桁形式	コンクリート桁(RC床版橋以外)	床版形式	コンクリート床版
橋梁番号	20390	径間数	2	点検者区分	委託業者
種別名	種原橋	点検方法	梯子	点検者名	山口 次郎
				点検年月日	2014年3月11日

写真 (全景、側面)	全景(起点→終点)		全景(終点→起点)	
	写真を貼る	写真なし	写真を貼る	写真なし
	①	②		
	写真なし		写真なし	
	側面(起点を左)		側面(終点を左)	
	写真を貼る	写真なし	写真を貼る	写真なし
	写真なし		写真なし	

橋梁単位

① 写真を貼る	全景、側面の写真を登録します。
② 写真なし	全景、側面の写真を削除し、写真なしを入力します。

7.6.4. 点検調書その3（主桁、横桁、床版）

点検調書(その3) ◀ 1 2 ▶ ※ 径間番号を選択して下さい。 写真(主桁・横桁、床版)

施設名	岩国市錦町中ノ橋	主桁形式	コンクリート桁(RC床版橋以外)	床版形式	コンクリート床版
橋梁番号	20390	点検者区分	委託業者	点検者名	山口 次郎
橋梁名	錦原橋	点検方法	梯子	点検年月日	2014年3月11日

写真（主桁・横桁、床版）	主桁・横桁1			主桁・横桁2		
	写真を貼る	目視不可	部材なし	写真を貼る	目視不可	部材なし
	①	②	③			
	部材なし			部材なし		
	床版1			床版2		
	写真を貼る	目視不可	部材なし	写真を貼る	目視不可	部材なし
	部材なし			部材なし		

径間単位

① 写真を貼る	主桁、横桁、床版の写真を登録します。
② 目視不可	主桁、横桁、床版の写真を削除し、目視不可を入力します。
③ 部材なし	主桁、横桁、床版の写真を削除し、部材なしを入力します。

7.6.5. 点検調書その3（舗装、伸縮装置）

点検調書(その3) ◀ 1 2 ▶ ※ 径間番号を選択して下さい。 写真(舗装、伸縮装置)

施設名	岩国市錦町中ノ橋	主桁形式	コンクリート桁(RC床版橋以外)	床版形式	コンクリート床版
橋梁番号	20390	点検者区分	委託業者	点検者名	山口 次郎
橋梁名	錦原橋	点検方法	梯子	点検年月日	2014年3月11日

写真（舗装、伸縮装置）	舗装1			舗装2		
	写真を貼る	目視不可	部材なし	写真を貼る	目視不可	部材なし
	①	②	③			
	部材なし			部材なし		
	伸縮装置1			伸縮装置2		
	写真を貼る	目視不可	部材なし	写真を貼る	目視不可	部材なし
	部材なし			部材なし		

径間単位

① 写真を貼る	舗装、伸縮装置の写真を登録します。
② 目視不可	舗装、伸縮装置の写真を削除し、目視不可を入力します。
③ 部材なし	舗装、伸縮装置の写真を削除し、部材なしを入力します。

7.6.6. 点検調書その3（地覆・防護柵、排水装置）

点検調書(その3) ◀ 1 2 ▶ 写真(地覆・防護柵、排水装置)

施設名	岩国市錦町中ノ瀬	主桁形式	コンクリート桁(RC床版橋以外)	床版形式	コンクリート床版
橋梁番号	20390	径間数	2	点検者区分	委託業者
橋梁名	神原橋	点検方法	橋上	点検者名	山口 次郎
				点検年月日	2014年3月11日

写真 (地覆・防護柵、排水装置)	地覆・防護柵1			地覆・防護柵2		
	写真を貼る	目視不可	部材なし	写真を貼る	目視不可	部材なし
	①	②	③			
	部材なし			部材なし		
	排水装置(橋面)			排水装置(桁下)		
	写真を貼る	目視不可	部材なし	写真を貼る	目視不可	部材なし
	部材なし			部材なし		

径間単位

① 写真を貼る	地覆・防護柵、排水装置の写真を登録します。
② 目視不可	地覆・防護柵、排水装置の写真を削除し、目視不可を入力します。
③ 部材なし	地覆・防護柵、排水装置の写真を削除し、部材なしを入力します。

7.6.7. 点検調書その3（橋台、橋脚）

点検調書(その3) ◀ 1 2 ▶ ※ 径間番号を選択して下さい。 写真(橋台・橋脚)

施設名	岩国市錦町中ノ瀬	主桁形式	コンクリート桁(RC床版橋以外)	床版形式	コンクリート床版
橋梁番号	20390	径間数	2	点検者区分	委託業者
橋梁名	神原橋	点検方法	橋上	点検者名	山口 次郎
				点検年月日	2014年3月11日

写真 (橋台・橋脚)	橋台1			橋台2		
	写真を貼る	目視不可	部材なし	写真を貼る	目視不可	部材なし
	①	②	③			
	部材なし			部材なし		
	橋脚1			橋脚2		
	写真を貼る	目視不可	部材なし	写真を貼る	目視不可	部材なし
	部材なし			部材なし		

径間単位

① 写真を貼る	橋台、橋脚の写真を登録します。
② 目視不可	橋台、橋脚の写真を削除し、目視不可を入力します。
③ 部材なし	橋台、橋脚の写真を削除し、部材なしを入力します。

7.6.8. 点検調書その3（落防、支承部）

点検調書(その3) ◀ 1 2 ▶ ※ 径間番号を選択して下さい。 写真(落橋防止システム、支承部)

箇所名	岩国市錦町中ノ橋	主桁形式	コンクリート桁(RC床版橋以外)	床版形式	コンクリート床版
橋梁番号	20390	点検者区分	委託業者	点検者名	山口 次郎
橋梁名	錦原橋	点検方法	梯子	点検年月日	2014年3月11日

写真 (落橋防止システム、支承部)	落橋防止システム1			落橋防止システム2		
	写真を貼る	目視不可	部材なし	写真を貼る	目視不可	部材なし
	①	②	③			
	部材なし			部材なし		
	支承部1			支承部2		
	写真を貼る	目視不可	部材なし	写真を貼る	目視不可	部材なし
	部材なし			部材なし		

径間単位

① 写真を貼る	落橋防止システム、支承部の写真を登録します。
② 目視不可	落橋防止システム、支承部の写真を削除し、目視不可を入力します。
③ 部材なし	落橋防止システム、支承部の写真を削除し、部材なしを入力します。

7.6.9. 点検調書その3（橋名板）

点検調書(その3) 写真(橋名板)

箇所名	岩国市錦町中ノ橋	主桁形式	コンクリート桁(RC床版橋以外)	床版形式	コンクリート床版
橋梁番号	20390	点検者区分	委託業者	点検者名	山口 次郎
橋梁名	錦原橋	点検方法	梯子	点検年月日	2014年3月11日

写真 (橋名板)	橋名板(橋主)			橋名板(橋工年)		
	写真を貼る	目視不可	部材なし	写真を貼る	目視不可	部材なし
	①	②	③			
	部材なし			部材なし		
	橋名板(文部物件)			橋名板(竣工年月)		
	写真を貼る	目視不可	部材なし	写真を貼る	目視不可	部材なし
	部材なし			部材なし		

橋梁単位

① 写真を貼る	橋名板の写真を登録します。
② 目視不可	橋名板の写真を削除し、目視不可を入力します。
③ 部材なし	橋名板の写真を削除し、部材なしを入力します。

7.6.10. 点検調書その3（橋歴板_塗装履歴_添架物）

点検調書(その3) 写真(橋歴板、塗装履歴、添架物)

箇所名	岩国市錦町中ノ瀬		主桁形式	コンクリート桁(RC床版橋以外)		床版形式	コンクリート床版
橋梁番号	20390	径間数	2	点検者区分	委託業者	点検者名	山口 次郎
橋梁名	錦原橋	点検方法	梯子	点検年月日		2014年3月11日	

写真 (橋歴板、 塗装履歴、 添架物)	橋歴板		塗装履歴	
	写真を貼る ①	目視不可 ②	部材なし ③	写真を貼る 目視不可 部材なし
	部材なし		部材なし	
	添架物1		添架物2	
	写真を貼る ①	目視不可 ②	部材なし ③	写真を貼る 目視不可 部材なし
	部材なし		部材なし	

橋梁単位

① 写真を貼る	橋歴板_塗装履歴_添架物の写真を登録します。
② 目視不可	橋歴板_塗装履歴_添架物の写真を削除し、目視不可を入力します。
③ 部材なし	橋歴板_塗装履歴_添架物の写真を削除し、部材なしを入力します。

7.6.11. 点検調書その3（その他）

点検調書(その3) 写真(その他)

箇所名	岩国市錦町中ノ瀬		主桁形式	コンクリート桁(RC床版橋以外)		床版形式	コンクリート床版
橋梁番号	20390	径間数	2	点検者区分	委託業者	点検者名	山口 次郎
橋梁名	錦原橋	点検方法	梯子	点検年月日		2014年3月11日	

写真 (その他)	その他1		その他2	
	写真を貼る ①	写真なし ②	写真を貼る 写真なし	写真を貼る 写真なし
	写真なし		写真なし	
	その他3		その他4	
	写真を貼る ①	写真なし ②	写真を貼る 写真なし	写真を貼る 写真なし
	写真なし		写真なし	

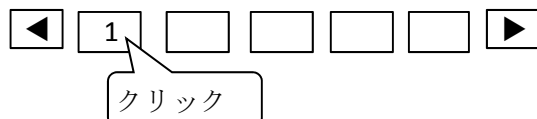
径間単位

① 写真を貼る	その他の写真を登録します。
② 写真なし	その他の写真を削除し、写真なしを入力します。

8. 点検調書（その 4）の入力

8.1. 点検調書（その 4）の表示

- ⑦ 「点検調書その 4」はシートを表示すると、下図のように全て未入力状態で径間番号が選択されていない状態で表示されます。これは、「点検調書その 1、その 2」での損傷データの変更や写真の編集を Excel ではリアルタイムで表示することができません。
- ⑧ 損傷写真を表示するには、径間番号ボックスの番号をクリックして下さい。



クリックした径間番号の損傷写真が表示されます。

（点検調書その 1、その 2 にて損傷写真が登録されていない場合は、表示されません）



8.2. 損傷写真箇所図の登録

- ① 損傷写真箇所図の登録は「図面を貼る」ボタンをクリックして下さい。

損傷写真箇所図

図面を貼る

図面なし

図面なし

- ② 画像ファイルを選択するダイアログボックスが表示されるので、対象径間の箇所図ファイルを選択して下さい。（複数ファイルの選択はできません）

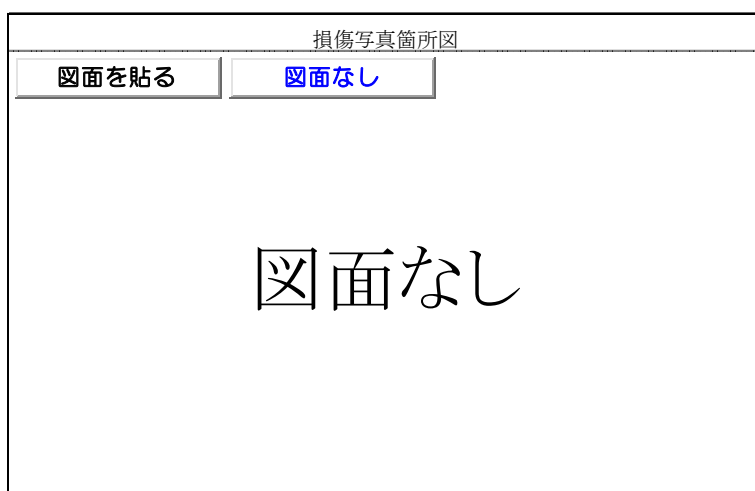


8.3. 損傷写真箇所図の削除

- ③ 損傷写真箇所図の削除は「図面なし」ボタンをクリックして下さい。



- ④ 「図面なし」ボタンをクリックされると、図面が削除されます。



※ 写真の登録削除には必ず 8.2～8.3 の手順で行って下さい。

9. 点検調書 Excel ファイルの保存

9.1. 点検調書 Excel ファイルの新規保存

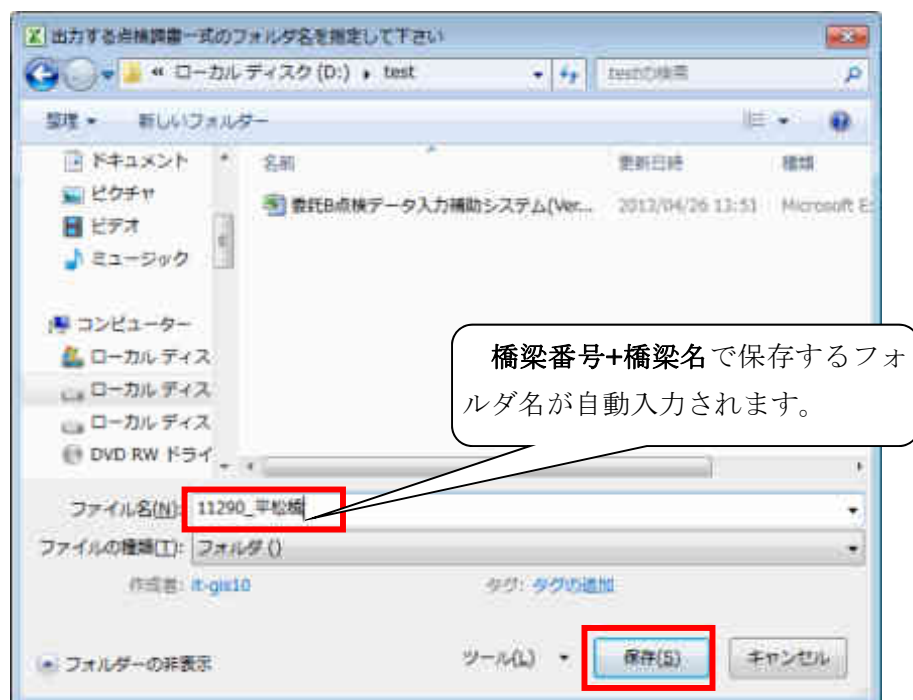
橋梁の点検調書 Excel ファイル、写真ファイルの一式をフォルダ単位で出力保存を行います。橋梁の点検調書として出力する場合は必ず行って下さい。

- ① 点検調書 Excel ファイルを保存するには、点検調書その 1 の上部にある **新規保存** ボタンをクリックして下さい。

点検調書(その1)

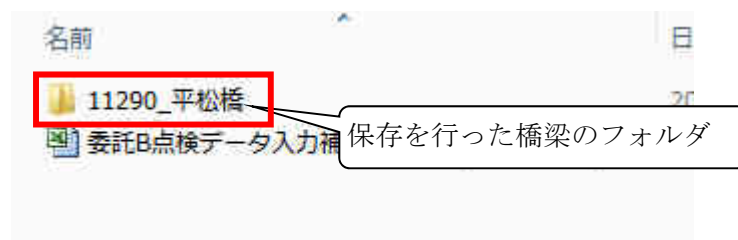
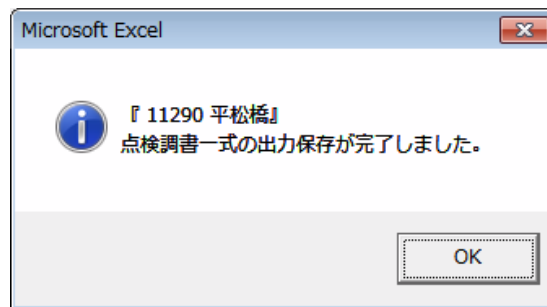
点検項目	箇所名	町大字伊保田			主桁形式	鋼およびコンクリート桁	
	橋梁番号	11290	径間数	4	点検者区分	委託業者	点検者
	橋梁名	平松橋			点検方法	目視点検	

- ② フォルダ一式保存用のダイアログが表示されるので、任意の場所に指定し、フォルダを保存して下さい。



- ③ 点検調書 Excel ファイルの名前は自動的に 橋梁番号+橋梁名.xls (10140_森橋.xls) で保存されます。
- ④ フォルダ保存時はフォルダの上書き保存はできません。保存を行うフォルダの名前を変更して保存して下さい。

- ⑤ 保存が完了すると、下図のメッセージウィンドウが表示され、保存先には前頁で指定した名前でフォルダが作成されます。



- ⑥ 作成されたフォルダの中身は、Excel ファイルと各種写真ファイルになります。

名前	日付時刻
11290_平松橋.xls	2013/04/26 15:33
11290_平松橋_PIC001.jpg	2013/04/26 15:31
11290_平松橋_PIC002.jpg	2013/04/26 15:31
11290_平松橋_全景1.jpg	2008/12/17 13:13
11290_平松橋_全景2.jpg	2008/12/17 13:14
11290_平松橋_側面図.jpg	2008/10/07 12:29
11290_平松橋_断面図01.jpg	2008/10/07 12:29
11290_平松橋_平面図.jpg	2008/10/07 12:29

9.2. 点検調書 Excel ファイルの上書き保存








点検調書 Excel ファイルから保存を行うには 2 種類の保存方法があります。

この項では、【上書き保存】の方法を説明します。

- ① 「点検調書（その 1）」の上部にある **上書き保存** ボタンをクリックして下さい。

点検調書(その1)		新規作成	新規保存	上書き保存	印刷	◀ 1 2 3 ▶
点検項目	箇所名	周防大島町大字伊保田		桁形式	鋼およびコンクリート桁	
	橋梁番号	11290		検者区分	委託業者	点検者
	橋梁名	平松橋		点検方法	目視点検	

- ② 現在作業中の Excel ファイルの上書き保存が行われます。

名前	日付時刻
 11290_平松橋.xls	2013/04/26 15:33
 11290_平松橋_PIC001.jpg	2013/04/26 15:31
 11290_平松橋_PIC002.jpg	2013/04/26 15:31
 11290_平松橋_全景1.jpg	2008/12/17 13:13
 11290_平松橋_全景2.jpg	2008/12/17 13:14
 11290_平松橋_側面図.jpg	2008/10/07 12:29
 11290_平松橋_断面図01.jpg	2008/10/07 12:29
 11290_平松橋_平面図.jpg	2008/10/07 12:29

※ **Ctrl キー + S キー**でも上書き保存を行うことができます。

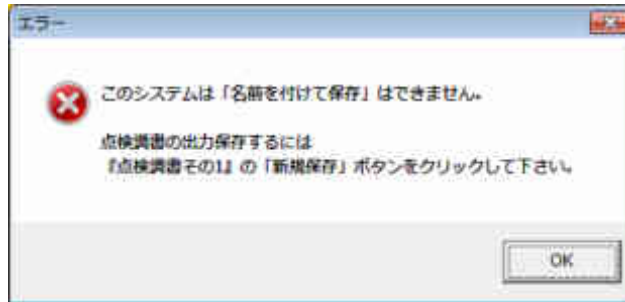
※ Excel のメニューの「上書き保存」でも上書き保存を行うことができます。

※ 「名前を付けて保存」はできません。

9.3. 「名前を付けて保存」の禁止

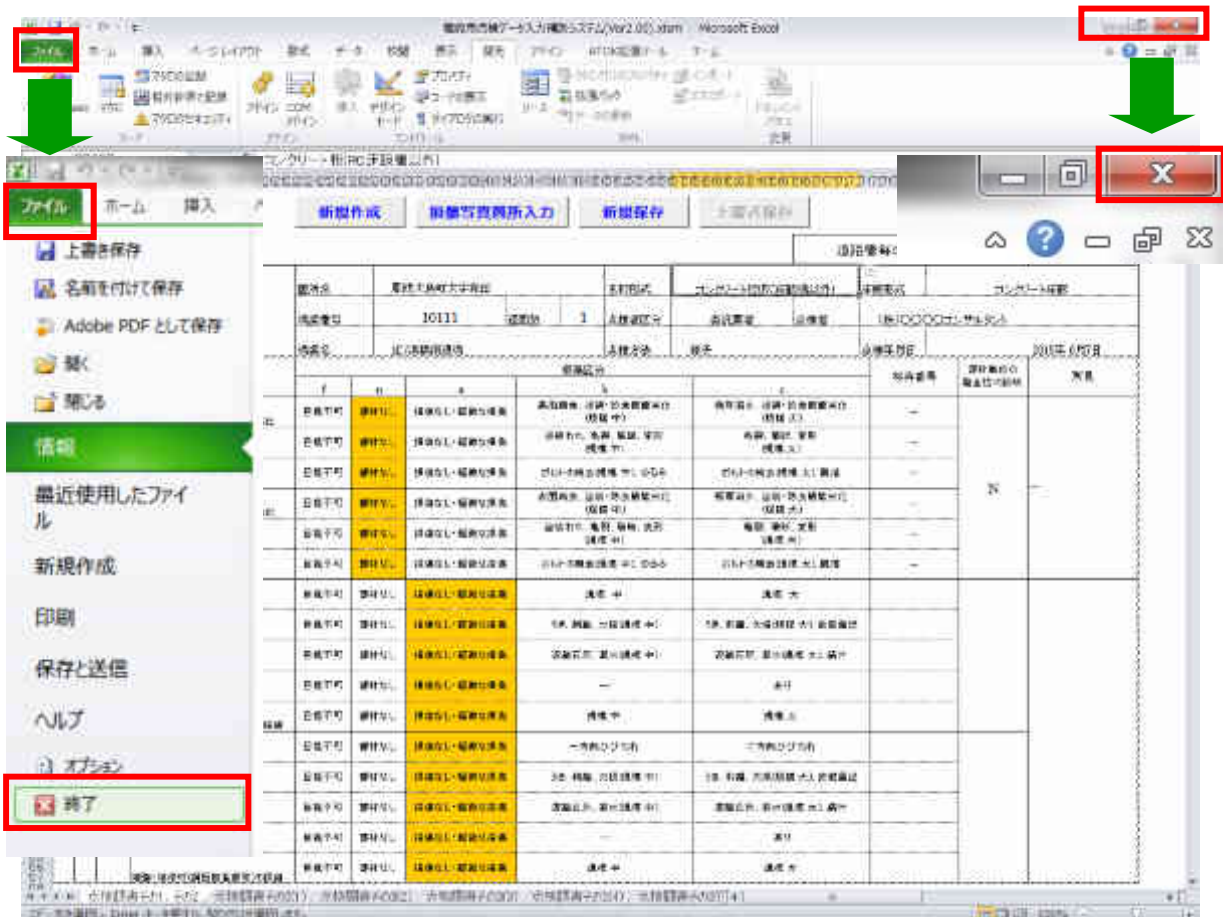
本システムでは、Excel の「名前を付けて保存」の機能は使用できません。

「名前を付けて保存」を行おうとした場合、メッセージウィンドウが表示され、元の画面に戻ります。

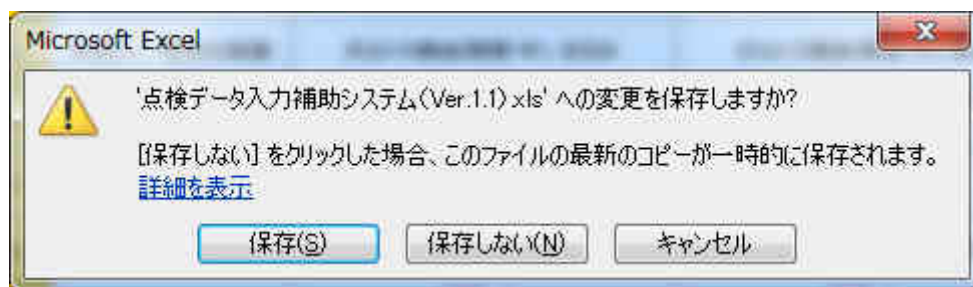


10.点検データ入力補助システムの終了

- ① 点検データ入力補助システムを終了するには、通常の Excel 終了方法を使用します。
- ③ Excel 画面の右上の **×** ボタンをクリック、もしくは「ファイル」メニューの「終了」をクリックし、終了させて下さい。



- ④ システム終了時に下記のウィンドウが表示された場合、保存する場合は **保存(S)** をクリック、保存しない場合は、**保存しない(N)** をクリックして下さい。
- 元に戻る場合は **キャンセル** をクリックすると、元の Excel 入力画面に戻ります。



11.点検調書 Excel ファイルの編集

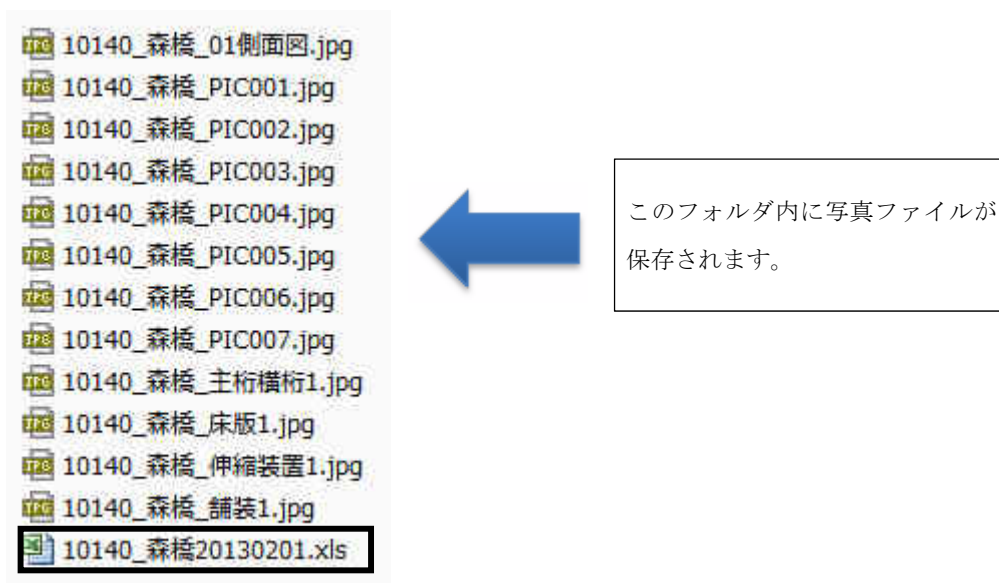
9.1 点検調書 Excel ファイルの新規保存 (P.84) にて保存を行った点検調書 Excel ファイルの編集を行います。

11.1. 点検調書 Excel ファイルを開く

- ① 9.1 点検調書 Excel ファイルの新規保存 (P.84) にて保存を行った点検調書 Excel ファイルを開くには、エクスプローラからダブルクリックにて開くか、Excel メニューの【ファイル】→【開く】と選択すると、ファイルを選択するダイアログが表示されるので、ファイルを指定して下さい。



※ 保存済みの点検調書 Excel ファイルでは、画像ファイルは全て点検調書 Excel ファイルと同じフォルダに保存されます。



11.2. 点検調書 Excel ファイルの編集

点検調書 Excel ファイルからの編集はシステムでの編集と同じになりますが、以下は注意点に気を付けて編集を行って下さい。

① 主桁形式、床版形式の変更

主桁形式および床版形式を変更すると、全径間の損傷区分のデータと登録していた写真データが自動的に削除されてしまいます。

主桁形式	RC床版橋		床版形式	コンクリート床版
点検者区分	県職員	点検者	山口 太郎	
点検方法	目視点検		点検年月日	2013年 2月1日
主桁形式	コンクリート桁(RC床版橋以外)		床版形式	コンクリート床版

点検調書（その1）


部位・部材区分		損傷の種類	損傷区分					写真番号	部材単位の健全性の診断	所見
			f	n	a	b	c			
橋	主桁	腐食、塗装劣化、防食機能の劣化	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	表面腐食、塗装・防食機能劣化(規模 中)	板厚減少、塗装・防食機能劣化(規模 大)	—	N	—
		亀裂、破断、変形	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	塗装むれ、亀裂、破断、変形(規模 中)	亀裂、破断、変形(規模 大)	—		
		ボルトの腐食、ゆるみ、脱落	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	ボルトの腐食(規模 中)、ゆるみ	ボルトの腐食(規模 大)、脱落	—		
	橋床・鋼床版	腐食、塗装劣化、防食機能の劣化	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	表面腐食、塗装・防食機能劣化(規模 中)	板厚減少、塗装・防食機能劣化(規模 大)	—		
		亀裂、破断、変形	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	塗装むれ、亀裂、破断、変形(規模 中)	亀裂、破断、変形(規模 大)	—		
		ボルトの腐食、ゆるみ、脱落	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	ボルトの腐食(規模 中)、ゆるみ	ボルトの腐食(規模 大)、脱落	—		
	上部構造	コンクリート	ひび割れ	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	規模 中	規模 大		
			うき、剥離、欠損、鉄筋露出	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	うき、剥離、欠損(規模 中)	うき、剥離、欠損(規模 大)、鉄筋露出		
			遊離石灰、漏水(錆汁)	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	遊離石灰、漏水(規模 中)	遊離石灰、漏水(規模 大)、錆汁		
			異常な音、振動、たわみ	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	—	あり		
補強・補修材(鋼板接着部等)の損傷			目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	規模 中	規模 大			
床版のひび割れ			目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	一方向ひび割れ	二方向ひび割れ			
鋼床版・鋼部材		うき、剥離、欠損、鉄筋露出	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	うき、剥離、欠損(規模 中)	うき、剥離、欠損(規模 大)、鉄筋露出			
		遊離石灰、漏水(錆汁)	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	遊離石灰、漏水(規模 中)	遊離石灰、漏水(規模 大)、錆汁			
		抜け落ち	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	—	あり			
		補強・補修材(鋼板接着部等)の損傷	目視不可	部材なし	損傷なし・軽微な損傷	規模 中	規模 大			

損傷区分、写真データ、部材単位の健全性の診断データが初期化されてしまいます。

② 橋梁番号の変更不可

点検調書の編集では、橋梁番号の変更はできません。変更行おうとすると、下記のメッセージが表示されます。

点検調書(その1)	新規作成	新規保存	上書き保存	
点検項目	箇所名	周防大島町大字和田		
	橋梁番号	10080	径間数	5
	橋梁名	吉竹橋		




Microsoft Excel
変更しようとしているセルまたはグラフは保護されているため、読み取り専用になっています。
保護されているセルまたはグラフを変更するには、[保護] タブをクリックし、[変更] グループの [シート保護の解除] をクリックして保護を解除します。パスワードを入力を要求されることもあります。

③ 橋梁名の変更不可

橋梁番号と同じく橋梁名の変更はできません。変更行おうとすると、下記のメッセージが表示されます。

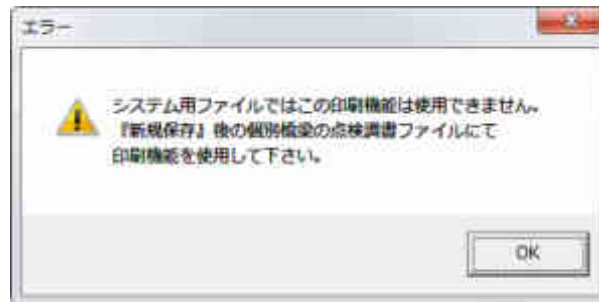
点検調書(その1)	新規作成	新規保存	上書き保存	
点検項目	箇所名	周防大島町大字和田		
	橋梁番号	10080	径間数	5
	橋梁名	吉竹橋		



Microsoft Excel
変更しようとしているセルまたはグラフは保護されているため、読み取り専用になっています。
保護されているセルまたはグラフを変更するには、[保護] タブをクリックし、[変更] グループの [シート保護の解除] をクリックして保護を解除します。パスワードを入力を要求されることもあります。

12.点検調書 Excel ファイルの印刷

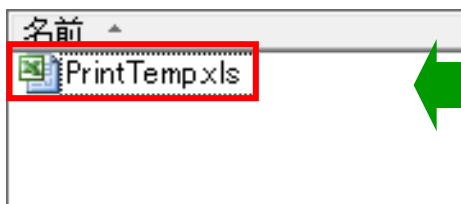
点検調書の印刷を行います。印刷は新規保存後の点検調書 Excel ファイルのみの機能となります。システムファイル（委託 B 点検データ入力補助システム）では印刷を行うことは出来ません。



12.1. 印刷用テンプレートの格納

- ① 印刷を行うには必ず、システムと同時に配布された印刷用テンプレート「**PrintTemp.xls**」ファイルが『C:¥Yamaguchi2』に格納されているかを確認して下さい。格納されていない場合はシステム配布時に同封されている「**PrintTemp.xls**」を「C:¥Yamaguchi2」にコピーして下さい。

「C:¥Yamaguchi2」フォルダ内



「C:¥Yamaguchi2」フォルダ内



12.1. 印刷処理の開始

- ① 「点検調書（その1）」上部の印刷ボタンをクリックして下さい。

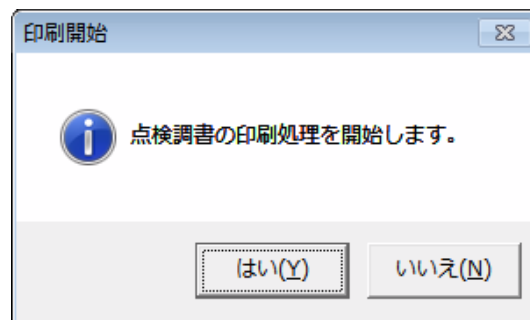
点検調書(その1)

新規作成 新規保存 上書き保存 **印刷** ◀ 1 2 3

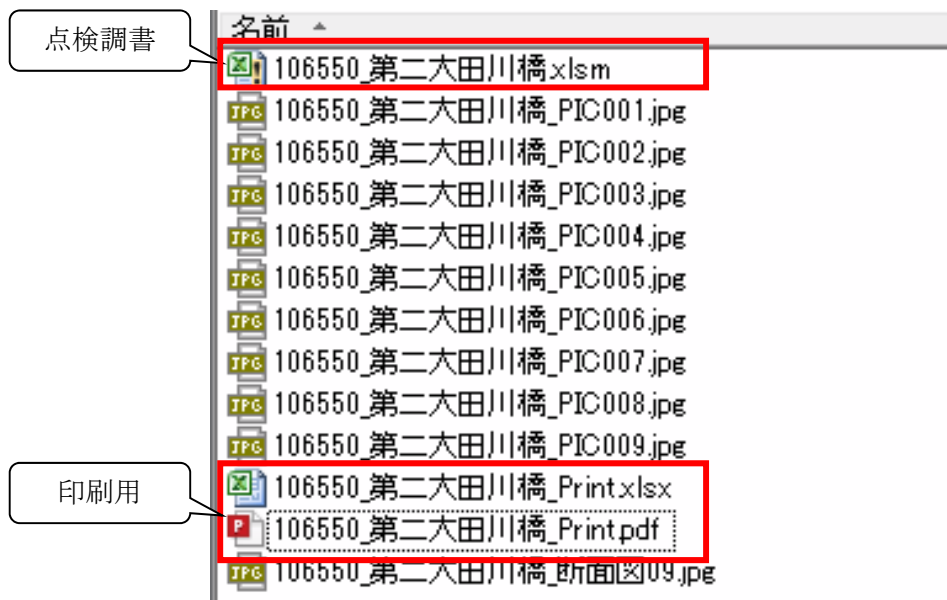
点検項目	箇所名	周防大島町大字伊保田			鋼およびコンクリート桁	
	橋梁番号	11290	径間数	4	点検者区分	委託業者
	橋梁名	平松橋			点検方法	目視点検

クリック

- ② 開始の確認メッセージが表示されるので、印刷する場合は**はい**ボタン、印刷を行わない場合は**いいえ**ボタンをクリックして下さい。

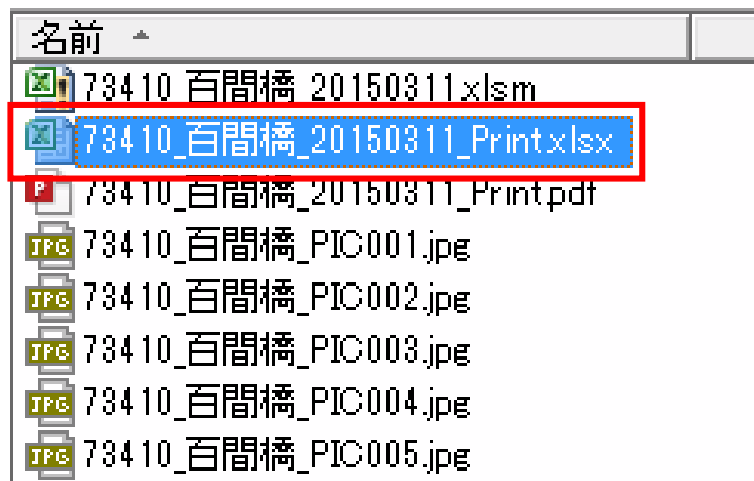


- ③ 印刷処理が完了すると、下図のように同じフォルダ内に印刷用の Excel ファイルと PDF ファイルが作成されます。

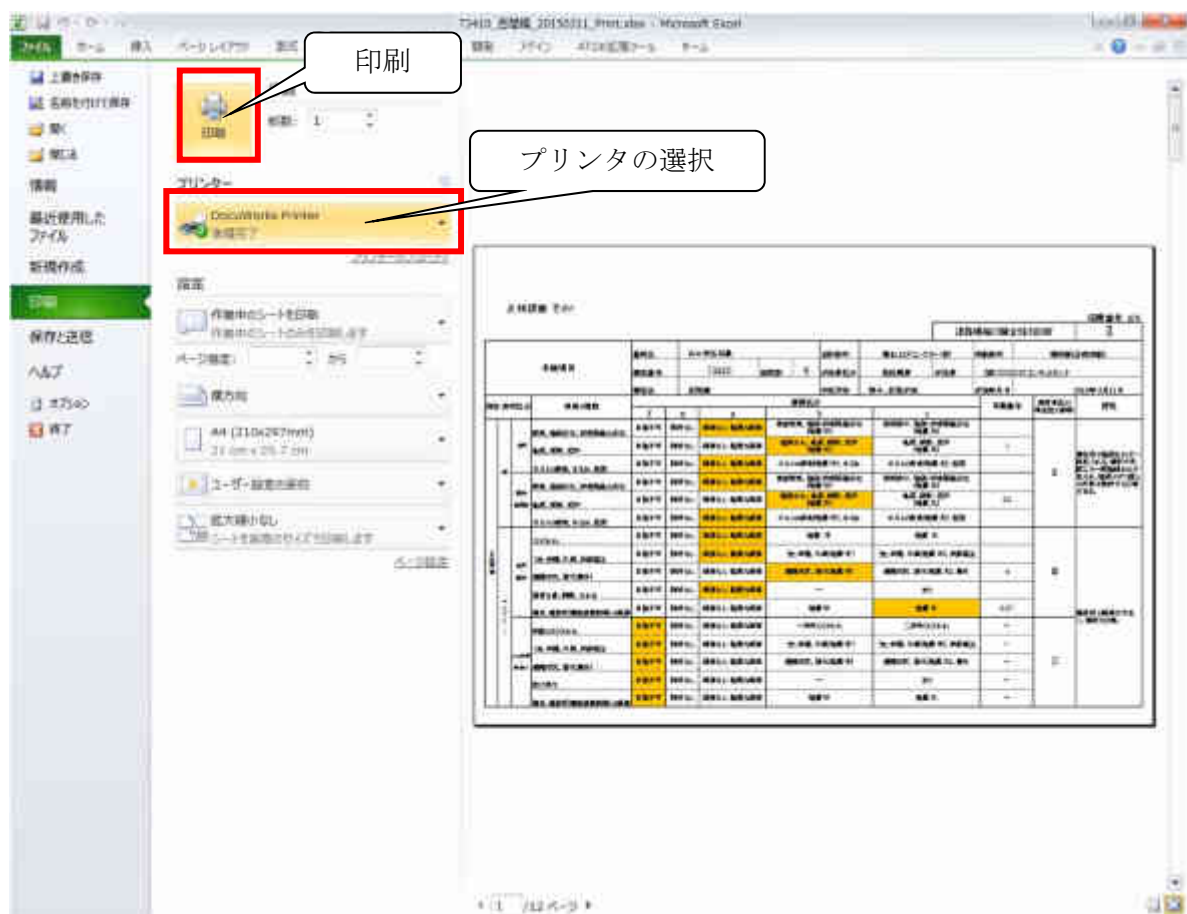


12.2. 印刷用ファイルを開く（印刷用 Excel ファイル）

- ① 印刷用 Excel を開き、通常の Excel の印刷機能を使用して、印刷を行います。

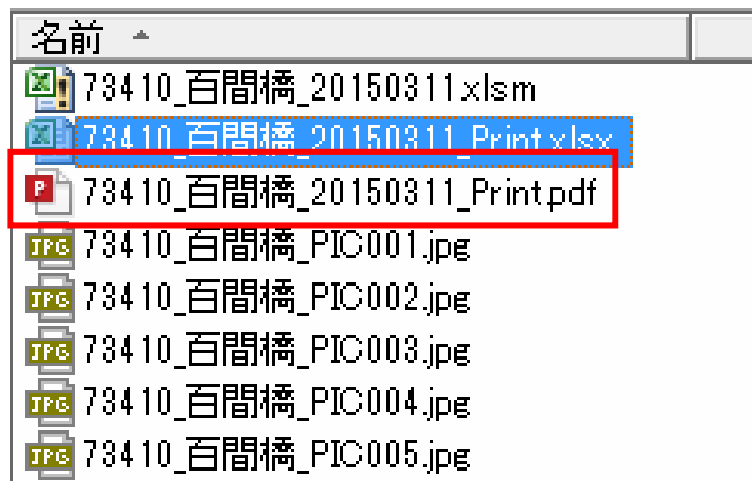


- ② 通常使用しているプリンタや PDF ファイル変換ソフト等にて、印刷を行って下さい。

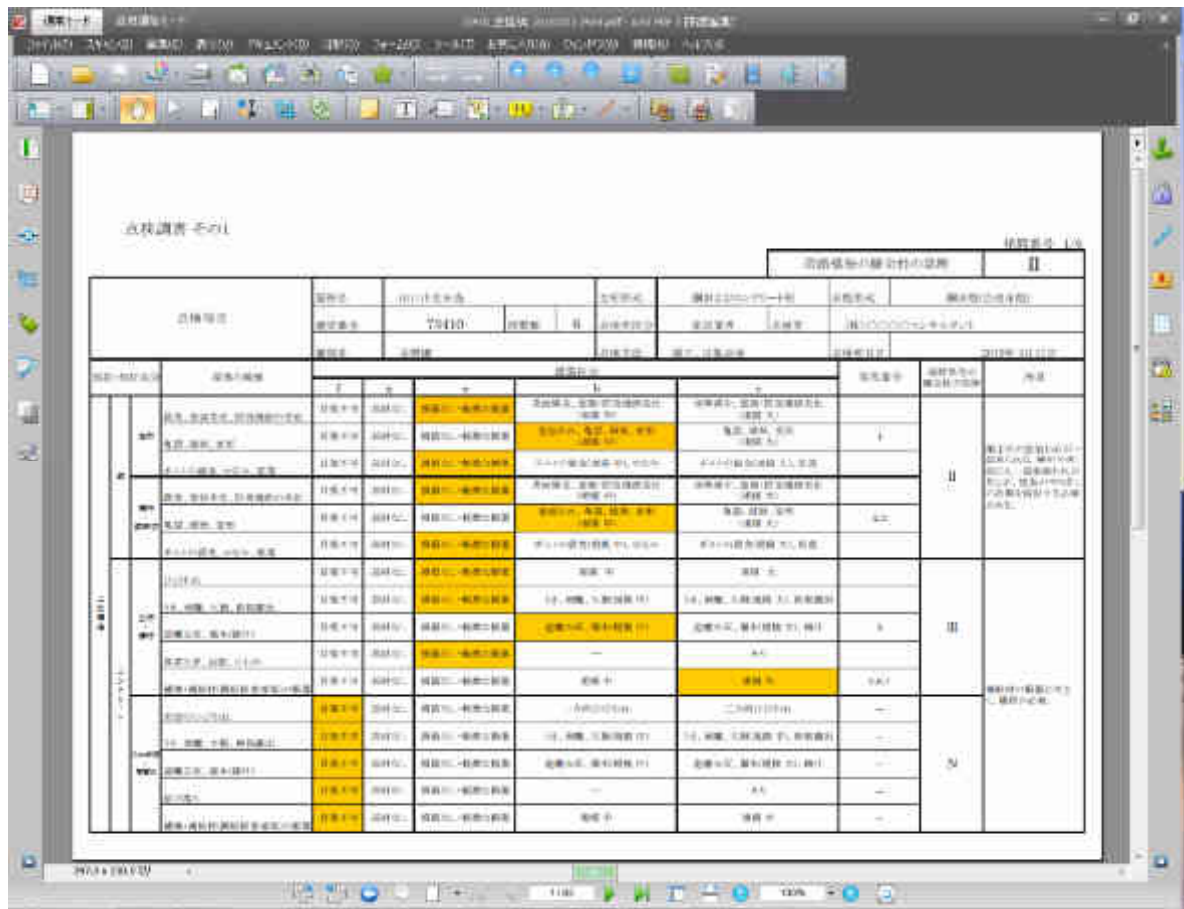


12.3. 印刷用ファイルを開く（印刷用 PDF ファイル）

- ① 印刷用 Excel を作成した際に、PDF ファイルも自動的に作成されます。



- ② PDF 閲覧・編集ソフト等により、確認と印刷を行って下さい。

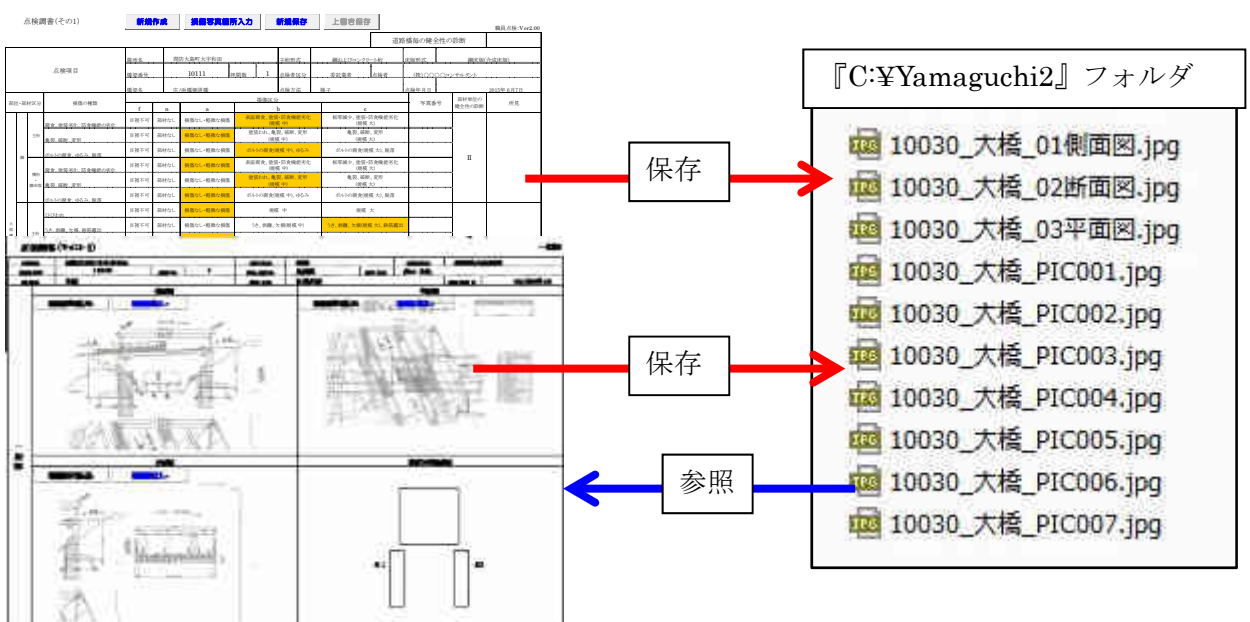
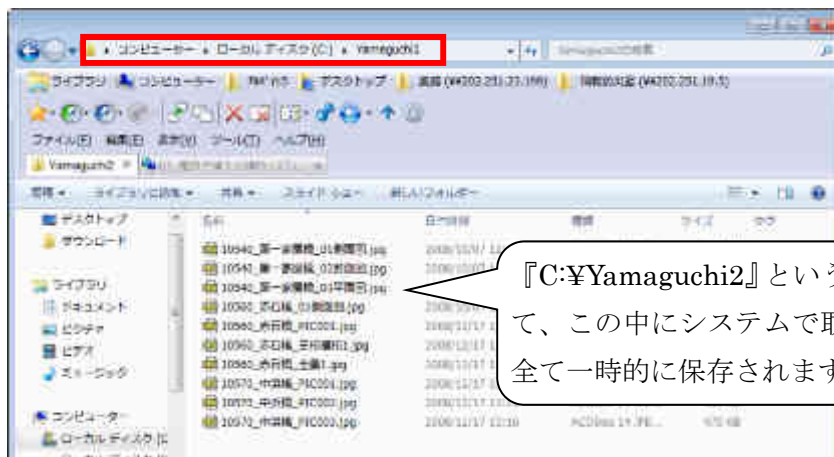


13.画像データの保存先

本システムでの画像データ（損傷写真や橋梁全体の写真等）の保存先について説明します。

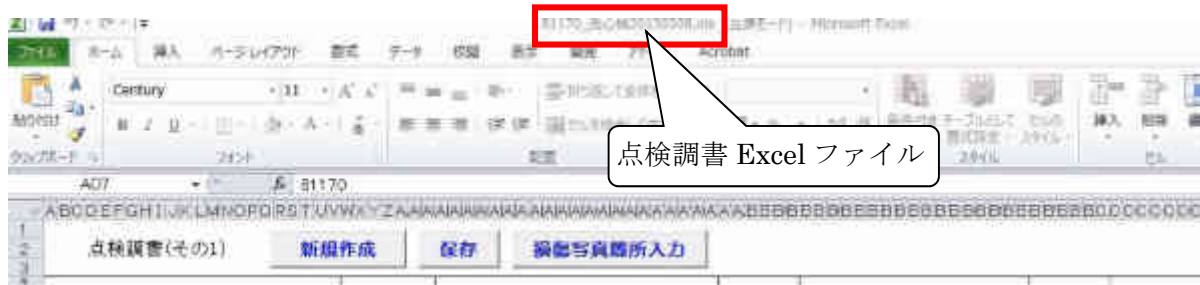
13.1. システム動作時の画像データの仮の保存場所

- ① システム動作時（点検入力補助システム(Ver〇.〇〇).xls）での画像データの仮の保存先フォルダは『C:¥Yamaguchi2』というフォルダになります。このフォルダはシステム起動時に自動的に作成されます。

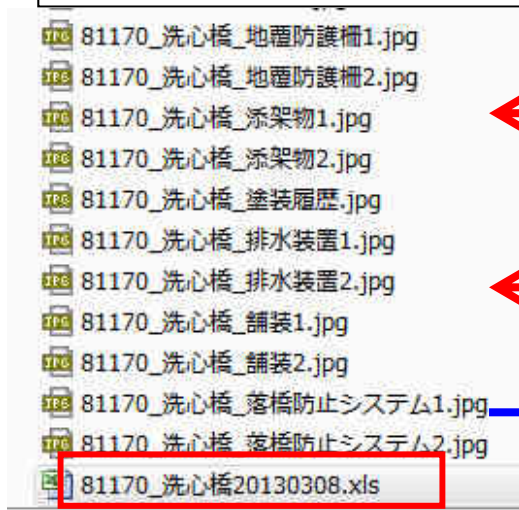


13.2. 点検調書 Excel ファイル動作時の画像データ保存場所

- ① 一度新規作成された点検調書 Excel ファイル動作時はシステムと違い、画像データの保存先は作業中の Excel と同じフォルダ内となります。



点検調書 Excel ファイル動作フォルダ



保存

保存

参照

